

88-2 no. 41

年少労働調査資料第40集

年少労働実態調査

昭和31年10月

労働省婦人少年局

は し が き

年少労働者に関する調査は今までも度々行われていますが、少数の年少労働者を対象とした調査が多く、年少労働の全貌を知ることができなかつたので、更に多くの年少労働者の実状を把握するために年少労働実態調査および附帯調査としての疲労調査を実施しました。この調査は多くの年少者が働いている中小企業に重点をおいて行つたものです。

なお、調査の実施に当つて各事業場、産業安全研究所々員、臨時調査員、集計員の方々の御協力を得たことを附記して感謝の意を表する次第です。

昭和 31 年 10 月

労働省 婦人少年局

目 次

I 年 少 勞 働 実 態 調 査

| | |
|---|----|
| (一) 調 査 の 目 的 | 1 |
| (二) 調 査 の 時 期 | 1 |
| (三) 調 査 担 当 者 | 1 |
| (四) 調 査 の 対 象 | 1 |
| 1. 事 業 場 の 規 模 | 1 |
| 2. 産 業 | 1 |
| 3. 調 査 対 象 都 道 府 県 | 1 |
| 4. 調 査 年 少 勞 働 者 数 | 1 |
| 5. 調 査 事 業 場 数 | 1 |
| 6. 調 査 事 業 場 の 選 定 | 2 |
| (五) 調 査 の 内 容 及 び 方 法 | 2 |
| 1. 内 容 | 2 |
| 2. 方 法 | 2 |
| (六) 調 査 結 果 | 2 |
| 1. 概 要 | 2 |
| 2. 事 業 場 調 査 | 4 |
| (1) 事 業 場 数 | 4 |
| (2) 雇 用 状 況 | 4 |
| (3) 各 種 書 類 の 備 付 状 況 | 5 |
| (4) 勞 働 条 件 | 5 |
| (5) 災 害 | 6 |
| (6) 教 育、娯 楽 | 6 |
| (7) 福 祉、厚 生 | 7 |
| (8) そ の 他 | 9 |
| (9) 調 査 者 の 感 想 | 9 |
| 3. 年 少 勞 働 者 個 人 調 査 | 10 |
| (1) 年 少 勞 働 者 の 家 庭 に 関 す る 事 項 及 び 就 業 経 路 | 10 |
| (2) 就 業 状 況 | 11 |

| | |
|----------------------------|----|
| (3) 労働条件 | 12 |
| (4) 災害および疾病 | 13 |
| (5) 教養、娯楽 | 14 |
| (6) 職場生活に関する年少労働者の考え方および希望 | 16 |
| (七) 附 表 | 21 |
| 1. 統計表 | 21 |
| (1) 事業場調査統計表 | 23 |
| (2) 年少労働者個人調査統計表 | 40 |
| 2. 調査対象算出表 | 73 |
| 3. 調査票 | 76 |

Ⅱ 年少労働疲労調査

| | |
|-------------------|----|
| (一) 調査の目的 | 87 |
| (二) 調査の方法 | 87 |
| 1. 調査種目 | 87 |
| 2. 被検者 | 87 |
| 3. 調査日時 | 87 |
| 4. 被検者の作業環境条件 | 87 |
| 5. 調査の実施 | 88 |
| (三) 調査の結果と考察 | 88 |
| 1. ちらつき値の測定 | 88 |
| 2. 自覚的症狀調査 | 89 |
| (1) 各大項目頻度の相関 | 89 |
| (2) 自覚的症狀の評点 | 89 |
| 3. ちらつき値と自覚的症狀の比較 | 90 |
| (四) む す び | 90 |
| (五) 附 表 | 99 |

I 年少労働実態調査

(一) 調査の目的

年少労働者は心身が発達する時期であるため、労働の場において保護育成されなければならない。しかし大企業を除いては年少労働者の労働条件は低く、労働環境、福祉教育施設等は適切なものが少なく、中小企業（この調査では労働者数100人未満の事業場とする）における労働基準法違反件数（年少労働に関する違反）、業務上の災害件数等は相当数にのぼっている。又雇用の不安定、封建的な労働関係等の中小企業特有の問題も、年少労働者に顕著せられることが当然考えられる。

それにも拘らず年少労働者の70%弱は中小企業で働いている。

そこで中小企業の年少労働者の就業状況、労働条件、労働環境、福祉厚生教育施設等を大企業との比較において明らかにし、年少労働者保護福祉対策の基礎資料とする。

(二) 調査の時期

調査実施～昭和31年5月、6月

調査時限～昭和31年4月末賃金締切日

(三) 調査担当者

大企業の調査～婦人少年室職員

中小企業の調査～臨時調査員

(四) 調査の対象

1. 事業場の規模

調査の対象とする事業場の規模は、事業場における労働者数により次の6段階に分け、各規模毎に対象を選んだ。

| | |
|-----|---|
| 大企業 | $\left\{ \begin{array}{l} \text{労働者数} \quad 1,000人以上の事業場 \\ \text{労働者数} \quad 500人\sim 999人の事業場 \\ \text{労働者数} \quad 100人\sim 499人の事業場 \end{array} \right.$ |
|-----|---|

| | |
|------|--|
| 中小企業 | $\left\{ \begin{array}{l} \text{労働者数} \quad 50人\sim 99人の事業場 \\ \text{労働者数} \quad 10人\sim 49人の事業場 \\ \text{労働者数} \quad 10人未満の事業場 \end{array} \right.$ |
|------|--|

2. 産 業

昭和29年の個人別賃金調査によると、雇用年少労働者の約80%は製造業に就業し、昭和30年12月

末の労働基準法適用事業報告によつても約70%が製造工業に就業している。又、中小企業の年少労働者についてみても約60%が製造工業に就業しているのでこの調査では製造工業を対象とした。そして製造工業の中で、中小企業の年少労働者数が多い（労働基準法適用事業報告）紡織工業、機械器具工業、食料品工業、金属工業、製材及び木製品工業、印刷及び製本業の6産業を調査対象産業とした。

3. 調査対象都道府県

調査を実施した都道府県は、調査産業の中小規模事業場数および年少労働者数の多い北海道、群馬、埼玉、東京、神奈川、新潟、長野、静岡、愛知、京都、大阪、兵庫、広島、福岡の14都道府県である。

4. 調査年少労働者数

大企業～3,893人

中小企業～7,181人

計～11,074人

調査年少労働者数は、大企業では特に規定しないで1事業場30人を限度として対象とした。中小企業では、調査産業の中小企業の年少労働者総数243,065人の約3%に当る7,300人に、産業別、事業場規模別の比率を乗じて、産業別、規模別の調査年少労働者数を算出し（(イ)の1、2、調査対象算出表）これにもとづいて対象を選定したが、経費の不足による対象数充足困難、或いは不備な票の除外等により、実際に集計した調査年少労働者数は前記のとおりである。

そして産業別、規模別の調査対象年少労働者を、各産業10都道府県に平均して割当てたが（(イ)の3、調査対象算出表）、実際に集計を行った年少労働者数は一部産業の10人未満の事業場を除けばほぼ予定した対象数に近いものを得ることができた。

5. 調査事業場数

大企業～172事業場

中小企業～1,490事業場

計～1,662事業場

調査対象事業場は年少労働者を雇用している事業場である。大企業は各産業とも30事業場を対象

とし、これを10都道府県に割当て（1県につき各規模毎に1事業場）調査対象としたが、その府県に該当する規模の事業場が無いときは他の規模で代用し、大企業の数が規定に充たない場合、又は遠隔地で調査が困難な場合等は調査を中止したので実施した事業場数は前記のとおりである。

中小企業では事業場数は規定せず、7,300人の調査対象年少労働者数を充たすだけの事業場を選んだ。

6. 調査事業場の選定

調査対象都道府県において「労働基準法適用事業報告」に基づいて市部郡部別、調査産業別、事業場規模別の、年少者を雇用している事業場の名簿を作成し、このなかから大企業は各県とも1産業につき3事業場を任意選定した。

中小企業では(付)2の調査対象算出表による都道府県別、産業別、規模別の調査対象年少労働者数を充たすだけの事業場を任意選定したが、この場合できるだけ対象事業場が市部にかたよらないように考慮した。

(五) 調査の内容および方法

1. 内 容

{ 事業場調査～事業場調査票
 年少労働者個人調査～年少労働者個人調査票
 調査結果が事業場或は労働者何れか一方に片寄らないため、事業場調査および年少労働者個人調査を併せ行つた。

2. 方 法

調査担当者が調査対象事業場において調査を実施した。事業場調査は調査担当者が事業主又は人事、労務担当者に調査票の内容を質問してその回答を記入したが、必要事項についてはその存否を確認した。

年少労働者の個人調査は年少労働者に調査票を配り、内容を説明しながら記入をもとめたが、年少労働者数が少ない場合は調査担当者が質問しながら自分で記入しても差支えないこととした。

調査票による調査で足りない面は調査担当者の観察によつて補つた。

調査票および調査実施の注意事項については(付)3を参照されたい。

(六) 調査結果

調査結果の集計に当つて経費の関係で調査項目の一部を省略した。

1. 概 要

(1) 調査の対象

調査の対象となつた事業場は年少者を雇用している1,662事業場で大企業は172事業場(10.4%)、中小企業は1,490事業場(89.6%)である。年少労働者数は総数11,074人、大企業3,893人(35.2%)、中小企業7,181人(64.8%)で男子は5,556人、女子は5,518人である。調査産業は紡織工業、機械器具工業、食料品工業、金属工業、製材及び木製品工業、印刷及び製本業の6産業である。

(2) 事業場における必要書類備付状況

調査事業場のうちで、年少労働者の年令証明書の備付を怠つていた事業場は30%余りみられ、事業場規模別では、年令証明書、就業規則いずれも規模が小となるほど備付状態が悪くなつている。又、労働者数10人未満の事業場においては労働者名簿、賃金台帳さえ備えていない事業場が約10%みられた。

(3) 調査事業場における諸施設

技能者養成施設を設けている事業場は13.4%で、大企業では単独養成、中小企業では共同養成の方法をとつているものが多い。

事業場附属教育施設をもつ事業場は大企業23%、中小企業2.2%、教養娯楽施設は大企業70.9%、中小企業47.9%、体育施設は大企業90%強、中小企業50%強で、いずれも大企業の方が高く、又その内容は量質ともに大企業と中小企業では大きな違いがみられる。

医療施設についても同じことが云われ、大企業では診療所、医務室等をもつているところが多いが、中小企業では医療施設があると答えたところでも半分以上が救急箱を備付けている程度のものである。

厚生施設も、食堂は大企業81%、中小企業48%、浴室は大企業76%、中小企業43%と規模による差が明らかで、大企業と中小企業の諸施設には大きな相違がある。

(4) 社会保険

調査事業場の社会保険加入率は、事業場側の回答によれば労災保険89.3%、健康保険80.2%、厚生年金保険77.0%、失業保険73.4%で、労災保険の加入率が最も高い。労働者数50人以上の事業場においては各保険とも99%加入しているが、10人～49人の事業場では85～95%、5人～9人の事

業場では労災保険（80%強）を除けば40~60%の加入率を示し、5人未満の事業場では法的に加入の義務はないが労災保険47.8%、健康保険21.1%、失業保険12.2%、厚生年金保険 8.9%の加入率である。

(5) 年少労働者の就業状況

総労働者のなかで年少労働者の占める比率は11.0%で、大企業は7.5%、中小企業は23.6%で、中小企業の方が年少労働者の占める比率が高い。

調査年少労働者11,074人の約30%に当る3,411人は住込で、小規模事業場ほど住込年少労働者の比率が高い。

昭和30年1年間に新しく就業した年少者のうち24.5%はすでに離職しており、労働者数500人未満の事業場においてはその比率は30%前後の高率である。年少労働者の意見によると、中小企業では人間関係、労働条件の悪いことを訴えているものが多く、又「仕事の将来性」「事業場閉鎖」「給料遅延又は不払」等を心配しているものが多いのは中小企業の特長性に基くものとみられ、これらが離職の一因とも考えられる。

(6) 労働条件

実労働時間が労働基準法の規定通り8時間以下と回答した事業場は約80%、年少労働者のなかで実労働時間が8時間以下のものは70%である。そして事業場規模が小となるほど実労働時間8時間以下の年少労働者の比率は低くなり、労働者数10人未満の事業場では50%余りとなる。

また、中小企業の年少労働者の残業の比率は大企業の2倍（30%余り）である。

休日については週1回と答えた年少労働者は大企業の96.8%から、労働者数10人未満の事業場の61.2%まで順次低下している。又年次有給休暇も大企業は67.6%であるが、規模が小となるに従って低くなり、10人未満の事業場においては80%余りの年少労働者が「知らない」「なし」等と答えている。休日および年次有給休暇の規模別の傾向は事業場調査でも全く同じである。

年少労働者の1カ月の平均手取初任給額および平均賃金は事業場規模が小となるに従って低くなる傾向がみられる。

年少労働者の昭和31年4月における1カ月の平均手取賃金は、男子の通勤 4,535円、住込 2,835

円、女子の通勤 4,175円、住込 3,124円である。

以上のように年少労働者の労働条件は事業場規模が小となるほど低く、労働時間および休日に關する労働基準法違反も多い。

(7) 災害、疾病および疲労

昭和30年1年間の在職年少労働者 2,402人のうち業務上の休業災害を受けたと回答したものは464人（19.3%）でこれを規模別にみると大企業では122人（11.2%）、中小企業では342人（26.1%）となつている。疾病（業務上の疾病に限らない）にかかつた年少労働者は1,634人（68.0%）で大企業では604人（55.3%）、中小企業では1,030人（78.6%）で、年少者自身の回答によれば災害発生率、疾病罹患率いずれも中小企業が高率である。そして中小企業では前述した社会保険の項でも明らかのように、労災保険、健康保険の加入率が低いため、中小企業における災害、疾病時の医療費の負担は、年少労働者および事業主に多くかゝっている。

また附帯調査として行つた「年少労働者の疲労調査」のフリッカー値測定によると、中小規模事業場の年少労働者の方が、大規模事業場の年少労働者に比較して疲労度が高く、自覚的症状調査の逐日的変化も大である。

しかし中小企業の、健康診断実施事業場の比率は低く、労働者数10人未満の事業場では27%が全く健康診断を行っていない。

(8) 教養娯楽

年少労働者のうち男子は33%、女子は20%が働きながら学んでいるが、事業場規模が小となるに従って就学者の比率が低くなつている。又通勤と住込の年少労働者を比べると大企業の寄宿舎にいる女子年少者を除いては住込の年少労働者の就学率が低い。

就学していない年少労働者の半数以上のものは就学を希望しているが「時間がない」「疲れる」等の理由で就学を阻まれている。就学希望者の比率は事業場規模が小となるに従って低下している。

年少労働者が一般教養、娯楽のために使う小遣は、1カ月平均700円~800円であるが、この場合も規模が小となるほど低額で賃金と同じ傾向がみられる。それにも拘らず中小企業の年少労働者は前述した事業場諸施設の状況でもわかるように利

用できる教養娯楽の施設をもたず、書物入手する際の費用は自己の負担となる場合が多い。

そこで中小企業の年少労働者は、低賃金、長時間労働の上に更に教養娯楽施設が貧困であるため、就学および一般教養を身につける機会を失い、それに対する意欲も消失してゆく傾向が明らかである。

(9) 年少労働者の出身および就業経路

中小企業の年少労働者は、大企業に比べ他県から移動して働いているものおよび農村出身者の比率が高い。

又学校、職業安定所を経て就業している年少者は大企業70%強、中小企業55%強で、中小企業では縁故就業者の比率が高い。

(10) むすび

以上の調査結果から結論づけられることは次の点である。

中小企業では労働条件が低く、年少労働者の健全な発育を促すための教育、福祉、厚生施設も大企業に劣っている。従つて中小企業の年少労働者は大企業の年少労働者に比べ、疾病罹患率、災害発生率、疲労度が高く、就学、文化活動、娯楽等を行う機会も少く、時間的・身体的余裕も無く、向上しようとする意欲を失つてゆくようにみられる。又社会保障の面でも恵まれていない。

そこで中小企業で働く年少者の労働条件の向上、社会保障の浸透を図るとともに、年少労働者の教育施設の拡充、又は利用できる教養娯楽施設の設置等により、年少労働者の約70%を占める中小企業の年少者の健全な発育を図る必要のあることが痛感される。

2. 事業場調査

(1) 事業場数

調査の対象となつた事業場は、1,662事業場で、このうち大企業は172 (10.4%)、中小企業は1,490 (89.6%)である。更にこの内訳をみると大企業は労働者数1,000人以上の事業場が33、500人～999人が43、100人～499人が96であり、中小企業では50人～99人が227、10人～49人が715、10人未満が548となつている。

産業別にみると紡織工業579、機械器具工業366、食料品工業209、金属工業198、製材及び木製品工業189、印刷及び製本業121事業場が調査の対象となつた。(1表)

2表は調査都道府県別の事業場数で一産業につき10都道府県から抽出されている。

(2) 雇用状況

イ、年少労働者の構成

前述の調査事業場における労働者総数は173,395人で、これを規模別にみると、大企業135,805人、中小企業37,590人である。このうち年少者は19,036人で総数の11.0%を占めている。規模別にみると大企業は10,167人で7.5%、中小企業は8,869人で23.6%となつており、中小企業の方が年少者の占める率が高くなるに高い。

更に産業別に年少者の占める比率をみると紡織工業が23.2%で最も多く、次いで製材及び木製品工業13.1%、機械器具工業11.2%、食料品工業10.9%、印刷及び製本業8.1%、金属工業4.1%の順になつている。これらいずれの産業も、中小企業の方が年少者の占める比率が高くなつているが、殊に金属工業(大企業2.3%、中小企業25.1%)、印刷及び製本業(大企業5.6%、中小企業21.5%)、機械器具工業(大企業6.7%、中小企業24.8%)等は規模による差が著しい。

調査事業場における総労働者の69.4%は男子であり、規模別にみると大企業では男子71.7%、中小企業では61.0%で、中小企業の方が女子の占める比率が高くなつている。産業別にみると紡織工業、食料品工業に女子が多い。

以上のことから、大企業に比して中小企業には女子及び年少者が多く雇用されていることが分る。(3表)

ロ、年少労働者の出身地

年少労働者は事業場のある都道府県から採用されたものであるか否かについてみると、6産業いずれも自県出身者が多い。(4表)

ハ、年少労働者の定着状況

昭和30年1年間のうちに、調査対象事業場で新しく雇用した年少者は9,003人であるが、このうち2,176人(24.2%)という多数の年少者が年内に離職している。

これを規模別にみると、労働者数500人以上の事業場では紡織工業、食料品工業等を除いてはいずれもこの比率が低く10%に満たないが、500人未満の事業場では調査産業のいずれもが30%前後の高い比率を示しており、10人未満の零細企業では産業により稍々低くなつている。

離職した時期は就労後3カ月未満の年少者が35.8%に達している。(5表)

(3) 各種書類の備付状況

イ、労働者名簿、賃金台帳

労働者名簿とは、労働者(日々雇入れられる者を除く)の氏名、生年月日、性別、本籍及び住所、従事する業務の種類、雇入れの年月日等を記した名簿であり、賃金台帳とは賃金計算の基礎となる事項及び賃金の額、賃金支払状況等を記入した台帳で、いずれも労働基準法によりこれを事業場に備付けておかなければならないことが規定されている。

これらの備付状況をみると、労働者数10人未満の事業場(労働者名簿の備付けてあるもの79.0%、賃金台帳の備付けてあるもの84.3%)を除いては、ほぼ完備されている。

しかしこれらの台帳を全然備付けていない事業場が10%弱あることは注目される。(6表)

ロ、年齢証明書

18才未満の労働者を雇入れる際は、その年齢を証明する戸籍証明書を備付けなければならないことが労働基準法に定められている。

年齢証明書についてその備付状況を調べると、31.1%の事業場が備付を怠っている。

しかし年齢証明書を備付けている事業場のなかにも年齢証明書数が年少労働者数に達しないものもみられた。

規模別にみると労働者数100人以上の事業場では94.8%、50人～99人では85.0%、10人～49人では71.5%、10人未満事業場ではわずか49.3%が備付けているに過ぎない。(6表)

ハ、就業規則

常時10人以上の労働者を使用する事業場では就業規則を作成し、行政官庁にこれを届けると共に常に事業場に備付けておかなければならない。

その備付状況をみると大企業では98.3%、労働者数50人～99人事業場では94.7%、10人～49人事業場では82.2%が備付けていた。

届出を法的に義務づけられていない10人未満の事業場では36.1%が就業規則を作成、備付けていた。(6表)

(4) 労働条件

イ、実労働時間

各事業場で規定している通常の1日の実労働時

間についてみると、調査事業場の79.4%は労働基準法で規定している8時間を超えていないが、不明0.7%を除いた残り19.9%(330事業場)がそれ以上となつている。

規模別にみると大企業では1.2%が8時間を超えて働かせている。以下労働者数50人～99人の事業場では7.8%、10人～49人の事業場では17.6%、10人未満の事業場では33.5%の多くが8時間を超えて労働させている。

8時間を超える330事業場の内訳をみると、8時間を超えて10時間以下のもの282事業場、10時間を超えて12時間以下のもの42事業場、更に12時間を超えるものが6事業場もあり、いずれも事業場規模が小さくなるに従い実働時間の長いのが目立つている。(7表)

次に産業別の平均実働時間を調べると、紡織工業が8時間33分で最も長く、次いで食料品工業の8時間25分、製材及び木製品工業の8時間3分で、これらは労働基準法に規定されている8時間を上回るものである。8時間以下の産業は機械器具工業が7時間58分、金属工業7時間56分、印刷及び製本業7時間44分である。

規模別にみると、労働者数100人以上の大企業では紡織工業(8時間2分)を除いてはいずれも実働8時間以下で、調査産業の平均は7時間44分である。労働者数50人～99人の事業場では紡織工業、食料品工業が8時間を超え、平均は8時間3分である。労働者数10人～49人の事業場では紡織工業、食料品工業、金属工業が8時間を超え、平均8時間13分となつている。更に10人未満の事業場では平均が8時間26分で、印刷及び製本業(7時間58分)を除いたいずれの産業も8時間を超え、食料品工業では9時間5分の平均実働時間である。

事業場規模の大小によつて、平均実働時間の長短の差もはげしいが、殊に機械器具工業、食料品工業に著しい。比較的規模による差の少ないのは製材及び木製品工業である。(8表)

ロ、休日

休日の状況を見ると週1回と規定されているものが最も多く全体の77.3%を占めている。更に月4回以上のものを合わせると81.3%が労働基準法の線(週1回或は4週に4日以上)に沿っている。

大企業では不明を除いた全調査事業場が週1回

又は月4回であるが、規模が小さくなるに従い休日回数が減じ、わずかではあるが(3事業場)休日なしというもみられる。

週1回に次いで多いのは月2回であり、10人未満の事業場では25.4%がこれに当る。(9表)

ハ、年次有給休暇

年次有給休暇についても大企業は97.7%が規定してあるのに対し、規模が小さくなるに従って少くなり、10人未満事業場では半数以上の55.3%が年次有給休暇の制度をもっていない。(10表)

ニ、初任給

初任給規定のある事業場についてその平均初任給額を規模別にみると、労働者数100人以上の事業場では中学校卒業者が4,663円、高等学校卒業者が6,563円、50人～99人事業場では中卒4,036円、高卒5,515円、10人～49人事業場では中卒4,600円、高卒5,514円、10人未満事業場では中卒3,529円、高卒5,309円で、中卒と高卒とでは1,000～2,000円の差がみられ、大企業と小企業とでは1,000～1,500円の開きがある。

ホ、賃金

18才未満の労働者の1カ月平均賃金支給額(所得税、各種保険料、貯金、組合費等を差引く以前のもの)は男子5,189円、女子4,877円である。

通勤住込別にみると、通勤は男子5,236円、女子4,706円、住込は男子5,019円、女子5,033円である。但し住込については、食費を差引いた金額を記入したものと、含めた金額を記入したものとがあつたため、稍々正確さを欠いた。

産業別には、紡織工業(男子4,525円、女子4,877円)製材及び木製品工業(男子4,975円、女子4,121円)が低い他は、産業による差は余りみられない。(12表の1)

規模別にみると、労働者数1,000人以上の事業場では男子5,835円、女子5,892円であるのに対し、少数の例外はあるが事業場規模が小さくなるに従い賃金額は低くなつて、10人未満の事業場では男子4,444円、女子4,015円であり、大規模事業場と小規模事業場の差額は1,200～2,000円になる。(12表の2)

(5) 災 害

昭和30年1～12月の1年間に発生した業務上の休業災害についてみると、大企業では172事業場中147事業場に、中小企業では1,490事業場中421

事業場に何らかの休業災害が発生している。

産業別の災害件数は金属工業2,106件、機械器具工業1,503件、製材及び木製品工業1,255件等が多い。(13表)

災害程度別にみると女子より男子に、成年者より年少者に、中小企業より大企業に休業日数の長い災害乃至は死亡災害の率が高い。(14表)

労働者数を1,000とした場合の災害件数即ち災害千人率(但し、この場合の労働者数は31年4月末現在のものであり災害件数は30年1年間のものであるので、この間に多少のズレがある)は、女子18.1より男子46.4の方が、成年労働者(男子45.7、女子17.5)より年少労働者(男子55.9、女子20.3)の方が、大企業(男子40.5、女子11.7)より中小企業(男子71.5、女子34.9)の方がいずれも高い率を示している。殊に規模別の差は紡織工業の女子、金属工業の男女、印刷及び製本業の女子に著しい。

年少労働者の場合、特に災害千人率の高いのは食料品工業の大企業の男子(146.9)、金属工業の中小企業の男子(90.3)、紡織工業の大企業の男子(80.4)、製材及び木製品工業の中小企業の男子(66.5)等である。(15表)

(6) 教育、娯楽

イ、技能者養成施設

調査事業場数1,662事業場のうち13.4%に当る223事業場は何らかの方法で技能者養成施設を設けている。

機械器具工業、金属工業等は大企業に多く設けられ、その他の産業は比較的中小企業に多く設けられている。

技能者養成施設のうち労働基準法によるものは62.3%である。

また大企業の場合はその85%が単独養成であるのに対し、中小企業では62.5%が共同養成である。(16表)

ロ、事業場附属教育施設

事業場に労働者のための教育施設を設けているのは、中小企業では非常に少く2.2%に過ぎない。

これに対し大企業では23%強が附属教育施設をもっている。(17表)

ハ、夜間通学生に対する特典又は配慮

昼間働き、夜は学校に通っている年少者は少ないが、これら年少者に対して事業主はどのような配慮をはらっているだろうか。

何らかの配慮を行っている事業場は、176事業場であるが、大企業に多く中小企業に少ない。

その内容を見ると「終業前に帰す」123件、「残業をさせない」122件が最も多いが、年少労働者の場合は原則として時間外労働をさせてはならないことが労働基準法で規定されており、残業させないのは当然なことであるにも拘らず、それが恩恵的に与えられている。

その他に「奨学金支給」「試験や学校の行事の際は休日を与える等の便宜をはかる」「交替制の場合、嵐専にする(紡織業)」「作業時間をくり上げる」等がある。(18表)

夜間通学生は雇入れないという方針をとっている事業場も中小企業には少ない。

ニ、教養、娯楽施設

教養娯楽施設といつても多種多様にあたるが、これらを総合すると、大企業では70.9%、中小企業では47.9%が、従業員のために何らかの教養娯楽施設を設けている。

その内容を見ると、大企業では施設をもつ事業場の41%は図書室を、40%はお茶、お花、洋服等のけいと道具を、34%はラジオ、テレビ、楽器等を、32%は将棋、麻雀を、26%は集會室を設けている。殊に労働者1,000人以上の事業場では以上の諸施設をすべて備えたものが多いのに対し、中小企業では教養娯楽設備といつても「ラジオ」又は「将棋」が殆どで、これが唯一の娯楽品となつていような有様である。

ホ、体育施設

体育施設についても娯楽施設と同様、大企業と中小企業ではその内容に大きな相違があるが、ここではまず従業員のための何らかの施設をもっている事業場数を調べてみた。これによると大企業では90%強が、中小企業では50%強が施設を設けている。

次にこの施設の内容であるが、これを大別して運動場、テニスバレー等のコート、プール等運動をするための場所と、ボール、ラケット等運動をするための道具の二つに分けて集計した。何らかの体育施設のある事業場数を100とした場合、大企業、中小企業を問わずその約95%は運動器具を備

えている。これに対して運動場等の場所については大企業が半数近く持つているのに比し、中小企業はごく少ない。

いいかえるなら大企業の場合は運動をするのに道具も場所も比較的恵まれているのに対し、中小企業では道具があるといつてもその内容は貧しく(グローブ、ピンポン台等がその主なものであつた)、更に運動をする場所に至つては皆無といつてよい程恵まれていないことが分る。(20表)

(7) 福祉、厚生

イ、医療施設

何らかの医療施設を持つている事業場は調査事業場の約85%で、中小企業より大企業の方が稍々その率が高い。

しかし、その内容を見ると、施設をもつ大企業の半数以上が診療所乃至は医務室を持ち、更に17%弱の事業場には医師が常時又は定期的に来ていふのに対し、中小企業では55%弱が救急箱程度のものを備えているに過ぎない。しかし中小企業でも医師を定期的に呼び(20事業場)或は診療所を持つているもの(4事業場)もあり、大企業でも救急箱程度の用意しかないもの(38事業場)乃至は全く医療施設を持たないもの(22事業場)もある。(21表)

ロ、健康診断

常時50人以上の労働者を使用する事業場においては、雇入れの際と毎年1回以上の健康診断を実施しなければならないことが労働基準法により義務づけられている。

事業場側の回答によると労働者数50人以上の事業場でも採用時並びに定期的に健康診断を実施しているところは70%弱、50人未満の事業場に至つては20%強である。

中小企業に多いのは、採用時には実施しないが定期的には健康診断を行つているというもので、50人未満の事業場では半数以上がこの方法をとつている。この中には採用時には医師の診断書を持つて来させるといふものもあつた。

採用時、定期的共に健康診断を全然実施しないといふのは、事業場規模が小さくなるに従い増している。10人未満の事業場では27%が全く健康診断を実施していない。

産業別に実施状況を見ると製材及び木製品工業が最も悪く、全く実施しない事業場が20.6%、最

もよく実施されているのは食料品工業で、約90%は健康診断を実施している。

ハ、食堂、浴室

食堂を有しているのは大企業81%強、中小企業48%、浴室のあるのは大企業76%弱、中小企業43%強で、いずれも大企業の方が整備されている。

産業別では、紡織工業、食料品工業に比較的多く、印刷及び製本業に少い。(23表)

ニ、住居施設

従業員のための住居施設を設けている事業場は大企業及び労働者数10人未満の小企業に多く(60~70%)、中企業に稍々少い(50~55%)。

施設の内容をみると大企業には「寄宿舎として独立の棟」を設けているものが最も多く70%強を占め、これと併設して或は別に「その他の施設」(社宅等)を設けているところが多い。労働者数50人~99人の事業場では「寄宿舎として独立の棟」があるもの50%強と共に「事業場内に特定の部屋」を設けたもの40%強が多くなっている。労働者数10人~49人の事業場になると「寄宿舎として独立の棟」を設けたもの、「事業場内に特定の部屋」を設けたもの、「事業主の住居内に一定の部屋」を設けたものがそれぞれほぼ同数で30~35%を占めている。労働者数10人未満の事業場では「事業主の住居内に一定の部屋」を設けたものが60%強で最も多くなっており、他は少くなっている。

即ち、大企業では住込といつても独立した寄宿舎があり、そこから事業場に通勤しているものが多く、また年少者のためのものではないが社宅を設けているところが多い。中企業の住居施設は様々な形をとっており、小企業では雇用主と起居を共にする昔ながらの住込の形式がとられている。

(24表)

ホ、母子施設

全産業を通じ、母子施設を設けているところは非常に少く、大企業では9事業場が、中小企業では2事業場が施設をもっている。

産業別にみると食料品工業4、金属工業3、紡織工業、機械器具工業がそれぞれ2、印刷及び製本業、製材及び木製品工業には全然なかつた。なお食料品工業4のうち3は煙草製造業、1は菓子製造業である。(25表)

ヘ、社会保険

健康保険、労災保険、失業保険、厚生年金保険は労働者を常時5人以上雇用する事業場に適用される。なお労災保険は労働者数5人未満の場合でも、業務災害の多い一部の事業にも強制適用される。

法的に加入の義務がない労働者5人未満の事業場でも、事業主の申請による任意包括の道が開かれている。

これら社会保険の加入状況を事業場側の回答によつてみると、4者のうち労災保険の加入状況が最もよく、5人未満の事業場を含めて89.3%が加入している。次いで健康保険80.2%、厚生年金保険77.0%、失業保険73.4%の順となつている。

規模別にみると労働者数50人以上の事業場では各保険共約99%加入している。労働者10人~49人事業場では85~95%の加入率を示し、5人~10人の事業場では労災保険の80%強以外は40~60%という低率を示している。以上が適用事業場であるが、任意適用である労働者5人未満の事業場の加入率は労災保険47.8%、健康保険21.1%、失業保険12.2%、厚生年金保険8.9%となつている。

産業別にみると、災害の多い金属工業、製材及び木製品工業に労災保険加入率が高くなっている。他は、産業による相違は余りみられない。

(26表)

以上述べたように適用事業場においても加入していないものが多くみられるが、任意適用も含めて非加入事業場に、その理由を問うと次のような状況である。

最も多いのは「必要を認めず」という頭から否定してかかっているもので23%がこれである。特に失業保険にこの傾向は著しく、失業保険の制度そのものを誤解している向がみられる。即ち「徒弟であるから失業はさせない」「怠けてクビにした者の面倒までみる必要なし」「若い者が失業保険を買つておらぶらしているのはよくない」「労働者の気がゆるむので反つて為にならない」等である。次いで「労働者が少い」「手続が面倒」「保険料が高い」「労働者の移動がはげしい」等が非加入の主な理由となつており、又「現在申請中」「研究準備中」というのも比較的多い。(27表)

ト、公共の福祉教育施設を設けることに対する意見

以上述べてきたように、年少労働者殊に中小企

業に働く年少者は福祉教育施設に恵まれていない。また事業場としても各中小企業が個別にこれらの施設を設けることは困難である。そこで地域的にまとまって利用できるような公共的福祉教育施設を設けるようにしてはどうだろうか。これに対する事業場の意見をまとめると、「意見なし」という無関心なものが非常に多く大企業で60%弱、中小企業で80%弱を占めている。意見のあるものについてみると大多数が一応賛成してはいるが、不賛成或は不要というものもみられる。

賛成者の中には「双手をあげて賛成」し、「計画中」のもの、「体育施設、集会場、図書館、教育施設等がほしい」等積極的意見を出すものから、「趣旨には賛成するが……」と言葉をにこし、「困難」又は「不可能」であると言うものまで含まれている。中小企業に「技能者養成施設がほしい」というのが目立つた。

不賛成の理由は「費用なし」「利用価値なし」等で、中小企業には「従業員の思想が悪化する」「働かなくなる」「事業主に不利な結果を招く」等を理由としてあげたものも若干あつた。

不要を唱えているのは「事業場で独自に設けている」等大企業に多い。(28表)

(8) その他

イ、年少者の苦情処理状況

年少労働者のもつ不平不満を、事業場側はどのような方法で聴取し処理しているであろうか。これについて何らかの方法を講じている事業場は大企業では78.5%、中小企業では23.9%である。しかもその大部分は特に年少者を対象としたものでなく、年少者をも含めた全労働者を対象としたものである。(29表の1)

その方法は、大企業では「職制又は年長者を通じて」(43事業場)、「労働組合を通じて」(34事業場)、「苦情処理委員会を通じて」(20事業場)「寄宿舎の責任者を通じて」(18事業場)というものが多く、中小企業では「個々の年少者と話合う」(183事業場)「職制又は年長者を通じて」(170事業場)が最も多く、次いで「定期的に懇談会を開く」(75事業場)「労働組合を通じて」(24事業場)が多くなっている。この他投書箱を設けたり、世論調査や感想文を書かせる等の方法も比較的多く用いられていた。(29表の2)

なお大企業中小企業を通じて「年少者は別に不

平不満を持っていない」と回答した事業場が非常に多かつたが、これは不平不満の有無が必ずしも究明された結論といえるかどうか疑問である。

また前述のように何らかの方法をとつていると回答したものでも積極的な苦情処理機関とはいえないようなものが多い。

中小企業の中には、定期的に懇談会を開いて話し合い、投書箱を設ける等、種々の努力をしている事業場も見受けられるが、「不満のある者はやめて貰う」「雇用する際、不平は一切言わないという約束をさせた」「食べさせて仕事を教えてやつてのだから、有難いと思うのが当然、不平等はもつてのほか」という回答が相当数みられる。

ロ、労働組合

労働組合の結成の有無は、大企業に多く中小企業に少ない。

労働者数1,000人以上の事業場は100%の結成率を示し、500人～999人の事業場では90.7%、100人～499人の事業場は69.8%、50人～99人の中小企業になると激減して21.1%となり、更に10人～49人は7.4%、10人未満の事業場ではわずかに0.4%(2事業場)に過ぎない。(30表)

(9) 調査者の感想

最後に、実際に調査に当たった調査員の意見感想等を記してみよう。

まず大企業についてみると、調査対象となつた172事業場のうち147事業場に何らかの意見が記入されている。その内容は労働環境に関するものが最も多く216件、1事業場につき1項目以上の労働環境に関する意見が記入されていることになり、又これは総件数の60%弱に当る。次いで労働条件に関するもの75件、人間関係に関するもの51件、そのほか雇用に関するもの、疲労、健康に関するもの等である。

労働環境に関するものうち、主なものをあげると「採光がわるい」22件、「塵埃が多い」20件、「乱雑」15件、「暑い」13件、「通風がわるい」「狭い」「建物不適」それぞれ12件等であり、これに対し環境を良とするものは「清潔」14件「採光がよい」10件等である。

労働条件に関するものでは「福利厚生施設不完全」14件、「賃金が低い」「危険な作業である」がそれぞれ8件等である。

人間関係に関するものにはこれを良とするもの

が比較的多く「明るくのびのびしている」16件、「楽しく熱心に働いている」「労務管理が行届いている」各々5件、「年長者が親切によく指導している」4件等であり、「暗い」「しつくりしていない」「使用者が封建的、威圧的」「年長者と年少者の間がうまくいかない」等が各々3件づつあった。

雇用に関するもの、健康、疲労に関するもの、通学に関するもの等は記入されているものが少ないので省略する。(31表の1)

次に中小企業では、調査の対象となつた1,490事業場中90%近くの1,303事業場について、何らかの意見感想が記入されている。その内容は多岐にわたり3,575件に達している。このうち大企業と同様労働環境に関するものが最も多く2,469件、総件数の70%弱がこれに該当する。次いで労働条件に関するもの515件、人間関係に関するもの510件で、大企業に比べ人間関係に関するものが多い。疲労健康に関するもの、通学に関するものも大企業に比べて多く、中小企業で働く年少者の悩みを伺うことができる。

労働環境に関するもののうち、主なものをあげると悪い面では「採光がわるい」392件、「狭い」285件、「乱雑」184件、「通風がわるい」176件、「塵埃が多い」172件、「騒音がはげしい」115件、「不潔」104件等であり、良いものは「採光がよい」226件、「通風がよい」141件、「広々している」108件、「整頓されている」82件、「清潔」81件等である。

労働条件に関するものでは「長時間労働」83件、「労働過重」74件、「休憩なし」52件、「賃金が低い」46件、「危険な作業である」39件等がその主なものであり、大企業に比較して労働時間、賃金等直接労働条件に関するもの或は作業そのものに対する意見の多いことが注目される。また中小企業に特有な「家事労働をさせられる」「賃金を親が前借りし、年少者本人は知らない」「仕事がない時は休ませられる(従つて賃金は貰えない)」等がみられる。

人間関係については、大企業が良い面を比較的多く出しているのに対し、中小企業では良い面と同時に悪い面も多く出てきている。即ち「家庭的で和やか」139件、「明るくのびのびしている」61件、「親和的」41件、「楽しく熱心に働いている」28件、「労務管理がよく行届いている」21件に対

し、「使用者が封建的威圧的」112件、「家族従業員が常に監視している」20件、「暗く、萎縮している」19件、「家庭的でよくない(労働者を雇用主の家庭の使用人と混同している)」8件等がみられ、従つて「年少者の態度がわるい」「年少者が不まじめ」「不平不満が多い」(各々5件)等の結果となつて現われている。

雇用に関するものは少く、「縁故者のみを採用」「年少者を雇用したがる」「離職者が多い」等である。

疲労、健康に関するものでは、「疲労がみられる」17件が多く、その他、「顔色がわるい」「眼がわるくなりそう」等がみられる。

通学に関するものでは、「通学に理解がない」「通学に反対」を併せて8件ある。

その他、「技術の習得、独立のできないのを悲観している」「勉強意欲をだんだん失つてゆく」「夏期は就業し、冬は失業保険でくいつないでいる」等、中小企業に働く年少者の切実な訴えを知ることができる。また事業主側としても「資金のやりくりで一杯である」等訴えている。(31表の2)

3. 年少労働者個人調査

(1) 年少労働者の家庭に関する事項

および就業経路

年少労働者の家庭に関する事項

年少労働の問題に入る前に、その背景となる個々の年少労働者の家庭状況についてみると次のとおりである。

この調査の対象年少労働者11,074人のうち回答のあつた11,000人についてみると、自県出身者(現在就業している都道府県と、就業前の居住県と同じのもの)は71.9%、他県出身者(現在就業している都道府県に他の都道府県から移動してきて就業しているもの)は28.1%である。規模別では、大企業の比率は総数(調査年少労働者総数、以下略)の比率と殆んど変わらないが、10人未満の事業場の年少労働者の比率は自県出身者66.6%、他県出身者33.4%で他県出身者の比率が大企業より高い。(32表)

年少労働者の家庭の職業は、農業が1/3を占めているが、規模別にみると大企業は農業30.0%、中小企業は35.6%で中小企業の方が農家出身者の比率が高い。(33表)(但し経費の都合により、調査の対象地域に或る程度の制限があつたことを考

慮して結果をみてほしい)

年少労働者のうち両親がそろっているものは72.9%で、大企業と、中小企業と比べると僅かに前者の比率が高いがこの面では大きな違いはみられない。(34表)

次に就業前の年少労働者の状況についてみると「学校へ行っていた」ものが84.8%で最も多く、次いで「他の所へつとめていた」もの8.1%、「勤め口がなく家業を手伝っていた」もの即ち潜在失業と考えられるもの3.6%となつている。大企業と中小企業と比べると、就業前に「学校へ行っていた」年少者は大企業の比率が高く、「他の所へつとめていた」年少者、潜在失業とみられる年少者は中小企業の比率が高い。(35表)

以上のことから、中小企業で働く年少者は大企業に比べ他県出身者、農村出身者の比率が高く、又現在の事業場に就業する前に他の事業場でつとめていたもの、潜在失業の状態にあつたものが多く、学校を卒業してすぐ勤めた年少者の比率は大企業より低いことがわかる。

ロ、年少労働者の就業経路

就業の経路は「学校および職業安定所の紹介」が最も多く併せて62.3%を占め、大企業は74.2%中小企業は55.8%で大企業の比率が高い。「知人の世話」「雇主と親戚」「自分でみつけた」場合は前とは逆にいずれも中小企業の比率が高くなつている。(36表) このように、大企業の年少者は学校或は職業安定所を経て就業しているが、中小企業の年少者は知人、親戚等の縁故関係を辿つて就業しているものが多い。(36表)

(2) 就業状況

イ、年少労働者数

この調査の対象となつた年少労働者は11,074人で、年少者が働いている事業場の規模別にみると労働者数1,000人以上の事業場では1,151人、500人~999人では884人、100人~499人では1,858人、50人~99人では2,386人、10人~49人では3,672人、10人未満では1,123人である。

労働者数100人以上の事業場の年少者は全部で3,893人、100人未満の事業場の年少者は7,181人で、前者は調査対象者の35.2%、後者は64.8%を占めている。

産業別では紡織工業3,627人(32.7%)、機械器具工業2,494人(22.5%)、食料品工業1,515人

(13.7%)、金属工業1,544人(13.9%)、製材及び木製品工業1,069人(9.7%)、印刷及び製本業825人(7.5%)である。

性別にみると、男子5,556人(50.2%)、女子5,518人(49.8%)で、性別の調査対象数は特に指定しなかつたが、全国の年少労働者数の性別比率と同じような結果がみられる。産業別では紡織工業と食料品工業は女子が、機械器具工業、金属工業、製材及び木製品工業、印刷及び製本業では男子が多い。(37表)

調査を行つた14都道府県別の調査年少労働者数は38表のとおりである。

ロ、労働状況

年少労働者のうち通勤のものは69.2%(7,663人)で残りが住込(寄宿舎、寮、雇主の家や工場等に居住するものをさす)であるが規模が小となる程住込の比率は高くなつていて、産業別にみても紡織工業を除いては規模が小となるに従つて住込の比率が高くなつている。紡織工業の場合は大企業に寄宿舎が完備しているところが多いので通勤より住込の年少者が多く、大企業と10人未満の事業場の住込の比率が高い。(40表)

年少労働者の勤続年数については3カ月未満のものが40.9%、1年以上のものが46.1%でその中間の比率が低いが、3カ月未満のものの中には今年の4月から勤めた年少者も多いものと思われる。規模別では勤続年数3カ月未満は中小企業が、1年以上は大企業が高率であるがこのことは中小企業に新規就業者が多いこと、転職の多いこと、大企業の雇用の安定性等を裏書きするものと思われる。(41表)

次に年少労働者の労働環境について、好ましくないと思われる10項目を挙げ、年少者が記入した該当項目についてみると「作業場が暑い」19.7%「作業場がそうぞうしい」16.9%、「作業場にほこり、蒸気、ガス等がひどい」14.0%、「作業場が狭い」11.4%等が主なものである。そして大企業の比率が高いのは「暑い」「そうぞうしい」等で、中小企業の比率が高いのは「狭い」「整頓がよくない」「寒い」等である。しかし、この回答には相当主観的な要素が含まれているものと考えられる。(42表)

年少労働者のうちで自分の受持つている業務以外に雇主の家の家事等に使用されているものは

24.7%もみられる。

規模別にみれば大企業では16.0%、労働者数50人～99人の事業場では27.1%、10人～49人では27.7%、10人未満では39.8%で規模が小となるほど家事に使用される年少者の比率は高くなる。更に通勤住込別に大企業と中小企業を比べると大企業では住込年少者は寄宿舎に居住するものが多いので通勤の年少者の家事に使用される比率が高いが、10人未満の事業場では通勤より住込の年少者の比率が高い。(43表)

そこでこの項でみられたことは、年少労働者の約30%が住込の労働者であるが、規模が小となる程住込年少労働者の比率が高くなること、事業主の家の家事に使用されているものが25%にのぼり、この場合も規模が小となる程この比率が高率であること、中小企業では単純年次の短い年少者が、大企業では長い年少者が多いこと等である。

(3) 労働条件

イ、実労働時間

1日の年少労働者の実労働時間(休憩時間を除く)は7時間以下6.9%、7時間を超え8時間以下63.8%、以下同じく9時間以下16.7%、10時間以下7.1%、11時間以下3.2%、12時間以下1.7%、12時間を超えるもの0.6%で8時間以下の年少者が全体の70.7%を占めている。規模別では、実労働時間が8時間以下の年少者は規模が小となるに従って比率が低くなり、労働者数10人未満の事業場では実労働時間8時間以下の年少者は52.8%に過ぎない。そして実労働時間が8時間を超えるものは、事業場規模が小となるに従って比率が高くなる傾向がみられ、実労働時間10時間を超えるものは労働者数50人～99人の事業場で5.0%、10人～49人では7.9%、10人未満では13.7%みられる。なかには12時間以上働く年少者もある。(44表)この結果は事業場調査と同じ傾向を示すが、長時間労働が事業場調査より更に歴然としている。

残業の有無について「有り」と答えた年少者は労働者数100人以上の事業場で15.1%、50人～99人では36.3%、10人～49人では32.6%、10人未満では30.8%で中小企業に多いことがわかる。

残業をする回数は、1カ月に1～4回26.0%、5～9回13.7%、10～14回11.8%、15～19回7.5%、20回以上26.7%で、残業回数は1カ月1～4回と20回以上のものが多いが、残業が1カ月に20

回以上あるということは、殆んど毎日残業をしていることを意味するといえよう。(45表)

休憩時間のある年少者は93.9%で、30分～1時間のものが多い。しかし年少労働者の雇主に対する希望意見には「労働時間、休憩時間をきめてほしい」というものも多かつた。(46表)

ロ、休日

年少労働者の大部分のものは「休日あり」と答えているが、その内容をみると、週1回の77.6%を除いては労働基準法の規定より少ない休日しか与えられていない。週1回および月4回の休日は労働者数100人以上の事業場の年少者96.8%、50人～99人80.3%、10人～49人74.9%、10人未満61.2%で規模が小となるに従って比率が低く、逆に月1回、2回の休日をもつ年少者の比率は規模が小となるに従って高くなっている。(47表)

年次有給休暇「あり」と答えた年少者は42.2%、「なし」は18.3%であるが、年次有給休暇を知らない年少者が39.5%もあつた。

年次有給休暇「あり」と答えた年少者は、労働者数100人以上の事業場で67.6%、50人～99人で35.6%、10人～49人で26.8%、10人未満では18.7%である。「なし」および「しらない」と答えた年少者は逆に規模が小となるにつれて比率が高く、10人未満の事業場では81.3%となつている。

(48表)

ハ、賃金

(4) 初任給

年少労働者の1カ月の平均手取初任給額は男子3,640円、女子3,152円で、男女調査対象者の年齢別人員数および学歴に大きな相違はないと見られるので初任給において既に男女の差別があることがわかる。

通勤、住込別では、男子は通勤3,835円、住込3,052円、女子は通勤3,564円、住込2,325円で何れも男子の初任給が高く、又通勤と住込の差額は男子の方が大である。

次に規模別にみると、若干の例外はあるが男子も女子も通勤、住込いずれも規模が小となるに従って初任給額が低くなり、女子の住込を除くと労働者数1,000人以上の事業場と10人未満の事業場では1,000円前後の差がみられる。(49表、50表)50表は賃金階級別の年少労働者の分布を示す表である。

産業別の平均初任給額は、紡織工業、男子2,663円、女子2,654円、機械器具工業、男子3,697円、女子3,962円、食料品工業、男子2,974円、女子3,843円、金属工業、男子3,868円、女子3,950円、製材及び木製品工業、男子3,344円、女子3,291円、印刷及び製本業、男子3,587円、女子3,494円で機械器具工業および金属工業が高く紡織工業が低い。(51表)

(d) 平均賃金

次に昭和31年4月における年少労働者の税金、保険、食費等を除いた手取平均賃金(月額)をみると、男子は4,105円、女子は3,800円で、初任給よりは差が少いがやはり女子の方が低い。

男子は通勤4,535円、住込2,835円、女子は通勤4,175円、住込3,124円で住込の場合は女子の賃金が高い。

規模別に賃金をみると、男子の通勤は労働者数1,000人以上の事業場では5,019円、500人～999人では5,111円、100人～499人では4,444円、50人～99人では4,566円、10人～49人では4,368円、10人未満では4,156円で、住込は2,698円、3,504円、3,492円、3,640円、2,586円、2,477円である。女子の通勤は同じく5,718円、4,147円、4,159円、3,876円、4,008円、3,990円で、住込は4,323円、3,431円、2,837円、3,167円、2,651円、2,544円で、多少の例外はあるが、規模が小となるに従って賃金が低くなる傾向が明らかである。特に10人未満の事業場の賃金は低く、100人以上の事業場の賃金とは相当の開きが見られる。(52表)

賃金階級別年少労働者数の分布をみると、男子の通勤では3,000円～6,000円、住込では1,000円～4,000円、女子の通勤では3,000円～6,000円、住込では1,000円～5,000円の層に分散している。(53表)

産業別の平均賃金は紡織工業では男子通勤4,097円、住込2,715円、女子通勤3,888円、住込3,144円、機械器具工業では男子通勤4,473円、住込2,750円、女子通勤4,818円、住込3,727円、食料品工業では男子通勤4,558円、住込2,899円、女子通勤4,327円、住込3,473円、金属工業では男子通勤4,781円、住込3,111円、女子通勤4,295円、住込1,250円、製材及び木製品工業では男子通勤4,540円、住込2,247円、女子通勤4,087円、住込2,029円、印刷及び製本業では男子通勤4,512円、

住込3,212円、女子通勤4,107円、住込3,847円である。(54表)

年少労働者の労働条件の項をまとめると、労働基準法に定められている労働時間8時間以下の年少者は70%であるが、事業場規模が小となるに従ってこの比率は低くなり、10人未満の事業場では50%余りである。

従って、残業についてみても、大企業では15.1%の年少者が残業しているが、中小企業では約2倍の30%余りが残業をしている。

休憩時間が全然与えられていない年少者も6.1%みられる。

休日の有無については多くの年少者が「あり」と答えているが大企業では週1回の休日と考えられるものが96.8%を占め、規模が小となるに従ってこの比率が低くなり、10人未満では61.2%である。又、月1～2回の休日は中小企業の比率が高い。年次有給休暇も全く同じ傾向をみせ、全体では年次有給休暇のある年少者は42.2%であるが、その内訳をみると大企業では67.6%の年少者が年次有給休暇を与えられており、規模が小となるに従って低率となり、10人未満の事業場においては81.3%の年少者が「なし」「知らない」と答えている。

年少労働者の1カ月の平均手取初任給額および平均手取賃金は規模が小となるに従って低くなる傾向をみせている。

(4) 災害および疾病

イ、災 害

年少労働者の業務上の休業災害については、昭和30年1月以前から在職している2,402人の年少労働者を対象として、昭和30年1月～12月の間の災害状況をしらべた。

年少者自身の回答によると2,402人のうち災害を受けたものは464人で、19.3%に当り、規模別にみると大企業では1,092人のうち122人(11.2%)、中小企業では1,310人のうち342人(26.1%)で、中小企業の比率は大企業の2倍以上高率である。(55表)

次に災害件数674件を休業した日数で分けると、休業1～7日の災害が516件、休業8日以上(8日以上の災害)が158件で、休業1～7日の災害が76.6%を占めている。

性別では男子426件、女子248件で休業8日以

上の災害の比率では男子が高い。

規模別にみると大企業 168件、中小企業 506件で、大企業は休業1～7日58.9%、8日以上41.1%、中小企業は休業1～7日82.4%、8日以上17.6%で、大企業の方が休業日数の長い災害が多い。

そして休業日数8日以上の災害の比率が高い産業、云いかえれば比較的災害による負傷が重いとされる産業は、食料品工業、印刷及び製本業、金属工業である。(56表)

災害を受けた場合の医療費の負担は、労災保険によるもの65.3%、事業主が負担したもの24.4%、年少者が自分で負担したもの10.3%で、規模別にみると大企業では70%余りが労災保険で支払われている。そして規模が小となるに従ってこの比率は低くなり、10人未満の事業場では45.8%である。従って、雇主或は自己負担によつて医療費を支払う年少者の比率は中小企業が高い。(57表)

ロ、疾 病

前と同じく、昭和30年1月～12月の間に休業を要した疾病(業務上の疾病に限らない)にかかった年少労働者数をしらべると、在職年少労働者2,402人のうち1,634人が疾病にかかつたと回答し罹患率は68.0%となつている。大企業と中小企業の年少者の罹患率を比べると大企業は55.3%、中小企業は78.6%で大企業の方が低い。(58表)

59表は産業別の疾病にかかつた年少労働者数である。

疾病の内容についてその主なものを挙げると風邪(31.2%)、頭痛(11.8%)、腹痛(11.7%)、盲腸炎(8.4%)、胃痛(6.7%)等である。(60表)疾病にかかつた際の医療費の負担は1,634人の67.4%が健康保険で、0.2%が労災保険で支払われているが、5.2%は事業主が、17.4%は年少者が自分で負担している。

健康保険によつて支払つた罹患年少者は100人以上の事業場では78.8%、50人～99人では68.8%、10人～49人では60.7%、10人未満では36.9%で、規模が小となるほど比率が低いのは、事業場の健康保険の加入率が低いことを裏づけている。また医療費の自己負担および事業主負担の比率は逆に事業場規模が小となるほど高い。(61表)

以上のように、年少者の災害の発生率および疾病の罹患率は大企業に比べ中小企業が高率であるが、事業場規模が小となるほど事業場の労災保

険、健康保険等の加入が少く、特に10人未満の事業場では加入率が低いため中小企業では医療費の負担が年少者および事業主に多くかかっている。

(5) 教養、娯楽

イ、教 育

年少労働者のうちで働きながら学んでいるものは男子1,834人(33.0%)、女子1,079人(19.6%)で男子の比率が高い。

通勤と住込別にこれを見ると、大企業の女子を除いては男女とも通勤の年少労働者の方が就学者の比率が高く、住込の年少労働者の就学が困難なことを物語っている。

規模別では、男子は労働者数100人以上の事業場58.9%、50人～99人、26.7%、10人～49人、20.9%、10人未満15.4%、女子は同じく33.1%、12.9%、9.8%、6.9%が就学しているが、規模が小となるほど就学者の比率が低くなる。この傾向は通勤、住込の別でみても、同じであるが、特に大企業の住込年少者の就学率が高いのは大企業においては寄宿舎、附属教育施設が完備しているためと考えられる。(62表)

就学している学校の種類別の人員数は、男子では技能者養成施設741人、定時制高校1,152人、通信教育171人、その他の学校521人、女子は夫々120人、269人、57人、621人であるが、なかには定時制高校と技能者養成施設との両者に学んでいるものもある。(63表)

次に定時制高校を取上げて規模別の比率(定時制高校就学者/就学者)をみると、男子は労働者数100人以上の事業場55.0%、50～99人、78.8%、10～49人、69.4%、10人未満63.0%、女子は夫々17.1%、50.0%、38.3%、12.1%で男子の方が高率であるが、男女いずれも大企業と10人未満の事業場ではその比率が低い。(64表)

就学していない年少者(男子3,722人、女子4,439人)のうち就学を希望しているものは男子53.9%、女子69.1%で女子の比率が高い。規模別にみると男子は労働者数100人以上の事業場では64.5%、50～99人61.3%、10～49人49.8%、10人未満40.9%、女子は同じく、74.6%、69.1%、64.3%、62.0%で、事業場規模が小となるほど就学の希望が失われるのではないかと考えられる。(65表)

就学を希望していながら就学出来ない理由として、男女とも「時間がない」「疲れる」(30%前後)

「家計が苦しい」(15%余り)を挙げているが10人未満の事業場では「時間がない」というものが非常に多く、住込の場合は「時間がない」(家主が許さない)等の回答が多い。女子においては「近くに学校がない」ということも大きな理由となつている。(66表、67表)

ロ、一般教養娯楽

(4) 小遣

年少労働者の教養娯楽のために使われる1カ月の小遣(就学のための費用は除く)は男子平均820円、女子平均712円で、男子通勤861円、住込700円、女子通勤697円、住込737円で男子の通勤年少者が最も多く使っている。

規模別では労働者数1,000人以上の事業場の男子年少者は1,087円、500人～999人では909円、100人～499人では857円、50人～99人では848円、10人～49人では707円、10人未満は816円で、女子年少者は同じく917円、824円、780円、615円、687円、514円で規模が小となるほど低く、最高、最低の差は男子約250円、女子約400円である。この傾向は規模別の賃金の傾向と同じで、教養娯楽のために使われる経費が賃金額によつて左右されることがわかる。

通勤、住込別でも同じ結果が現れているが、住込の大企業の年少者の小遣が比較的多いのに、同じ住込の小企業の年少者の小遣が少いのは注目すべきことで、大企業では労働時間も短く、寄宿舎生活で小遣を使うことも多いが、中小企業では労働時間が長いため拘束され小遣を使う機会がないことも一因と思われ、特に女子の場合は極度に少額であつた。(68表)

小遣の額による年少労働者の分布によれば、男子は500円～1,000円、女子は500円～1,000円及び100円～500円の層に分布しているが、男子は1カ月2,500円以上の小遣を使うものが100人以上みられ、そのうち70%は通勤の年少労働者である。(69表)

(4) 読書

年少労働者のうち「最近本を読んだ」ものは74.8%、「全然読まない」ものは21.1%である。労働者数100人以上の事業場(79.6%)と10人未満の事業場(70.1%)を比べるとこの場合も大企業の比率が高く、特に寄宿舎に住んでいるとみられる住込年少者の読書の比率(83.9%)が高い。(70表)

年少労働者が書物を手に入れる方法は「友達に借りた」35.4%、「自分で買った」33.0%、「工場の図書を借りた」9.5%、「貸本屋で借りた」9.2%、「図書館で借りた」5.0%等で自分で買ったり友達に借りたりするものが多く、又貸本の利用者が案外多く図書館利用者は少ない。そして書物を自分で買った年少者や貸本屋で借りた年少者は大企業では比率が低いが中小企業の比率が高く、逆に工場や図書館の書物を借りた比率は大企業の年少者が高く中小企業の場合は低くなつている。

(71表)

(4) 映画

比較的多くの年少労働者が楽しんでいる映画について、年少者がどの位興味をもっているかみると次のとおりである。

年少者が映画をみる回数は、事業場規模による差は余りみられず月1回(28.6%)2回(30.1%)3回(14.4%)が多い。なかには10回以上(0.4%)みるものもある。全然みないものは663人(6.0%)で、住込および小企業にその比率が高かつた。

(72表)

(4) 教養娯楽体育についての年少労働者の希望

年少労働者が休憩時間や、仕事が終わつてからどのような文化体育活動を希望しているか、8項目を挙げてその回答を集計すると、男子は映画、女子においては音楽を希望するものが最も多い。

主なものをあげると男子は映画(21.3%)、図書の貸出(20.0%)、音楽(15.9%)、運動会(11.8%)の順であり、女子は音楽(23.1%)、図書の貸出(22.4%)、映画会(17.8%)等である。

規模別にこれをみると男子は「図書の貸出」「音楽」「研究会」「ダンス」等いずれも規模が大であるほど希望者の比率が高く、「希望なし」の比率は逆に規模が小となるほど高い。

女子の場合も「研究会」「ダンス」「希望なし」の項で男子と同じ結果がみられる。(73表)

年少者が希望する教養娯楽体育のための施設は、男子では運動場(30.5%)、図書館(26.3%)集会場(22.9%)、女子では集会場(31.9%)、図書館(26.0%)、運動場(21.4%)等である。

男子の図書館、集会場、公民館設置希望は大企業、「運動場設置」と「希望なし」は小企業の比率が高く、女子の場合は著しい差はみられない。

(74表)

以上、年少労働者の教養娯楽体育の面について現われた調査結果を要約すると、次のとおりである。

男子は33%、女子は20%が就学しているが事業場規模が小となるに従い就学者の比率は低くなり、中小企業の住込の年少労働者は通勤の年少労働者に比べ就学が困難なようにみられる。就学していない年少労働者の半数以上は就学を希望しているが「時間がない」「疲れる」等の理由で就学を阻止されている。小企業においては「時間がない」という回答が多く、規模が小となるに従い就学を希望する年少者の比率が低下し、就学に対する関心を失つてゆくものと考えられる。又、中小企業の年少労働者は、中小事業場における教養、娯楽、体育等の諸施設が大企業より劣っているにも拘らず文化体育活動、施設等に対する希望が少いのは、低賃金、長時間労働等により一般教養を身につける機会が少いため、現状に甘んじて文化体育活動に対する関心を無くして了つたのではないかと考えられる。

(6) 職場生活に関する年少労働者の考え方および希望

この項では年少労働者の自由な意見を調査したので、個々の内容についてはできるだけ調査票のままの言葉を転記した。

イ、年少労働者の職業観

勤めてから辛いこと、苦しいことがあつたと回答し、且つ、その内容について記入した年少者は大企業51.1%、中小企業39.8%である。(75表の1)

この内容を比率の高い順に挙げると大企業では労働環境に関するもの(29.6%)、労働状況に関するもの(25.7%)、人間関係に関するもの(23.9%)の順である。

中小企業では人間関係(28.4%)、労働環境(25.3%)、労働状況(24.7%)の順で人間関係が一番問題となつている。その他、中小企業では労働条件に関するもの(11.5%)も比率が高い。中小企業の年少者の回答から主なものを拾うと「先輩が不親切である」(18.6%)「仕事に馴れるまでが苦しい」(17.6%)、「仕事が失敗したときが辛い」(9.9%)、「同僚とうまくゆかない」(8.4%)「労働時間が長い」(3.6%)等である。(75表の2)

次に働いていて最も心配なことはどんな事かみると、大企業では調査年少者の43.8%、(1,707人)中小企業では33.9%(2,437人)が心配なことがあると回答し、その内容は事業場に関するものが最も多く大企業では54.8%(986人)中小企業では58.3%(1,448人)である。事業場以外の項目については大企業の比率が高い。

事業場に関する回答の主な内訳は、大企業では「自分のした仕事が上手くできたかどうかという不安」(24.9%)、「仕事に将来性がないこと」(9.8%)、「解雇」(3.7%)等で、中小企業では「自分のした仕事が上手くできたかどうかという不安」(31.7%)、「仕事に将来性がないこと」(10.4%)、「給料の遅延又は不払」(4.4%)等であるが、中小企業の特異性を示す「仕事に将来性がないこと」、「事業場閉鎖」、「給料の遅延又は不払」等の項目ではいずれも中小企業の年少者の比率が高くなつている。

又「健康を害す」と心配している年少者は意外に多く、大企業では24.7%(444人)中小企業では23.5%(585人)みられる。

このように、大企業の年少労働者が労働環境や、労働状態について辛さや苦しさを訴えているのに対し、中小企業の年少労働者は人間関係、労働条件等を挙げているものが多いのは、中小企業における封建的な労働関係、低い労働条件によるものと思われ、不親切な先輩の下で馴れない仕事に懸命になつている年少労働者の苦しみが目にみえるようである。

又自分のした仕事が上手くできたかどうか心配している年少労働者が多いのは、勤めて間がないし、仕事に不馴れであるから当然のことではあるが、同時に適切な職場の指導が欠けていることも指摘できる。中小企業ではこの他に「仕事の将来性」「事業場閉鎖」「給料遅延又は不払」等の心配が多く、中小企業の特異性がそのまま年少労働者に反映しているとみられる。(76表の1,2)

そして中小企業の年少労働者の自由な意見が比較的少なく無記入のものが多かつたことは、前項の場合と同じく年少労働者のあきらめか、意欲の消失を意味するものではないかと思われる。

年少者が現在の生活をどのように考えているか「今の生活に希望がもてますか」という質問に対する年少者の回答をみると、希望がもてると答える

たものは大企業の年少者が多く、その理由として主なものを挙げると「今の職場は将来性がある」「会社が大きい」「将来独立して商売ができる」「仕事が覚えられる」「自分の仕事が多くの人に役立つ」「入社以来賃金や会社の施設が良くなっている」「学校に行くことができる」等で、中小企業の年少者の回答は少く、その理由も主なものは「勉強ができる」であつた。

今の生活に希望がもてると回答した年少者は、転職希望がなく今の勤め先に長く勤めると答えたものが多いが、なかには希望がもてないにも拘らず長く勤めると答えているものもみられる。

今の生活に希望がもてないと答えた年少者の主な理由は、大企業では「単純で平凡な毎日だから」「何の楽しみもないから」「何の役にも立たないから」「同じことの繰返して、将来生活できないから」「仕事に将来性、安定性がないから」「働いても働いても生活が苦しいから」「仕事がつまらないから」「賃金が少いから」「先輩にいじめられるから」「学校に行っている人がうらやましくて」等で、中小企業では「賃金が少いから」「労働時間が長いから」「長く勤めても昇進しないから」「独立できる希望がないから」「仕事に将来性がないから」「仕事が単純で技術を覚える機会がないから」「きまつた仕事がないから」「働いても世間の人にバカにされるから」「友人が悪いから」「上役、先輩が不親切だから」「他県に来て知人もいなくて淋しいから」等でいずれも労働条件、職場の人間関係、自分の仕事に関する事、仕事の将来性等が年少者に大きな影響を及ぼしていることがわかる。特に中小企業の年少者は労働条件、仕事の将来性に関する回答が多い。

ロ、転職の希望

年少労働者11,074人のうち、今の勤め先をすぐ止めたい、又はほかによいところがあつたら変りたいと転職を希望しているものは3,889人(35.1%)で、通勤と住込に分けると通勤の比率が高く、通勤は2,809人(36.6%)、住込は1,080人(31.7%)である。

大企業と中小企業の年少労働者を比較すると前者は30.9%、後者は37.4%で、中小企業の方が高率である。(77表の1, 2)

次に転職を希望している年少者のうち理由を明らかにしている大企業 821人(68.2%)、中小企業

1,532人(57.0%)の年少者についてその内容を見ると次のとおりである。

大別すると最も回答の多い項目は、大企業では労働状況に関するもの(28.5%)、その他(28.5%)、労働条件(26.0%)の順であるが、中小企業では労働条件(34.5%)、その他(31.1%)、労働状況に関するもの(21.3%)の順で、中小企業の労働条件の低いことを裏書している。主な理由について細目を挙げると大企業では賃金が安い21.3%(154人)、仕事に自分に適さない16.7%(121人)、将来性、安定性がない11.1%(80人)、疲れる6.5%(47人)、他の職場に進みたい6.4%(46人)で、中小企業では賃金が安い23.3%(406人)、将来性、安定性がない15.3%(267人)、仕事に自分に適さない10.5%(183人)、他の職場に進みたい6.0%(105人)、労働時間が長い4.9%(86人)等である。

更に転職理由の各項目毎に大企業と中小企業の年少者の比率を比較すると、労働時間が長い、労働時間の定めがない、休日がない、休日が少ない、休憩時間がない、休憩時間が少ない、賃金が安い、賃金の不払又は遅払、昇給がない、食事が悪い、工場の設備が悪い、仕事が難しい、仕事が危険である、事業主が封建的である、将来性、安定性がない、通勤に不便である、大会社に移りたい等の項目ではいずれも中小企業の年少者の比率が高く、賃金額のきめ方が不公平である、賃金が出来高払いなので競争が激しくて辛い、労働条件が契約と実際と異なる、田舎に帰りたい等の回答は中小企業に特有なものである。大企業の年少者の比率の高い項目は仕事がつまらない、仕事が過重である、仕事に自分に適さない、技術を身につけたい、健康に害がある、疲れる、同僚とうまくゆかない、他の職場に進みたい、他の学校に進みたい、通学に不便である、家庭の都合等で、一般に中小企業の年少者は労働条件を中心とした中小企業特有の切実な不満が、大企業の年少者は自分の仕事を中心とした不満が多くみられる。

又転職を希望しているが理由が不明の年少者の中には、他の項目(調査票の36、37問)で前述したような不満を述べているものが相当数みられる。(78表)

以下主な意見を列挙すると現在の職場で長く勤めると答えたものは大企業の年少者に多く、

今の勤め先は将来性があるから
 他の職場よりよいから
 大きい会社だから
 職場を変えると仕事が身につかないから
 仕事を覚えて一本立ちになりたいから
 仕事が自分に適しているから
 仕事が楽しいから
 一度止めると大きな会社になかなか入れないから

他に職がないから、等と答えている。

中小企業で長く勤めると答えた年少者の理由は、

他に職がないから
 家の生活が苦しいから
 何処も同じだから
 ここで我慢する
 勤める期間が決められているので止めることができないから
 縁故だから
 近所の人や就職を世話してくれた人にますいから

止めると社宅を追われるから

等の悲観的な理由が多く、

仕事が面白いから
 みなが親切だから
 職を覚えて一人前になるまで
 勉強している間だけ

等の意見は比較的少なかった。

ハ、年少労働者の希望

次に雇主、先輩、労働組合、公共職業安定所、労働基準監督署に対する年少労働者の希望や注文のなかで主なものを挙げると次のとおりである。

雇主に対する希望意見が最も多く、大企業の年少者は、

労働時間を短くして
 労働時間を決めて
 賃金を上げて
 賃金の不公平を直して
 会社で怪我をしたときは会社で処置して
 女性にはあまり激しい労働はさせないで
 休日がほしい
 残業を少なくして
 契約した時と実際の賃金と違うので契約通りにしてほしい

寮の設備をよくして
 図書を備えて
 娯楽施設がほしい
 年に一度でもよいからハイキングに連れていつて
 年少者の苦情や希望をきいて
 年少者と話し合う機会を作つて理解して
 青少年の会がほしい
 封建的にしないで
 あまり無理に働かせないで
 度々上役が巡視するので落着かない
 技能養成工の教育を完全にして

労働組合がほしい

中小企業の年少者は

労働時間を決めてほしい
 労働時間を短くして
 夜勤を交替制にして
 残業を少なくして
 休日や休憩時間がほしい
 賃金を上げてほしい
 早く本雇にして
 安全な職場にして
 就職前と労働条件が違う
 工場施設、娯楽施設を完備して
 運動具や施設を作つて
 平等にして差別待遇をしないでほしい
 従業員の希望をよく聞いて
 もつと優しく親切にして
 楽しく働きたい

会社のことを詳しく教えてほしい、等である。
 先輩に対する年少者の希望は大企業も中小企業も殆んど同じで

愛情をもつてやさしくして
 親切に相談相手になつてほしい
 親切に指導して
 仕事に馴れないので無理を云わないで
 乱暴をしないで
 いばらないで
 目下の者の言分も聞いてほしい
 言いたいことは言わせて
 からかわないで
 楽しく働きたいから下品な話はしないでほしい
 かげ口を言わないで

呼びすてにしないで

私用につかわないで

学生を理解してほしい、等である。

労働組合に対する大企業の年少者の希望、注文は、

組合の活動を活発にして、強くなつてほしい

全国的な組織をつくつて

御用組合にならないで

臨時工も組合員にして

ストライキをしないでほしい

もつと実質的な活動をして

組合でレクリエーションを計画してほしい

年少者のための活動もしてほしい

等で中小企業の年少者は中小事業場の組合結成率

が低いためか組合に対する意見も少いが

もつと活発に活動して

労働基準法を詳しく教えてほしい

労働時間を短くして

賃上げを交渉して

スポーツ、娯楽設備をつくつて

組合費を少くして

等労働条件に関する希望が比較的多く、又労働組

合を結成していない事業場の年少者から「労働組

合を作つてほしい」という意見も多くでている。

公共職業安定所に対する年少者の希望や注文は、

仕事をよく調査してから斡旋してほしい

就職斡旋の際は詳しく職場の様子を教えて下さ

い

こちらの希望する仕事を早くみつめて

もう少し丁寧に親切に扱つて

荒い言葉を使わないで

職業安定所は当にならない

等が非常に多く、その他に

適職をみつめて

もつと条件のよいところを世話して

通学の是非を知らせてほしい

就職後も時々みに来て現状を調査指導して下さい

い

縁故就職を無くして

職業安定所の業務内容をもつとよく知らせて

職業安定所の所在地を知りたい

等の意見がみられる。

労働基準監督署に対するものは、

悪質雇主を取締つてほしい

深夜業、早出、休日、出勤、残業等を取締つて

ほしい

労働基準法に違反している会社はどしどし摘発して

労働時間をきめて下さい

年少者の残業は希望者だけにしてほしい

工場の設備をよくするように指導して

人権を束縛されている小さい会社、商店をよく調べて下さい

会社をよく監督して

日をきめて時々工場に来て下さい

一度でもよいから来てほしい

毎日残業をしているので見に来て下さい

年に一度は会社で労働の話をかかせて下さい

懇談会等をして労働者とも密接になつてほしい

工場の実態をラジオ、新聞等で報道して下さい

大きい会社でも細かく調査して

労働基準法を完全に実施して下さい

技能者養成制度を公認の学校と同じ資格にしてほしい

労働基準監督署に行つた時、もつと親切な言葉をかけて、丁寧に教えて下さい

労働基準法がもつと一般人にわかるようにして下さい

労働基準監督署の仕事をもつとよく知らせて労働基準監督署の所在地を教えて下さい

等である。

以上、年少者の希望を列挙したが、このなかには主観的、一方的な意見もあるが、年少労働行政機関の参考となるものと思われる。

(七) 附 表

1 統 計 表

(1) 事業場調査統計表

1表 産業、規模別調査事業場数

| 規 模 | 計 | 紡織工業 | 機械器具工業 | 食 料 品 業 | 金属工業 | 製 材 及 び 木 製 品 工 業 | 印刷及び製本業 | 計の比率 |
|----------|-------|------|--------|---------|------|-------------------|---------|-------|
| 計 | 1,662 | 579 | 366 | 209 | 198 | 189 | 121 | 100.0 |
| 小 計 | 172 | 33 | 32 | 28 | 30 | 24 | 26 | 10.4 |
| 1,000人以上 | 33 | 8 | 10 | 3 | 7 | 1 | 4 | 2.0 |
| 500～999 | 43 | 11 | 8 | 6 | 10 | 3 | 5 | 2.6 |
| 100～499 | 96 | 14 | 14 | 19 | 13 | 20 | 16 | 5.8 |
| 小 計 | 1,490 | 546 | 334 | 181 | 168 | 165 | 96 | 89.6 |
| 50～99 | 227 | 54 | 49 | 43 | 32 | 33 | 16 | 13.6 |
| 10～49 | 715 | 236 | 157 | 90 | 84 | 96 | 52 | 43.0 |
| 10人未満 | 548 | 256 | 128 | 48 | 52 | 35 | 28 | 33.0 |

注) 1. 調査事業場のうち、調査票記入不備なものは除いた。以下同じ

2. 規模別とは事業場規模別をさす。以下同じ

2表 都道府県、産業、規模別調査事業場数

| 都道府県 | 計 | | | 紡織工業 | | | 機 械 器 具 業 | | | 食 料 品 工 業 | | | 金 属 工 業 | | | 製 材 及 び 木 製 品 工 業 | | | 印 刷 及 び 製 本 業 | | |
|------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-----------|--------|--------|-----------|--------|--------|---------|--------|--------|-------------------|--------|--------|---------------|--------|--------|
| | 小計 | 100人以上 | 100人未満 | 小計 | 100人以上 | 100人未満 | 小計 | 100人以上 | 100人未満 | 小計 | 100人以上 | 100人未満 | 小計 | 100人以上 | 100人未満 | 小計 | 100人以上 | 100人未満 | 小計 | 100人以上 | 100人未満 |
| 計 | 1,662 | 172 | 1,490 | 579 | 33 | 546 | 366 | 32 | 334 | 209 | 28 | 181 | 198 | 30 | 168 | 189 | 24 | 165 | 121 | 25 | 96 |
| 北海道 | 62 | 9 | 53 | — | — | — | — | — | — | 23 | 3 | 20 | — | — | — | 24 | 3 | 21 | 15 | 3 | 12 |
| 群馬 | 58 | 4 | 54 | 58 | 4 | 54 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 埼玉 | 107 | 7 | 100 | 50 | 3 | 47 | 35 | 3 | 32 | — | — | — | 22 | 1 | 21 | — | — | — | — | — | — |
| 東京 | 175 | 18 | 157 | 69 | 3 | 66 | 35 | 3 | 33 | 27 | 3 | 24 | 14 | 3 | 11 | 23 | 3 | 20 | 6 | 3 | 3 |
| 神奈川 | 124 | 15 | 109 | 47 | 3 | 44 | 22 | 3 | 19 | 15 | 3 | 13 | 15 | 3 | 12 | 15 | 2 | 13 | 9 | 1 | 8 |
| 新潟 | 94 | 13 | 81 | 56 | 4 | 52 | — | — | — | — | — | — | 24 | 6 | 18 | — | — | — | 14 | 3 | 11 |
| 長野 | 20 | 3 | 17 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 20 | 3 | 17 | — | — | — |
| 静岡 | 161 | 15 | 146 | 58 | 3 | 55 | 37 | 3 | 34 | 20 | 3 | 17 | 20 | 2 | 18 | 15 | 2 | 13 | 11 | 2 | 9 |
| 愛知 | 180 | 18 | 162 | 52 | 3 | 49 | 42 | 3 | 39 | 24 | 3 | 21 | 27 | 3 | 24 | 24 | 3 | 21 | 11 | 3 | 8 |
| 京都 | 137 | 14 | 123 | 37 | 4 | 33 | 41 | 5 | 36 | 21 | 2 | 19 | — | — | — | — | — | — | 18 | 3 | 15 |
| 大阪 | 158 | 18 | 140 | 64 | 3 | 61 | 30 | 3 | 27 | 13 | 3 | 10 | 23 | 3 | 20 | 17 | 3 | 14 | 11 | 3 | 8 |
| 兵庫 | 210 | 13 | 197 | 68 | 3 | 65 | 55 | 3 | 52 | 28 | 2 | 26 | 22 | 3 | 19 | 21 | 1 | 20 | 16 | 1 | 15 |
| 広島 | 74 | 12 | 62 | — | — | — | 25 | 3 | 23 | 18 | 3 | 15 | 15 | 3 | 12 | 15 | 3 | 12 | — | — | — |
| 福岡 | 102 | 13 | 89 | — | — | — | 42 | 3 | 39 | 19 | 3 | 16 | 16 | 3 | 13 | 15 | 1 | 14 | 10 | 3 | 7 |
| 計の比率 | 100.0 | 10.4 | 89.6 | 100.0 | 5.7 | 94.3 | 100.0 | 8.7 | 91.3 | 100.0 | 13.4 | 86.6 | 100.0 | 15.2 | 84.8 | 100.0 | 12.7 | 87.3 | 100.0 | 20.7 | 79.3 |

3表 調査対象事業場における年少労働構成

| 産業及び規模 | A 総労働者 | | | B 年少労働者 | | | B×100 A | |
|-----------|--------|---------|---------|---------|--------|-------|------------|------|
| | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | | |
| 計 | 小計 | 173,395 | 120,348 | 53,047 | 19,036 | 8,316 | 10,720 | 11.0 |
| | 100人以上 | 135,805 | 97,412 | 38,393 | 10,167 | 3,511 | 6,656 | 7.5 |
| | 100人未満 | 37,590 | 22,936 | 14,654 | 8,869 | 4,805 | 4,064 | 23.6 |
| 紡織工業 | 小計 | 33,859 | 7,812 | 26,047 | 7,869 | 655 | 7,214 | 23.2 |
| | 100人以上 | 21,984 | 4,475 | 17,511 | 4,685 | 112 | 4,573 | 21.3 |
| | 100人未満 | 11,873 | 3,337 | 8,536 | 3,184 | 543 | 2,641 | 25.8 |
| 機械器具工業 | 小計 | 33,642 | 28,952 | 4,690 | 3,778 | 3,101 | 677 | 11.2 |
| | 100人以上 | 28,260 | 21,613 | 6,647 | 1,695 | 1,287 | 438 | 6.7 |
| | 100人未満 | 8,392 | 7,339 | 1,053 | 2,083 | 1,814 | 289 | 24.8 |
| 食料品工業 | 小計 | 19,514 | 9,507 | 10,007 | 2,124 | 791 | 1,333 | 10.9 |
| | 100人以上 | 14,066 | 6,335 | 7,731 | 1,003 | 211 | 792 | 7.1 |
| | 100人未満 | 5,458 | 3,172 | 2,286 | 1,121 | 580 | 541 | 20.5 |
| 金属工業 | 小計 | 58,668 | 52,177 | 6,491 | 2,427 | 1,923 | 504 | 4.1 |
| | 100人以上 | 53,952 | 48,547 | 5,405 | 1,242 | 1,004 | 238 | 2.3 |
| | 100人未満 | 4,716 | 3,630 | 1,086 | 1,185 | 919 | 266 | 25.1 |
| 製材及び木製品工業 | 小計 | 11,630 | 8,891 | 2,939 | 1,550 | 1,018 | 532 | 13.1 |
| | 100人以上 | 7,155 | 5,251 | 1,904 | 787 | 447 | 340 | 11.0 |
| | 100人未満 | 4,675 | 3,640 | 1,035 | 763 | 571 | 192 | 16.3 |
| 印刷及び製本業 | 小計 | 15,882 | 13,009 | 2,873 | 1,288 | 828 | 460 | 8.1 |
| | 100人以上 | 13,406 | 11,191 | 2,215 | 755 | 480 | 275 | 5.6 |
| | 100人未満 | 2,476 | 1,818 | 658 | 533 | 348 | 185 | 21.5 |
| 計の比率 | % | | | | | | | |
| | 小計 | 100.0 | 69.4 | 30.6 | 100.0 | 43.7 | 56.3 | |
| | 100人以上 | 100.0 | 71.7 | 28.3 | 100.0 | 34.5 | 65.5 | |
| 100人未満 | 100.0 | 61.0 | 39.0 | 100.0 | 54.2 | 45.8 | | |

4表 産業、出身別年少労働者数

| 産業 | 計 | 自県出身者 | 他県出身者 |
|-----------|--------|--------|-------|
| 計 | 18,787 | 13,527 | 5,260 |
| 紡織工業 | 8,216 | 4,347 | 3,869 |
| 機械器具工業 | 3,375 | 3,049 | 326 |
| 食料品工業 | 2,124 | 1,788 | 336 |
| 金属工業 | 2,274 | 1,841 | 433 |
| 製材及び木製品工業 | 1,560 | 1,352 | 208 |
| 印刷及び製本業 | 1,238 | 1,150 | 88 |
| 計の比率 | 100.0 | 72.0 | 28.0 |

注) 自県出身者とは現在就業している都道府県と、就業前に居住していた都道府県とが同じものをさし、他県出身者とは他の都道府県から移動して就業したものをさす。

5表 産業、規模別年少労働者の定着状況

| 産業及び規模 | A就職者 | B 離職者 | | | | | B×100 A | |
|-----------|----------|-------|-------|----------------|-------|------|------------|------|
| | | 計 | 3か月未満 | 3か月以上 6か月未満 | 6か月以上 | 不明 | | |
| 計 | 小計 | 9,003 | 2,176 | 778 | 495 | 869 | 34 | 24.2 |
| | 1,000人以上 | 1,629 | 59 | 27 | 12 | 20 | - | 3.6 |
| | 500～999 | 896 | 159 | 31 | 31 | 79 | - | 17.7 |
| | 100～499 | 1,563 | 522 | 189 | 145 | 187 | 1 | 33.4 |
| | 50～99 | 1,666 | 554 | 191 | 122 | 234 | 7 | 33.3 |
| | 10～49 | 2,067 | 695 | 270 | 146 | 267 | 12 | 33.6 |
| 10人未満 | 1,182 | 187 | 70 | 39 | 64 | 14 | 15.8 | |
| 紡織工業 | 小計 | 3,647 | 756 | 254 | 144 | 336 | 22 | 20.7 |
| | 1,000人以上 | 1,021 | 39 | 23 | 10 | 6 | - | 3.8 |
| | 500～999 | 451 | 106 | 13 | 19 | 74 | - | 23.5 |
| | 100～499 | 419 | 81 | 26 | 27 | 28 | - | 19.3 |
| | 50～99 | 609 | 199 | 58 | 41 | 100 | - | 32.7 |
| | 10～49 | 854 | 236 | 100 | 31 | 94 | 11 | 27.6 |
| 10人未満 | 293 | 95 | 34 | 16 | 34 | 11 | 32.4 | |
| 機械器具工業 | 小計 | 1,379 | 372 | 142 | 63 | 164 | 3 | 27.0 |
| | 1,000人以上 | 133 | 2 | 2 | - | - | - | 1.5 |
| | 500～999 | 159 | 13 | 10 | 2 | 1 | - | 8.3 |
| | 100～499 | 165 | 82 | 30 | 12 | 40 | - | 49.7 |
| | 50～99 | 279 | 80 | 36 | 16 | 23 | 3 | 28.7 |
| | 10～49 | 503 | 162 | 62 | 25 | 85 | - | 32.3 |
| 10人未満 | 140 | 36 | 12 | 8 | 13 | - | 23.6 | |
| 食料品工業 | 小計 | 1,652 | 562 | 239 | 184 | 133 | 6 | 34.0 |
| | 1,000人以上 | 71 | 4 | - | - | 4 | - | 5.6 |
| | 500～999 | 117 | 27 | 5 | 10 | 12 | - | 23.0 |
| | 100～499 | 443 | 217 | 97 | 86 | 33 | 1 | 49.0 |
| | 50～99 | 327 | 153 | 68 | 44 | 39 | 2 | 46.8 |
| | 10～49 | 307 | 126 | 53 | 39 | 34 | - | 41.0 |
| 10人未満 | 60 | 35 | 16 | 5 | 11 | 3 | 43.8 | |
| 金属工業 | 小計 | 860 | 198 | 75 | 48 | 75 | - | 23.0 |
| | 1,000人以上 | 170 | 1 | 1 | - | - | - | 0.6 |
| | 500～999 | 91 | 7 | - | - | 7 | - | 7.7 |
| | 100～499 | 94 | 20 | 9 | 4 | 7 | - | 21.3 |
| | 50～99 | 169 | 55 | 14 | 11 | 30 | - | 32.5 |
| | 10～49 | 269 | 99 | 45 | 26 | 28 | - | 36.8 |
| 10人未満 | 67 | 16 | 6 | 7 | 3 | - | 23.9 | |
| 製材及び木製品工業 | 小計 | 828 | 157 | 41 | 31 | 82 | 3 | 19.0 |
| | 1,000人以上 | 111 | 3 | 1 | 2 | - | - | 2.7 |
| | 500～999 | 45 | 3 | 2 | - | 1 | - | 6.7 |
| | 100～499 | 272 | 92 | 19 | 11 | 62 | - | 33.8 |
| | 50～99 | 169 | 26 | 7 | 5 | 12 | 2 | 15.4 |
| | 10～49 | 188 | 32 | 11 | 13 | 7 | 1 | 17.0 |
| 10人未満 | 43 | 1 | 1 | - | - | - | 2.3 | |
| 印刷及び製本業 | 小計 | 637 | 131 | 27 | 28 | 79 | - | 20.6 |
| | 1,000人以上 | 123 | 10 | - | - | 10 | - | 8.1 |
| | 500～999 | 33 | 3 | 1 | - | 2 | - | 9.1 |
| | 100～499 | 170 | 30 | 8 | 5 | 17 | - | 17.6 |
| | 50～99 | 113 | 41 | 8 | 5 | 28 | - | 36.3 |
| | 10～49 | 173 | 40 | 9 | 12 | 19 | - | 23.1 |
| 10人未満 | 26 | 7 | 1 | 3 | 3 | - | 28.0 | |
| 計の比率 | 小計 | | 100.0 | 35.8 | 22.7 | 39.9 | 1.6 | |
| | 1,000人以上 | | 100.0 | 45.8 | 20.3 | 33.9 | - | |
| | 500～999 | | 100.0 | 19.5 | 19.5 | 61.0 | - | |
| | 100～499 | | 100.0 | 36.2 | 27.8 | 35.8 | 0.2 | |
| | 50～99 | | 100.0 | 34.5 | 22.0 | 42.2 | 1.3 | |
| | 10～49 | | 100.0 | 38.8 | 21.0 | 38.4 | 1.7 | |
| 10人未満 | | 100.0 | 37.4 | 20.9 | 34.2 | 7.5 | | |

注) 就職者とは昭和30年1年間に新規就職したものをさし、このうちから昭和30年内に離職したものを離職者とする。

6表 労働者名簿等の備付事業場数

| 各種書類の備付 | | 計 | 100人以上 | 50～99 | 10～49 | 10人未満 |
|-------------|---------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 実 数 | 総数 | 1,662 | 172 | 227 | 715 | 548 |
| | 労働者名簿あり | 1,507 | 170 | 226 | 678 | 433 |
| | 賃金台帳あり | 1,545 | 170 | 224 | 689 | 462 |
| | 年令証明書あり | 1,137 | 163 | 193 | 511 | 270 |
| | 就業規則あり | 1,170 | 169 | 215 | 588 | 198 |
| 対 比 率 | 労働者名簿あり | 91.3 | 98.8 | 99.6 | 94.8 | 79.0 |
| | 賃金台帳あり | 93.7 | 98.8 | 98.7 | 96.3 | 84.3 |
| | 年令証明書あり | 68.9 | 94.8 | 85.0 | 71.5 | 49.3 |
| | 就業規則あり | 70.9 | 98.3 | 94.7 | 82.2 | 56.1 |
| | | | | | | |

注) 労働者数10人未満の事業場では就業規則の備付を法的に義務づけていない。

7表 規模、実労働時間別事業場数

| 実労働時間 | | 計 | 100人以上 | 50～99 | 10～49 | 10人未満 |
|--------|------------------|------------|----------|--------|----------|------------|
| 実 数 | 計 | 1,662 | 172 | 227 | 715 | 548 |
| | 7時間以下 | 117 | 26 | 44 | 29 | 18 |
| | ～8時間以下 | 1,204 | 141 | 165 | 560 | 338 |
| | ～9" " | 164 | 2 | 11 | 64 | 87 |
| | ～10" " | 116 | - | 6 | 46 | 66 |
| | ～11" " | 32 | - | 1 | 11 | 20 |
| | ～12" " | 10 | - | - | 4 | 6 |
| | 12時間を越えるもの 不明 | 6 11 | - 3 | - - | 1 - | 5 8 |
| 比 率 | 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| | 7時間以下 | 7.0 | 15.1 | 19.4 | 4.6 | 3.3 |
| | ～8時間以下 | 72.4 | 82.0 | 72.7 | 78.3 | 61.7 |
| | ～9" " | 9.9 | 1.2 | 4.8 | 9.0 | 15.9 |
| | ～10" " | 7.1 | - | 2.6 | 6.4 | 12.0 |
| | ～11" " | 1.9 | - | 0.4 | 1.5 | 3.6 |
| | ～12" " | 0.6 | - | - | 0.6 | 1.1 |
| | 12時間を越えるもの 不明 | 0.4 0.7 | - 1.7 | - - | 0.1 - | 0.9 1.5 |

注) 実労働時間は事業場における所定の実労働時間をさす。

8表 産業、規模別平均実労働時間

| 産 業 | 計 | 100人以上 | 50～99 | 10～49 | 10人未満 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 計 | 8時間13分 | 7時間44分 | 8時間03分 | 8時間13分 | 8時間26分 |
| 初機 | 8. 33 | 8. 02 | 8. 20 | 8. 36 | 8. 58 |
| 械 | 7. 58 | 7. 34 | 7. 56 | 7. 58 | 8. 47 |
| 食料 | 8. 25 | 7. 54 | 8. 36 | 8. 24 | 9. 05 |
| 金属 | 7. 56 | 7. 29 | 7. 53 | 8. 01 | 8. 05 |
| 印刷 | 8. 03 | 7. 54 | 7. 58 | 7. 55 | 8. 20 |
| 印刷 | 7. 44 | 7. 29 | 7. 52 | 7. 42 | 7. 58 |
| 計 | | | | | |
| 工器具 | | | | | |
| 工業 | | | | | |
| 化学工業 | | | | | |
| 金属工業 | | | | | |
| 非金属工業 | | | | | |
| 電気工業 | | | | | |
| 機械工業 | | | | | |
| 輸送機械 | | | | | |
| 印刷工業 | | | | | |
| 化学工業 | | | | | |
| 金属工業 | | | | | |
| 非金属工業 | | | | | |
| 電気工業 | | | | | |
| 機械工業 | | | | | |
| 輸送機械 | | | | | |

9 表 規模、休日回数別事業場数

| 休日回数 | | 計 | 100人以上 | 50～99 | 10～49 | 10人未満 | |
|------|------------|------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 実数 | 休日あり | 計 | 1,662 | 172 | 227 | 715 | 548 |
| | | 日なし | 3 | - | 1 | - | 2 |
| | 休日あり | 1 週月 | 1,285 | 165 | 200 | 577 | 343 |
| | | 2 週月 | 6 | - | 3 | 1 | 2 |
| | | 3 週月 | 230 | - | 10 | 81 | 139 |
| | | 4 週月 | 52 | - | 2 | 22 | 28 |
| | | 5 週月 | 62 | 3 | 8 | 23 | 28 |
| | | 6 週月 | 3 | - | - | - | 3 |
| | 男月2回, 女月4回 | 1 | - | - | 1 | - | |
| | 不明 | 19 | 4 | 2 | 10 | 3 | |
| 比率 | 休日あり | 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| | | 日なし | 0.1 | - | 0.4 | - | 0.4 |
| | 休日あり | 1 週月 | 77.3 | 95.9 | 88.1 | 80.7 | 62.6 |
| | | 2 週月 | 0.4 | - | 1.3 | 0.1 | 0.4 |
| | | 3 週月 | 13.8 | - | 4.4 | 1.3 | 25.4 |
| | | 4 週月 | 3.1 | - | 0.9 | 3.1 | 5.1 |
| | | 5 週月 | 3.7 | 1.7 | 3.5 | 3.2 | 5.1 |
| | | 6 週月 | 0.2 | - | - | - | 0.5 |
| | 男月2回, 女月4回 | 0.1 | - | - | 0.1 | - | |
| | 不明 | 1.1 | 2.3 | 0.9 | 1.4 | 0.5 | |

10 表 規模別年次有給休暇支給事業場数

| 年次有給休暇 | 計 | 100人以上 | 50～99 | 10～49 | 10人未満 |
|--------------------|-------|--------|-------|-------|-------|
| A 総数 | 1,662 | 172 | 227 | 715 | 548 |
| B 年次有給休暇あり | 1,120 | 168 | 197 | 510 | 245 |
| $B \times 100 / A$ | 67.4 | 97.7 | 86.8 | 71.3 | 44.7 |

11 表 規模、性、学歴別平均初任給額 (初任給規定のある事業場のみ)

| 性及び学歴 | 100人以上 | | 50～99 | | 10～49 | | 10人未満 | | |
|------------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|
| | 事業場数 | 平均額 | 事業場数 | 平均額 | 事業場数 | 平均額 | 事業場数 | 平均額 | |
| 男女差のない場合 | 中高卒 | 144 | 4,663円 | 178 | 4,036円 | 459 | 4,600円 | 429 | 3,529円 |
| | 高卒 | 135 | 6,563 | 115 | 5,515 | 195 | 5,514 | 31 | 5,309 |
| 男女差のある場合の男 | 中高卒 | 17 | 5,354 | 18 | 4,553 | 23 | 4,398 | 5 | 3,900 |
| | 高卒 | 19 | 7,017 | 7 | 5,393 | 9 | 6,281 | - | - |
| 男女差のある場合の女 | 中高卒 | 17 | 4,701 | 19 | 3,454 | 28 | 3,861 | 6 | 3,125 |
| | 高卒 | 19 | 5,883 | 8 | 4,929 | 9 | 5,667 | - | - |

12表の1 産業、通勤住込、性別年少労働者の1ヵ月平均賃金額

〔単位 円〕

| 産業 | 計 | | 通 勤 | | 住 込 | |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 計 | 5,189 | 4,877 | 5,236 | 4,706 | 5,019 | 5,033 |
| 繊維工業 | 4,525 | 4,877 | 4,238 | 4,340 | 4,821 | 5,043 |
| 機械器具工業 | 5,241 | 5,122 | 5,272 | 5,122 | 4,977 | 5,136 |
| 食料品工業 | 5,138 | 5,140 | 5,524 | 5,181 | 4,694 | 4,858 |
| 金属工業 | 5,392 | 4,817 | 5,367 | 4,805 | 5,481 | 6,345 |
| 材料及び木製品工業 | 4,975 | 4,121 | 5,041 | 4,120 | 4,705 | 4,200 |
| 印刷及び製本業 | 5,339 | 4,696 | 5,347 | 4,695 | 5,228 | 4,804 |

注) 1ヵ月平均賃金額は、毎月きまつて支給する給与であつて所得税、各種保険料等を差引く以前のものである。

12表の2 規模、通勤住込、性別年少労働者の1ヵ月平均賃金額

〔単位 円〕

| 規 模 | 計 | | 通 勤 | | 住 込 | |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 計 人 以 上 | 5,189 | 4,877 | 5,236 | 4,706 | 5,019 | 5,033 |
| 1,000 人 以 上 | 5,835 | 5,892 | 5,839 | 5,959 | 5,794 | 5,868 |
| 500 ~ 999 | 5,837 | 4,924 | 5,924 | 5,304 | 5,370 | 4,796 |
| 100 ~ 499 | 5,053 | 4,786 | 4,986 | 4,812 | 5,840 | 4,739 |
| 50 ~ 99 | 5,235 | 4,124 | 5,249 | 3,956 | 5,177 | 4,479 |
| 10 ~ 49 | 4,846 | 4,330 | 4,764 | 4,397 | 5,027 | 4,184 |
| 10 人 未 満 | 4,444 | 4,015 | 4,579 | 4,220 | 4,308 | 3,867 |

注) 12表の1の注)と同じ。

13 表 産業、規模、程度別災害件数

| 産 業・規 模 及 び 災 害 程 度 | | 総 勞 働 者 | | 18 才 以 上 | | 18 才 未 満 | | | |
|---------------------|---------|---------|--------|----------|-------|----------|-----|-----|-----|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | |
| 計 | 計 | 小 計 | 5,584 | 960 | 5,119 | 742 | 465 | 218 | |
| | | 休業1~7日 | 2,797 | 602 | 2,542 | 462 | 255 | 140 | |
| | | 〃 8日以上 | 2,588 | 357 | 2,383 | 279 | 205 | 78 | |
| | 100人以上 | 計 | 3,945 | 448 | 3,761 | 371 | 184 | 77 | |
| | | 休業1~7日 | 1,853 | 262 | 1,767 | 227 | 85 | 35 | |
| | | 〃 8日以上 | 1,896 | 185 | 1,803 | 143 | 93 | 42 | |
| | 100人未満 | 計 | 1,639 | 512 | 1,358 | 371 | 281 | 141 | |
| | | 休業1~7日 | 944 | 340 | 775 | 235 | 169 | 105 | |
| | | 〃 8日以上 | 692 | 172 | 580 | 136 | 112 | 36 | |
| | 紡 織 工 業 | 計 | 小 計 | 185 | 420 | 156 | 280 | 29 | 140 |
| | | | 休業1~7日 | 97 | 283 | 79 | 193 | 15 | 90 |
| | | | 〃 8日以上 | 87 | 137 | 76 | 87 | 11 | 50 |
| 100人以上 | | 計 | 82 | 127 | 73 | 90 | 9 | 37 | |
| | | 休業1~7日 | 37 | 73 | 33 | 63 | 4 | 10 | |
| | | 〃 8日以上 | 45 | 54 | 40 | 27 | 5 | 27 | |
| 100人未満 | | 計 | 103 | 293 | 83 | 190 | 20 | 103 | |
| | | 休業1~7日 | 60 | 210 | 46 | 130 | 14 | 80 | |
| | | 〃 8日以上 | 42 | 83 | 36 | 60 | 6 | 23 | |
| 機 械 器 具 工 業 | | 計 | 小 計 | 1,469 | 34 | 1,298 | 25 | 171 | 9 |
| | | | 休業1~7日 | 709 | 21 | 610 | 16 | 99 | 5 |
| | | | 〃 8日以上 | 584 | 12 | 517 | 8 | 67 | 4 |
| | 100人以上 | 計 | 984 | 18 | 918 | 13 | 66 | 5 | |
| | | 休業1~7日 | 428 | 10 | 396 | 8 | 32 | 2 | |
| | | 〃 8日以上 | 380 | 7 | 351 | 4 | 29 | 3 | |
| | 100人未満 | 計 | 485 | 16 | 380 | 12 | 105 | 4 | |
| | | 休業1~7日 | 281 | 11 | 214 | 8 | 67 | 3 | |
| | | 〃 8日以上 | 204 | 5 | 166 | 4 | 38 | 1 | |

13 表 産業、規模、程度別災害件数—続き

| 産業・規模及び災害程度 | | 総労働者 | | 15才以上 | | 15才未満 | | |
|-------------|---------|---------|-------|-------|-------|-------|-----|----|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | |
| 食料品工業 | 計 | 小休業1~7日 | 461 | 233 | 412 | 195 | 49 | 38 |
| | | 〃〃8日以上 | 242 | 157 | 212 | 130 | 30 | 27 |
| | | 死 | 217 | 76 | 198 | 65 | 19 | 11 |
| | 100人以上 | 小休業1~7日 | 2 | - | 2 | - | - | - |
| | | 〃〃8日以上 | 338 | 159 | 307 | 134 | 31 | 25 |
| | | 死 | 176 | 102 | 157 | 82 | 19 | 20 |
| 100人未満 | 小休業1~7日 | 161 | 57 | 149 | 52 | 12 | 5 | |
| | 〃〃8日以上 | 1 | - | 1 | - | - | - | |
| | 死 | 123 | 74 | 105 | 61 | 18 | 13 | |
| 金属工業 | 計 | 小休業1~7日 | 66 | 55 | 55 | 48 | 11 | 7 |
| | | 〃〃8日以上 | 56 | 19 | 49 | 13 | 7 | 6 |
| | | 死 | 1 | - | 1 | - | - | - |
| | 100人以上 | 小休業1~7日 | 2,004 | 102 | 1,880 | 90 | 124 | 12 |
| | | 〃〃8日以上 | 1,056 | 62 | 986 | 53 | 70 | 9 |
| | | 死 | 930 | 40 | 876 | 37 | 54 | 3 |
| 100人未満 | 小休業1~7日 | 18 | - | 18 | - | - | - | |
| | 〃〃8日以上 | 1,578 | 67 | 1,537 | 67 | 41 | - | |
| | 死 | 762 | 39 | 747 | 39 | 15 | - | |
| 製材及び木製品工業 | 計 | 小休業1~7日 | 798 | 28 | 772 | 28 | 26 | - |
| | | 〃〃8日以上 | 18 | - | 18 | - | - | - |
| | | 死 | 426 | 35 | 343 | 23 | 83 | 12 |
| | 100人以上 | 小休業1~7日 | 294 | 23 | 239 | 14 | 55 | 9 |
| | | 〃〃8日以上 | 132 | 12 | 104 | 9 | 26 | 3 |
| | | 死 | - | - | - | - | - | - |
| 印刷及び製本業 | 計 | 小休業1~7日 | 1,119 | 136 | 1,055 | 122 | 64 | 14 |
| | | 〃〃8日以上 | 524 | 53 | 499 | 47 | 25 | 6 |
| | | 死 | 593 | 83 | 554 | 75 | 39 | 8 |
| | 100人以上 | 小休業1~7日 | 2 | - | 2 | - | - | - |
| | | 〃〃8日以上 | 674 | 62 | 648 | 53 | 26 | 9 |
| | | 死 | 304 | 25 | 295 | 23 | 9 | 2 |
| 100人未満 | 小休業1~7日 | 369 | 37 | 352 | 30 | 17 | 7 | |
| | 〃〃8日以上 | 1 | - | 1 | - | - | - | |
| | 死 | 445 | 74 | 407 | 69 | 38 | 5 | |
| 印刷及び製本業 | 計 | 小休業1~7日 | 220 | 28 | 204 | 24 | 15 | 4 |
| | | 〃〃8日以上 | 224 | 46 | 202 | 45 | 22 | 1 |
| | | 死 | 1 | - | 1 | - | - | - |
| | 100人以上 | 小休業1~7日 | 346 | 35 | 318 | 30 | 28 | 5 |
| | | 〃〃8日以上 | 169 | 26 | 156 | 23 | 13 | 3 |
| | | 死 | 177 | 9 | 162 | 7 | 15 | 2 |
| 100人未満 | 小休業1~7日 | - | - | - | - | - | - | |
| | 〃〃8日以上 | 289 | 15 | 278 | 14 | 11 | 1 | |
| | 死 | 146 | 13 | 139 | 12 | 7 | 1 | |
| 印刷及び製本業 | 小休業1~7日 | 143 | 2 | 139 | 2 | 4 | - | |
| | 〃〃8日以上 | - | - | - | - | - | - | |
| | 死 | 57 | 20 | 40 | 16 | 17 | 4 | |
| 印刷及び製本業 | 小休業1~7日 | 23 | 13 | 17 | 11 | 6 | 2 | |
| | 〃〃8日以上 | 34 | 7 | 23 | 5 | 11 | 2 | |
| | 死 | - | - | - | - | - | - | |

14 表 規模、程度別災害件数比率

| 規模及び災害程度 | 総労働者 | | 18才以上 | | 18才未満 | | |
|----------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | |
| 計 | 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| | 小休業1日～7日 | 50.1 | 62.7 | 49.6 | 62.3 | 54.8 | 64.2 |
| | 死 | 46.3 | 37.2 | 46.6 | 37.6 | 44.1 | 35.8 |
| | 計日死亡 | 3.6 | 0.1 | 3.8 | 0.1 | 1.1 | - |
| 100人以上 | 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| | 小休業1日～7日 | 47.0 | 58.5 | 47.0 | 61.2 | 46.7 | 45.5 |
| | 死 | 48.0 | 41.3 | 47.9 | 38.5 | 50.6 | 54.5 |
| | 計日死亡 | 5.0 | 0.2 | 5.1 | 0.3 | 2.7 | - |
| 100人未満 | 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| | 小休業1日～7日 | 57.6 | 56.4 | 57.1 | 63.3 | 60.1 | 74.5 |
| | 死 | 42.2 | 33.6 | 42.7 | 36.7 | 39.9 | 25.5 |
| | 計日死亡 | 0.2 | - | 0.2 | - | - | - |

15 表 産業、規模別災害千人率

| 産業及び規模 | 総労働者 | | 18才以上 | | 18才未満 | | |
|-----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | |
| 計 | 計 | 46.4 | 18.1 | 45.7 | 17.5 | 55.9 | 20.3 |
| | 100人以上 | 40.5 | 11.7 | 40.1 | 11.7 | 52.4 | 11.6 |
| | 100人未満 | 71.5 | 34.9 | 14.9 | 35.0 | 58.5 | 34.7 |
| 紡織工業 | 計 | 23.7 | 16.1 | 21.8 | 14.9 | 44.3 | 19.4 |
| | 100人以上 | 18.3 | 7.3 | 16.7 | 7.0 | 80.4 | 8.1 |
| | 100人未満 | 30.9 | 34.3 | 29.7 | 32.2 | 36.8 | 39.0 |
| 機械器具工業 | 計 | 50.7 | 7.2 | 50.2 | 6.2 | 55.1 | 13.3 |
| | 100人以上 | 45.5 | 4.9 | 45.1 | 4.1 | 52.5 | 11.4 |
| | 100人未満 | 65.1 | 15.2 | 59.2 | 14.7 | 56.9 | 16.7 |
| 食料品工業 | 計 | 48.5 | 23.3 | 47.3 | 22.5 | 61.9 | 28.5 |
| | 100人以上 | 53.4 | 20.6 | 50.1 | 19.3 | 146.9 | 31.6 |
| | 100人未満 | 38.8 | 32.4 | 40.5 | 35.0 | 31.0 | 24.0 |
| 金属工業 | 計 | 38.4 | 15.7 | 37.4 | 15.0 | 64.4 | 23.8 |
| | 100人以上 | 32.5 | 12.4 | 32.3 | 13.0 | 40.8 | - |
| | 100人未満 | 117.4 | 32.2 | 125.5 | 28.0 | 90.3 | 45.1 |
| 製材及び木製品工業 | 計 | 125.9 | 46.3 | 134.0 | 50.7 | 62.9 | 26.3 |
| | 100人以上 | 128.4 | 32.6 | 134.9 | 33.9 | 58.2 | 26.5 |
| | 100人未満 | 95.2 | 71.5 | 132.6 | 81.9 | 66.5 | 26.0 |
| 印刷及び製本業 | 計 | 26.6 | 12.2 | 25.1 | 24.3 | 33.8 | 10.9 |
| | 100人以上 | 25.8 | 6.7 | 26.0 | 7.2 | 22.9 | 3.6 |
| | 100人未満 | 31.4 | 30.4 | 27.2 | 33.7 | 48.9 | 21.6 |

注) 災害千人率 = $\frac{\text{災害件数} \times 1,000}{\text{労働者数}}$

調査の都合により、労働者数は31年4月末現在のものを、災害件数は30年1年間のものを用いた。

16 表 産業、規模別技能者養成実施事業場数

| 産業及び規模 | A 総数 | 実施事業場数 | | | | | | | | | | B×100 A |
|-----------|---------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|------|--------|--------|----|------------|
| | | B 計 | 基準法によるもの | | | | その他 | | | | 不明 | |
| | | | 小計 | 単 養 | 独 成 | 共 養 | 同 成 | 小計 | 単 養 | 独 成 | | |
| 計 | 1,662 | 223 | 139 | 38 | 101 | 56 | 38 | 18 | 28 | 13.4 | | |
| 小計 | 172 | 40 | 28 | 24 | 4 | 11 | 10 | 1 | 1 | 32.6 | | |
| 100人以上 | 227 | 33 | 21 | 8 | 13 | 8 | 5 | 3 | 4 | 14.5 | | |
| 50～99 | 715 | 96 | 59 | 4 | 55 | 23 | 15 | 8 | 14 | 13.4 | | |
| 10～49 | 548 | 54 | 31 | 2 | 29 | 14 | 8 | 6 | 9 | 9.9 | | |
| 10人未満 | | | | | | | | | | | | |
| 紡織工業 | 579 | 77 | 66 | 2 | 64 | 11 | 9 | 2 | - | 13.3 | | |
| 小計 | 33 | 1 | - | - | - | 1 | 1 | - | - | 3.0 | | |
| 100人以上 | 54 | 8 | 6 | 1 | 5 | 2 | 1 | 1 | - | 14.8 | | |
| 50～99 | 236 | 40 | 34 | - | 34 | 6 | 6 | - | - | 16.9 | | |
| 10～49 | 256 | 28 | 26 | 1 | 25 | 2 | 1 | 1 | - | 10.9 | | |
| 10人未満 | | | | | | | | | | | | |
| 機械器具工業 | 366 | 53 | 35 | 20 | 15 | 9 | 6 | 3 | 9 | 14.5 | | |
| 小計 | 32 | 19 | 15 | 12 | 3 | 4 | 3 | 1 | - | 59.4 | | |
| 100人以上 | 49 | 8 | 6 | 4 | 2 | - | - | - | 2 | 16.3 | | |
| 50～99 | 157 | 17 | 12 | 4 | 8 | 2 | - | 2 | 3 | 10.8 | | |
| 10～49 | 128 | 9 | 2 | - | 2 | 3 | 3 | - | 4 | 7.0 | | |
| 10人未満 | | | | | | | | | | | | |
| 食料品工業 | 209 | 27 | 8 | 1 | 7 | 16 | 5 | 11 | 3 | 12.9 | | |
| 小計 | 28 | 3 | 2 | 1 | 1 | - | - | - | 1 | 10.7 | | |
| 100人以上 | 43 | 6 | 3 | - | 3 | 3 | 1 | 2 | - | 14.0 | | |
| 50～99 | 90 | 12 | 3 | - | 3 | 7 | 2 | 5 | 2 | 13.3 | | |
| 10～49 | 48 | 6 | - | - | - | 6 | 2 | 4 | - | 12.5 | | |
| 10人未満 | | | | | | | | | | | | |
| 金属工業 | 198 | 27 | 16 | 9 | 7 | 11 | 11 | - | - | 13.6 | | |
| 小計 | 30 | 13 | 8 | 8 | - | 5 | 5 | - | - | 43.3 | | |
| 100人以上 | 32 | 2 | 1 | - | 1 | 1 | 1 | - | - | 6.3 | | |
| 50～99 | 84 | 8 | 4 | - | 4 | 4 | 4 | - | - | 9.5 | | |
| 10～49 | 52 | 4 | 3 | 1 | 2 | 1 | 1 | - | - | 7.7 | | |
| 10人未満 | | | | | | | | | | | | |
| 製材及び木製品工業 | 189 | 24 | 5 | 1 | 4 | 6 | 5 | 1 | 13 | 12.7 | | |
| 小計 | 24 | 1 | - | - | - | 1 | 1 | - | - | 4.2 | | |
| 100人以上 | 33 | 3 | 1 | 1 | - | 1 | 1 | - | 1 | 9.1 | | |
| 50～99 | 96 | 14 | 4 | - | 4 | 2 | 2 | - | 8 | 14.6 | | |
| 10～49 | 36 | 6 | - | - | - | 2 | 1 | 1 | 4 | 16.7 | | |
| 10人未満 | | | | | | | | | | | | |
| 印刷及び製本業 | 121 | 15 | 9 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 3 | 12.4 | | |
| 小計 | 25 | 3 | 3 | 3 | - | - | - | - | - | 12.0 | | |
| 100人以上 | 16 | 6 | 4 | 2 | 2 | 1 | 1 | - | 1 | 37.5 | | |
| 50～99 | 52 | 5 | 2 | - | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 9.6 | | |
| 10～49 | 28 | 1 | - | - | - | - | - | - | 1 | 3.6 | | |
| 10人未満 | | | | | | | | | | | | |
| 計の比率 | | % | | | | | | | | | | |
| 小計 | | 100.0 | 62.3 | 17.0 | 45.3 | 25.1 | 17.0 | 8.1 | 12.6 | | | |
| 100人以上 | | 100.0 | 70.0 | 60.0 | 10.0 | 27.5 | 25.0 | 2.5 | 2.5 | | | |
| 50～99 | | 100.0 | 63.6 | 24.2 | 39.4 | 24.2 | 15.2 | 9.1 | 12.1 | | | |
| 10～49 | | 100.0 | 61.5 | 4.1 | 57.3 | 24.0 | 15.6 | 8.3 | 14.6 | | | |
| 10人未満 | | 100.0 | 57.4 | 3.7 | 53.7 | 25.9 | 14.8 | 11.1 | 16.7 | | | |

17 表 規模別附属教育施設設置事業場数

| 有無及び内容 | 計 | 1,000人以上 | 500～999 | 100～499 | 100人未満 |
|--------------------------|-------|----------|---------|---------|--------|
| A 総数 | 1,662 | 33 | 43 | 96 | 1,490 |
| B 附属教育施設設置 | 73 | 12 | 18 | 10 | 33 |
| { 定時制高校 | 2 | - | - | - | 2 |
| { 各種学校 | 20 | 5 | 6 | 2 | 7 |
| { その他 | 51 | 7 | 12 | 8 | 24 |
| $\frac{B \times 100}{A}$ | 4.4 | 36.4 | 41.9 | 10.4 | 2.2 |

18 表 夜間通学生に対する特典又は配慮の状況

| 有無及び内容 | 計 | 100人以上 | 50～99 | 10～49 | 10人未満 |
|--------------------------|-------|--------|-------|-------|-------|
| A 総数 | 1,662 | 172 | 227 | 715 | 548 |
| B 配慮を行っている事業場 | 176 | 53 | 51 | 121 | 41 |
| { 奨学金支給 | 12 | 4 | 3 | 4 | 1 |
| { 交通費、食料費等支給 | 3 | 1 | - | - | 2 |
| { 給食支給 | 2 | - | - | 2 | - |
| { 自転車貸与 | 2 | 2 | - | - | - |
| { 前日に帰宅するのを促す | 1 | - | - | 1 | - |
| { 残業前を併せてい | 123 | 16 | 34 | 44 | 29 |
| { 交替制の場合に専 | 122 | 24 | 23 | 69 | 6 |
| { 勤務時間をくり上 | 7 | 7 | - | - | - |
| { 試験、学校の行事 | 6 | 2 | - | 1 | 3 |
| { 休暇を与える等 | 10 | 1 | 3 | 5 | 1 |
| { 作業をかんわする | 1 | - | - | - | - |
| { 卒業時に記念品を贈 | 1 | 1 | - | - | - |
| $\frac{B \times 100}{A}$ | 10.6 | 30.8 | 26.9 | 16.9 | 7.5 |

19 表 規模別教養娯楽施設整備事業場数

| 有無及び内容 | 実数 | | Bに対する比率 | |
|--------------------------|--------|--------|---------|--------|
| | 100人以上 | 100人未満 | 100人以上 | 100人未満 |
| A 総数 | 172 | 1,490 | | |
| B 教養、娯楽施設のある事業場 | 122 | 712 | | |
| { 図書室 | 32 | 6 | 26.2 | 0.8 |
| { 楽楽図書 | 50 | 33 | 41.0 | 4.6 |
| { 和洋楽器、ラジオ、テレビ等 | 12 | 23 | 9.8 | 3.2 |
| { お茶会、花洋裁等のけいこ用具 | 41 | 355 | 38.6 | 50.0 |
| { 麻雀、雀、碁、将棋 | 49 | 18 | 40.1 | 2.5 |
| { その他 | 39 | 313 | 32.0 | 44.0 |
| { その他 | 25 | 192 | 21.3 | 27.0 |
| $\frac{B \times 100}{A}$ | 70.9 | 47.9 | | |

20 表 規模別体育施設の状況

| 有無及び内容 | 実数 | | Bに対する比率 | |
|--------------------------|--------|--------|---------|--------|
| | 100人以上 | 100人未満 | 100人以上 | 100人未満 |
| A 総数 | 172 | 1,490 | | |
| B 体育施設のある事業場 | 157 | 761 | | |
| { 運動場、コート、プール等 | 66 | 22 | 42.0 | 2.9 |
| { 運動器具 | 148 | 743 | 94.3 | 97.6 |
| $\frac{B \times 100}{A}$ | 91.3 | 51.1 | | |

21 表 規模別医療施設の状況

| 有無及び内容 | 実 数 | | B に対する比率 | |
|--------------------------|--------|--------|----------|--------|
| | 100人以上 | 100人未満 | 100人以上 | 100人未満 |
| A 総計 | 172 | 1,490 | | |
| B 医療施設のありあたる事業場所 | 150 | 1,264 | | |
| 診療室 | 70 | 4 | 46.6 | 0.3 |
| 救急室 | 8 | 2 | 5.3 | 0.1 |
| 医師が定期的に診察する | 38 | 817 | 28.3 | 54.8 |
| 医師が定期的に診察する | 7 | 7 | 4.7 | 0.5 |
| 医師が定期的に診察する | 18 | 20 | 12.0 | 1.3 |
| 医師が定期的に診察する | 6 | 1 | 4.0 | 0.1 |
| 医師が定期的に診察する | 11 | 21 | 7.3 | 1.4 |
| $\frac{B \times 100}{A}$ | 87.2 | 84.8 | | |

注) 医療施設には救急箱程度のものも含む。

22 表 産業、規模別健康診断実施事業場数

| 産業及び規模 | 総 数 | 採用時及び定期的 に実施 | 採用時に実施定 期的にはしない | 採用時にせず 定期的を実施 | 採用時定期的 共にしない | 不 明 |
|-----------|--------|-----------------|--------------------|------------------|-----------------|-----|
| 計 | 1,662 | 538 | 38 | 843 | 233 | 10 |
| 100人以上 | 172 | 153 | - | 17 | - | 2 |
| 50 ~ 99 | 227 | 125 | - | 96 | 6 | - |
| 10 ~ 49 | 715 | 195 | 18 | 419 | 79 | 3 |
| 10人未満 | 548 | 64 | 20 | 311 | 148 | 5 |
| 紡織工業 | 579 | 131 | 10 | 355 | 82 | 1 |
| 100人以上 | 33 | 30 | - | 3 | - | - |
| 50 ~ 99 | 54 | 24 | - | 29 | 1 | - |
| 10 ~ 49 | 236 | 50 | 6 | 164 | 15 | 1 |
| 10人未満 | 256 | 27 | 4 | 159 | 65 | - |
| 機械器具工業 | 366 | 128 | 7 | 180 | 47 | 4 |
| 100人以上 | 32 | 28 | - | 4 | - | - |
| 50 ~ 99 | 49 | 28 | - | 20 | 1 | - |
| 10 ~ 49 | 157 | 57 | - | 86 | 13 | 1 |
| 10人未満 | 128 | 15 | 7 | 70 | 33 | 3 |
| 食料品工業 | 209 | 90 | 5 | 99 | 15 | - |
| 100人以上 | 28 | 26 | - | 2 | - | - |
| 50 ~ 99 | 43 | 24 | - | 18 | 1 | - |
| 10 ~ 49 | 90 | 31 | 5 | 48 | 6 | - |
| 10人未満 | 48 | 9 | - | 31 | 8 | - |
| 金属工業 | 178 | 72 | 10 | 84 | 30 | 2 |
| 100人以上 | 30 | 26 | - | 2 | - | 2 |
| 50 ~ 99 | 32 | 20 | - | 10 | 2 | - |
| 10 ~ 49 | 84 | 20 | 5 | 47 | 12 | - |
| 10人未満 | 52 | 6 | 5 | 25 | 16 | - |
| 製材及び木製品工業 | 189 | 66 | 3 | 78 | 39 | 3 |
| 100人以上 | 24 | 21 | - | 3 | - | - |
| 50 ~ 99 | 33 | 18 | - | 14 | 1 | - |
| 10 ~ 49 | 96 | 22 | 2 | 46 | 25 | 1 |
| 10人未満 | 36 | 5 | 1 | 15 | 13 | 2 |
| 印刷及び製本業 | 121 | 51 | 3 | 47 | 20 | - |
| 100人以上 | 25 | 22 | - | 3 | - | - |
| 50 ~ 99 | 16 | 11 | - | 5 | - | - |
| 10 ~ 49 | 52 | 16 | - | 28 | 8 | - |
| 10人未満 | 28 | 2 | 3 | 11 | 12 | - |
| 計の比率 | 100.0% | 32.4 | 2.3 | 50.7 | 14.0 | 0.6 |
| 100人以上 | 100.0 | 88.9 | - | 9.9 | - | 1.2 |
| 50 ~ 99 | 100.0 | 55.1 | - | 42.3 | 2.6 | - |
| 10 ~ 49 | 100.0 | 27.4 | 2.5 | 58.7 | 11.0 | 0.4 |
| 10人未満 | 100.0 | 11.7 | 3.6 | 56.8 | 27.0 | 0.9 |

26 表 産業、規模別社会保険加入事業場数

| 産業及び規模 | 総数 | 健康保険加入 | 労災保険加入 | 失業保険加入 | 厚生年金加入 | |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 計 | 小計 | 1,662 | 1,333 | 1,484 | 1,220 | 1,279 |
| | 100人以上 | 172 | 171 | 171 | 171 | 171 |
| | 50～99 | 227 | 225 | 225 | 225 | 222 |
| | 10～49 | 715 | 639 | 677 | 619 | 631 |
| | 5～9 | 458 | 279 | 368 | 194 | 247 |
| | 5人未満 | 90 | 19 | 43 | 11 | 8 |
| 紡織工業 | 小計 | 579 | 431 | 486 | 392 | 400 |
| | 100人以上 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 |
| | 50～99 | 54 | 54 | 54 | 54 | 54 |
| | 10～49 | 236 | 210 | 222 | 207 | 207 |
| | 5～9 | 217 | 125 | 160 | 90 | 102 |
| | 5人未満 | 39 | 9 | 17 | 8 | 4 |
| 機械器具工業 | 小計 | 366 | 297 | 333 | 272 | 290 |
| | 100人以上 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 |
| | 50～99 | 49 | 47 | 47 | 47 | 46 |
| | 10～49 | 157 | 145 | 152 | 145 | 143 |
| | 5～9 | 107 | 70 | 92 | 47 | 67 |
| | 5人未満 | 21 | 5 | 10 | 1 | 2 |
| 食料品工業 | 小計 | 209 | 171 | 180 | 155 | 161 |
| | 100人以上 | 28 | 28 | 28 | 28 | 28 |
| | 50～99 | 43 | 40 | 40 | 43 | 42 |
| | 10～49 | 90 | 75 | 78 | 70 | 73 |
| | 5～9 | 37 | 22 | 26 | 13 | 17 |
| | 5人未満 | 11 | 3 | 5 | 1 | 1 |
| 金属工業 | 小計 | 198 | 175 | 194 | 159 | 171 |
| | 100人以上 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 |
| | 50～99 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 |
| | 10～49 | 84 | 78 | 83 | 75 | 77 |
| | 5～9 | 44 | 32 | 42 | 21 | 31 |
| | 5人未満 | 8 | 3 | 7 | 1 | 1 |
| 製材及び木製品工業 | 小計 | 189 | 152 | 185 | 143 | 152 |
| | 100人以上 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 |
| | 50～99 | 33 | 33 | 33 | 33 | 32 |
| | 10～49 | 96 | 81 | 95 | 74 | 82 |
| | 5～9 | 30 | 14 | 30 | 12 | 14 |
| | 5人未満 | 6 | - | 3 | - | - |
| 印刷及び製本業 | 小計 | 121 | 107 | 106 | 99 | 105 |
| | 100人以上 | 25 | 24 | 24 | 24 | 24 |
| | 50～99 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 |
| | 10～49 | 52 | 50 | 47 | 48 | 49 |
| | 5～9 | 23 | 16 | 18 | 11 | 16 |
| | 5人未満 | 5 | 1 | 1 | - | - |
| 計の比率 | 小計 | 100.0% | 80.2 | 89.3 | 73.4 | 77.0 |
| | 100人以上 | 100.0 | 99.4 | 99.4 | 99.4 | 99.4 |
| | 50～99 | 100.0 | 99.1 | 99.1 | 99.1 | 97.8 |
| | 10～49 | 100.0 | 89.4 | 94.7 | 86.6 | 88.3 |
| | 5～9 | 100.0 | 60.9 | 80.3 | 42.4 | 53.9 |
| | 5人未満 | 100.0 | 21.1 | 47.8 | 12.2 | 8.9 |

27 表 社会保険非加入の理由

| 理 由 | 計 | 健康保険 | 労災保険 | 失業保険 | 厚生年金 保 険 | 計の比率 % |
|------|-----|------|------|------|-------------|--------|
| 計 | 667 | 191 | 101 | 208 | 167 | 100.0 |
| 必ず倒す | 154 | 33 | 22 | 60 | 39 | 23.0 |
| め高 | 59 | 15 | 10 | 18 | 16 | 8.8 |
| 認め | 61 | 18 | 10 | 21 | 12 | 9.1 |
| がが | 26 | 10 | 1 | 11 | 4 | 3.9 |
| を料 | 50 | 13 | 7 | 16 | 14 | 7.5 |
| 要険 | 90 | 23 | 17 | 25 | 25 | 13.5 |
| 続者 | 2 | - | - | 1 | 1 | 0.3 |
| 働働 | 19 | 5 | 2 | 5 | 5 | 2.8 |
| 族族 | 9 | 3 | 4 | 3 | 1 | 1.3 |
| 的い | 1 | 1 | - | - | - | 0.1 |
| 民 | 24 | 24 | - | - | - | 3.6 |
| 保 | 31 | 4 | 5 | 9 | 13 | 4.6 |
| 任 | 17 | 5 | - | 7 | 5 | 2.5 |
| 研 | 54 | 16 | 10 | 13 | 15 | 8.1 |
| 申 | 62 | 18 | 12 | 17 | 15 | 9.3 |
| 申 | 6 | 3 | 1 | 1 | 1 | 0.9 |
| 請 | 2 | - | - | 1 | 1 | 0.3 |

28 表 公共福祉教育施設設置に対する事業主の意見

| 意 見 の 内 容 | 100 人 以 上 | 100 人 未 満 |
|-------------------|-----------|-----------|
| 総 数 | 172 | 1,490 |
| 賛 成 | 172 | 1,490 |
| 小 計 | 58 | 267 |
| 賛 成 中 | 25 | 183 |
| 計 画 | 1 | 1 |
| 運 動 | 6 | 21 |
| 場 所 | 4 | 13 |
| が 場 | 6 | 2 |
| は し | 1 | 1 |
| し い | - | 7 |
| し い | 3 | 2 |
| し | 1 | 1 |
| し | 1 | 1 |
| し | 1 | 2 |
| し | 1 | 1 |
| し | 1 | 1 |
| し | 1 | 1 |
| し | 4 | 30 |
| し | 2 | 3 |
| し | 1 | - |
| 不 賛 成 | 3 | 9 |
| 計 画 | 1 | 1 |
| 不 利 | 2 | 3 |
| 不 便 | - | 2 |
| 不 利 | - | 1 |
| 不 便 | - | 1 |
| 不 利 | - | 1 |
| 不 便 | - | 1 |
| 不 利 | 11 | 29 |
| 不 便 | 4 | 17 |
| 不 利 | 5 | - |
| 不 便 | 1 | 1 |
| 不 利 | 1 | 11 |
| 意 見 な し | 100 | 1,185 |
| 賛 成 率 | 33.7 | 17.9 |
| 不 賛 成 率 | 1.7 | 0.6 |
| 意 見 な し 率 | 6.4 | 1.9 |
| 計 算 上 の 意 見 な し 率 | 58.2 | 79.6 |

29表の1 年少労働者の苦情処理状況

| 区 分 | 計 | 100人以上 | 100人未満 |
|--------------------------|-------|--------|--------|
| A 総 数 | 1,662 | 172 | 1,490 |
| B 苦情処理に努力している事業場 | 490 | 134 | 356 |
| $\frac{B \times 100}{A}$ | 29.5 | 78.5 | 23.9 |

29表の2 年少労働者の苦情処理状況

| 苦情処理の方法 | 100人以上 | 100人未満 |
|----------------|--------|--------|
| 計 | 157 | 492 |
| 苦情処理委員会を通じて | 20 | 9 |
| 労働組合を通じて | 34 | 24 |
| 定期的に懇談会を開く | 19 | 75 |
| 職制または年長者を通じて | 43 | 170 |
| 技能養成の教師を通じて | 4 | 3 |
| 寄宿舎の責任者を通じて | 18 | 6 |
| 調停人がいる | - | 1 |
| 学校の先生または父兄を通じて | 1 | 7 |
| 個々の年少者と話合う | - | 193 |
| 感想文を書かせる | 2 | - |
| 世論調査をする | 3 | 4 |
| 投書箱を設けている | 13 | 10 |

30表 規模別労働組合結成状況

| 区 分 | 計 | 1,000人以上 | 500~999 | 100~499 | 50~99 | 10~49 | 10人未満 |
|--------------------------|-------|----------|---------|---------|-------|-------|-------|
| A 総 数 | 1,662 | 33 | 43 | 96 | 227 | 715 | 548 |
| B 労働組合あり | 242 | 33 | 39 | 67 | 48 | 53 | 2 |
| $\frac{B \times 100}{A}$ | 14.6 | 100.0 | 90.7 | 69.8 | 21.1 | 7.4 | 0.4 |

31表の1 調査者の意見、感想
規模〔100人以上〕

| | | | |
|---------------|-----|-----------------------|----|
| 〔労働環境に関するもの〕 | | 雑用が多い | 1 |
| 小 計 | 216 | 福利厚生施設なし | 5 |
| 採光がわるい | 22 | 福利厚生施設不完全 | 14 |
| 採光がよい | 10 | 福利厚生施設良好 | 5 |
| 通風がわるい | 12 | 〔人間関係に関するもの〕 | |
| 通風がよい | 8 | 小 計 | 51 |
| 暑 い | 13 | 明るくのびのびしている | 16 |
| 涼 しい | 1 | 暗 い | 3 |
| 寒 い | 1 | 親 和 的 | 3 |
| 冷暖房あり | 1 | しつくりしていない | 3 |
| 湿気が多い | 1 | 家庭的でよい | 1 |
| 塵埃が多い | 20 | 使用者が封建的威圧的 | 3 |
| 悪 臭 | 3 | 年長者と年少者の間がうまくいかない | 3 |
| 騒音がはげしい | 9 | 年長者が親切に指導している | 4 |
| 不 潔 | 3 | 指導者がいない | 1 |
| 清 潔 | 14 | 楽しく熱心に働いている | 5 |
| 狭 い | 12 | 年少者が自棄的である | 2 |
| 広々している | 8 | 年少者の苦情処理機関が全くない | 1 |
| 乱 雑 | 15 | 労務管理が行届いている | 5 |
| 整頓されている | 8 | 労務管理について全く考えていない | 1 |
| 危 険 | 5 | 〔雇用に関するもの〕 | |
| 設備がわるい | 10 | 小 計 | 7 |
| 設備がよい | 8 | 両親、片親のない者が多い | 1 |
| 近代的で機械化されている | 4 | 新規採用は地元の者に限る | 1 |
| 建物不適 | 12 | 登用試験あり | 1 |
| 非常に良好 | 4 | 2ヵ月毎の契約なので不安定 | 1 |
| 良 好 | 9 | 定着性悪い | 1 |
| 普 通 | 1 | 20才で停年となる | 2 |
| 不 良 | 2 | 両親生存、経済的に恵まれている者を採用 | 1 |
| 〔労働条件に関するもの〕 | | 〔疲労、健康に関するもの〕 | |
| 小 計 | 25 | 小 計 | 9 |
| 残業が多い | 4 | 元 気 | 2 |
| 休憩時間がない(又は少い) | 5 | 疲労がみられる | 4 |
| 休日出勤をしている | 1 | 眼が悪くなりそう | 1 |
| 賃金が低い | 8 | 怪我が多い | 2 |
| 賃金が高い | 1 | 〔その他〕 | |
| 労働過重 | 5 | 小 計 | 8 |
| 重量物を扱っている | 1 | 通学に理解がある | 1 |
| 危険な作業である | 8 | 通学に理解がない | 2 |
| 安全に注意している | 2 | 技能者養成とは名ばかりである | 1 |
| 衛生上有害である | 2 | 仕事に将来性なし | 1 |
| 衛生上の注意をしている | 1 | 調査に際し、名簿、台帳等が整備されていない | 1 |
| 立作業である | 6 | 調査に際し年少者は生活時間の記入を嫌う | 1 |
| 軽作業である | 4 | 調査に際し年少者は口止めされているらしい | 1 |
| 単純な作業である | 1 | | |
| 流れ作業のため休めない | 1 | | |

注) 事業場総数 172のうち意見の記入されてあつた 147 事業場について集計した。

31表の2 調査者の意見、感想

規模〔100人未満〕

| 〔労働環境に関するもの〕 | | 賃金内容不明確 | |
|------------------|-------|--------------------|-----|
| 小 計 | 2,469 | 昇給なし | 1 |
| 採光がわるい | 392 | 労働過重 | 74 |
| 採光がよい | 226 | 重量物を扱っている | 10 |
| 通風がわるい | 176 | 危険な作業である | 39 |
| 通風がよい | 141 | 安全に注意している | 1 |
| 暑 い | 83 | 衛生上有害である | 16 |
| 寒 い | 30 | 立作業である | 18 |
| 湿気が多い | 19 | 軽作業である | 9 |
| 塵埃が多い | 172 | 単純作業である | 1 |
| 悪 臭 | 15 | 流れ作業のため休めない | 2 |
| 騒音がはげしい | 115 | 配達が困難である | 2 |
| 静 か | 6 | 家事労働をさせられている | 19 |
| 不 潔 | 104 | 仕事がないと休ませられる | 2 |
| 消 濁 | 81 | 住込の者は平日の外出を禁止 | 1 |
| 狭 い | 285 | 労働契約不明確 | 2 |
| 広々している | 108 | 安定所で示された労働条件と異なる | 1 |
| 乱 雑 | 184 | 福利厚生施設なし | 31 |
| 整頓されている | 82 | 福利厚生施設不完全 | 20 |
| 危 険 | 29 | 福利厚生施設良好 | 12 |
| 設備がわるい | 41 | 良 好 | 6 |
| 設備がよい | 20 | 不 良 | 1 |
| 近代的で機械化されている | 3 | | |
| 建物不適 | 90 | 〔人間関係に関するもの〕 | |
| 建物がよい | 3 | 小 計 | 510 |
| 交通に不便 | 2 | 明るくのびのびしている | 61 |
| 交通に便利 | 1 | 暗く萎縮している | 19 |
| 労働環境について事業主は無関心 | 1 | 親 和 的 | 41 |
| 良 好 | 53 | しつくりしていない | 5 |
| 普 通 | 7 | 家庭的で和やか | 139 |
| | | 家庭的でよくない | 8 |
| | | 使用者が封建的威圧的 | 112 |
| | | 家族従業者が常に監視している | 20 |
| | | 労働者に対する家人の態度がわるい | 5 |
| | | 私生活に干渉する | 1 |
| | | 使用者は愛憎をもっている。理解がある | 10 |
| | | 仕事を労働者に自主的にまかせている | 1 |
| | | 年長者はよく指導している | 1 |
| | | 年長者の態度がわるい | 7 |
| | | 年少者は酷使されている | 3 |
| | | 楽しく熱心に働いている | 28 |
| | | 年少者が不まじめである | 7 |
| | | 年少者の不平不満が多い | 7 |
| | | 給料さえ貰えばよいという感じ | 2 |
| | | 年少者は礼儀正しい | 1 |
| | | 日曜に牧師の話を聞かせている | 1 |
| | | 労働組合を作ろうとする意識が強い | 1 |
| | | 労働間がうまくいつている | 5 |
| 〔労働条件に関するもの〕 | | | |
| 小 計 | 525 | | |
| 長時間労働 | 83 | | |
| 早朝労働 | 11 | | |
| 残業多し | 32 | | |
| 深夜業あり | 4 | | |
| 休日労働あり | 4 | | |
| 休憩なし | 52 | | |
| 休日なし | 8 | | |
| 賃金が低い | 45 | | |
| 賃金遅払 | 8 | | |
| 賃金を親が前借し年少者は知らない | 3 | | |
| 男女賃金差あり | 1 | | |
| 出来高払のため不安定 | 3 | | |
| 強制貯金 | 1 | | |

| | |
|--------------------|----|
| 労務管理がわるい | 1 |
| 労務管理が行届いている | 21 |
| 良 好 | 3 |
| 〔雇用に関するもの〕 | |
| 小 計 | 9 |
| 通勤可能者のみ採用 | 1 |
| 縁故者のみ採用 | 3 |
| 年少者を雇用したがない | 2 |
| 離職者が多い | 2 |
| 経験者を採用 | 1 |
| 〔疲労、健康に関するもの〕 | |
| 小 計 | 33 |
| 疲労がみられる | 17 |
| 健康を害さないかと心配 | 1 |
| 顔色が悪い | 6 |
| 眼が悪くなりそう | 4 |
| けがが多い | 2 |
| 深夜業のため精神的身体的負担が大きい | 1 |
| ラジオ体操をしている | 1 |
| 体育施設を熱望している | 1 |

| | |
|-----------------------|----|
| 〔通学に関するもの〕 | |
| 小 計 | 11 |
| 通学に理解がある | 1 |
| 通学に理解がない | 4 |
| 通学に反対 | 4 |
| 通学するので休日はさせない | 1 |
| 職場に希望をもたず卒業までの手段としている | 1 |
| 〔その他〕 | |
| 小 計 | 18 |
| 技術の習得、独立のできないのを悲観している | 1 |
| 勉学意欲をだんだん失つてゆく | 1 |
| 監督者からみにきてほしいと希望している | 2 |
| 社会保険加入を希望している | 1 |
| 夏期は就業し冬は失業保険でくいつないでいる | 1 |
| 事業主は資金のやりくりで一杯である | 2 |
| 労基法はよく守られている | 1 |
| 調査に際し名簿、台帳等が不完全 | 1 |
| 調査に際し名簿、台帳等が完備 | 1 |
| 調査に際し非協力的 | 1 |
| 調査に際し協力的 | 3 |
| 調査に際し年少者は口止めされているらしい | 3 |

注) 事業場総数 1490 のうち、意見の記入されてあつた 1,303 事業場について集計した。

(2) 年少労働者個人調査統計表

32 表 出身地別年少労働者数

| 出 身 地 | 計 | 100人以上 | 50～99 | 10～49 | 10人未満 |
|-----------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 実 数 | | | | | |
| 計 | 11,000 | 3,874 | 2,366 | 3,642 | 1,118 |
| 自 県 出 身 者 | 7,908 | 2,754 | 1,653 | 2,751 | 745 |
| 他 県 出 身 者 | 3,092 | 1,120 | 708 | 891 | 373 |
| 比 率 | | | | | |
| 計 | 100.0% | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 自 県 出 身 者 | 71.9 | 71.9 | 70.1 | 75.5 | 65.6 |
| 他 県 出 身 者 | 28.1 | 28.9 | 29.9 | 24.5 | 35.4 |

注) 1. 個人調査票のうち、記入不備なものは除いた。以下略
 2. 総数11,074のうち、更に不明74を除いた。
 3. 自県出身者他県出身者は、4表注)参照

33 表 年少労働者の家庭の職業

| 家 庭 の 職 業 | 計 | 100人以上 | 100人未満 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 実 数 | | | |
| 計 | 11,074 | 3,893 | 7,181 |
| 農 業 | 3,717 | 1,161 | 2,556 |
| 非 農 業 | 7,036 | 2,616 | 4,420 |
| 不明 | 321 | 116 | 205 |
| 比 率 | | | |
| 計 | 100.0% | 100.0 | 100.0 |
| 農 業 | 33.6 | 30.0 | 35.6 |
| 非 農 業 | 63.5 | 67.2 | 61.6 |
| 不明 | 2.9 | 2.8 | 2.8 |

34 表 年少労働者の両親の有無

| 両親の有無 | | | | | 計 | 100人以上 | 100人未満 |
|--------|----------|--------|----|-----|--------|--------|--------|
| 実 数 | 両親 両不 | 親 親 | 計 | あり | 11,074 | 3,893 | 7,181 |
| | | | ただ | りけし | 8,073 | 2,860 | 5,193 |
| | | | あ | 明 | 460 | 134 | 326 |
| | | | な | | 2,228 | 787 | 1,441 |
| | | | | | 267 | 85 | 182 |
| | | | | 46 | 7 | 39 | |
| 比 率 | 両親 両不 | 親 親 | 計 | あり | 100.0% | 100.0 | 100.0 |
| | | | ただ | りけし | 72.9 | 74.0 | 72.3 |
| | | | あ | 明 | 4.1 | 3.4 | 4.5 |
| | | | な | | 20.1 | 20.2 | 20.1 |
| | | | | | 2.4 | 2.2 | 2.5 |
| | | | | 0.5 | 0.2 | 0.6 | |

35 表 年少労働者の就業前の状態

| 就業前の状態 | | | | | 計 | 100人以上 | 100人未満 |
|--------|--|---|---|-----|--------|--------|--------|
| 実 数 | 学 他 校 の 所 へ つ と め る 希 望 は な く 家 業 を 手 伝 つ て い た 不 明 | 計 の み の つ と め て い た た だ あ り け し 明 | 計 | あり | 11,074 | 3,893 | 7,181 |
| | | | 行 | り | 9,393 | 3,394 | 5,999 |
| | | | へ | り | 895 | 246 | 649 |
| | | | つ | り | 401 | 131 | 270 |
| | | | と | り | 314 | 103 | 211 |
| | | | | 71 | 19 | 52 | |
| 比 率 | 学 他 校 の 所 へ つ と め る 希 望 は な く 家 業 を 手 伝 つ て い た 不 明 | 計 の み の つ と め て い た た だ あ り け し 明 | 計 | あり | 100.0% | 100.0 | 100.0 |
| | | | 行 | り | 84.8 | 87.1 | 83.5 |
| | | | へ | り | 8.1 | 6.3 | 9.0 |
| | | | つ | り | 3.6 | 3.4 | 3.8 |
| | | | と | り | 2.8 | 2.6 | 2.9 |
| | | | | 0.7 | 0.6 | 0.8 | |

36 表 年少労働者の就業経路

| 就業経路 | | | | | 計 | 100人以上 | 100人未満 |
|--------|---------------------------------|----------------------------|---|--|---|--------|--------|
| 実 数 | 学 安 雇 知 自 そ 不 | 校 定 主 人 分 で | 計 の み の つ と め て い た た だ あ り け し 明 | 紹 介 親 世 の つ け け 他 明 | 計 | 3,893 | 7,181 |
| | | | | | 紹 | 1,927 | 2,520 |
| | | | | | 親 | 960 | 1,487 |
| | | | | | 世 | 56 | 280 |
| | | | | | の | 825 | 2,384 |
| | | | | | の | 89 | 397 |
| | | | | | つ | 9 | 34 |
| | | | | | け | 27 | 79 |
| 比 率 | 学 安 雇 知 自 そ 不 | 校 定 主 人 分 で | 計 の み の つ と め て い た た だ あ り け し 明 | 紹 介 親 世 の つ け け 他 明 | 計 | 100.0% | 100.0 |
| | | | | | 紹 | 49.5 | 35.1 |
| | | | | | 親 | 24.7 | 20.7 |
| | | | | | 世 | 1.4 | 3.9 |
| | | | | | の | 21.2 | 33.2 |
| | | | | | の | 2.3 | 5.5 |
| | | | | | つ | 0.2 | 0.5 |
| | | | | | け | 0.7 | 1.1 |

37表 規模、産業別

| 規 模 | 計 | | | 紡 織 工 業 | | | 機 械 器 具 工 業 | | |
|-------------|--------|-------|-------|---------|------|-------|-------------|-------|------|
| | 小 計 | 男 | 女 | 小 計 | 男 | 女 | 小 計 | 男 | 女 |
| 実 計 | 11,074 | 5,556 | 5,518 | 3,627 | 463 | 3,164 | 2,494 | 2,120 | 374 |
| 小 計 | 3,893 | 1,690 | 2,203 | 1,003 | 15 | 988 | 808 | 618 | 190 |
| 1,000 人 以 上 | 1,151 | 526 | 625 | 315 | - | 315 | 369 | 295 | 74 |
| 500 ~ 999 | 884 | 357 | 527 | 303 | - | 303 | 181 | 134 | 47 |
| 100 ~ 499 | 1,858 | 807 | 1,051 | 385 | 15 | 370 | 258 | 189 | 69 |
| 小 計 | 7,181 | 3,866 | 3,315 | 2,624 | 448 | 2,176 | 1,686 | 1,502 | 184 |
| 50 ~ 99 | 2,386 | 1,164 | 1,222 | 773 | 56 | 717 | 557 | 459 | 98 |
| 10 ~ 49 | 3,672 | 2,052 | 1,620 | 1,357 | 268 | 1,089 | 858 | 786 | 72 |
| 10 人 未 滿 | 1,123 | 650 | 473 | 494 | 124 | 370 | 271 | 257 | 14 |
| 性 別 比 率 | 100.0% | 50.2 | 49.8 | 100.0% | 12.8 | 87.2 | 100.0% | 85.0 | 15.0 |
| 産 業 別 比 率 | 100.0% | | | 32.7 | | | 22.5 | | |

38表 都 道 府 県 別

| 都 道 府 県 | 計 | | | 紡 織 工 業 | | | 機 械 器 具 工 業 | | |
|---------|--------|---------|----------|---------|---------|----------|-------------|---------|----------|
| | 小 計 | 100人 以上 | 100人 未 滿 | 小 計 | 100人 以上 | 100人 未 滿 | 小 計 | 100人 以上 | 100人 未 滿 |
| 計 | 11,074 | 3,893 | 7,181 | 3,627 | 1,003 | 2,624 | 2,494 | 808 | 1,686 |
| 北 海 道 | 869 | 163 | 206 | - | - | - | - | - | - |
| 群 馬 県 | 358 | 129 | 229 | 358 | 129 | 229 | - | - | - |
| 埼 玉 県 | 744 | 176 | 568 | 373 | 86 | 287 | 261 | 67 | 194 |
| 東 京 都 | 1,099 | 392 | 707 | 398 | 124 | 274 | 242 | 73 | 169 |
| 神 奈 川 県 | 1,021 | 297 | 724 | 330 | 75 | 255 | 232 | 87 | 145 |
| 新 潟 県 | 663 | 275 | 388 | 381 | 110 | 271 | 23 | 9 | 14 |
| 長 野 県 | 121 | 47 | 74 | - | - | - | - | - | - |
| 静 岡 県 | 1,118 | 410 | 708 | 384 | 106 | 278 | 274 | 101 | 173 |
| 愛 知 県 | 1,241 | 538 | 703 | 352 | 101 | 251 | 266 | 100 | 166 |
| 京 都 府 | 838 | 367 | 471 | 342 | 121 | 221 | 256 | 136 | 120 |
| 大 阪 府 | 1,158 | 362 | 796 | 341 | 59 | 282 | 242 | 58 | 184 |
| 兵 庫 県 | 1,060 | 336 | 724 | 368 | 92 | 276 | 256 | 91 | 165 |
| 広 島 県 | 673 | 252 | 411 | - | - | - | 235 | 65 | 170 |
| 福 岡 県 | 611 | 139 | 472 | - | - | - | 207 | 21 | 186 |

年少労働者数

| 食料品工業 | | | 金属工業 | | | 製材及び木製品工業 | | | 印刷及び製本業 | | | 計の比率 |
|--------|------|------|--------|-------|------|-----------|------|------|---------|------|------|--------|
| 小計 | 男 | 女 | 小計 | 男 | 女 | 小計 | 男 | 女 | 小計 | 男 | 女 | |
| 1,515 | 589 | 926 | 1,544 | 1,174 | 370 | 1,069 | 673 | 396 | 825 | 537 | 288 | 100.0% |
| 612 | 104 | 508 | 708 | 526 | 182 | 395 | 192 | 203 | 367 | 235 | 132 | 35.2 |
| 156 | 9 | 147 | 219 | 189 | 30 | 40 | 9 | 31 | 52 | 24 | 28 | 10.4 |
| 110 | 36 | 74 | 178 | 126 | 52 | 68 | 24 | 44 | 44 | 37 | 7 | 8.0 |
| 346 | 59 | 287 | 311 | 211 | 100 | 287 | 159 | 128 | 271 | 174 | 97 | 16.8 |
| 903 | 485 | 418 | 836 | 648 | 188 | 674 | 481 | 193 | 458 | 302 | 156 | 64.8 |
| 368 | 146 | 222 | 241 | 192 | 49 | 276 | 187 | 89 | 171 | 124 | 47 | 21.5 |
| 425 | 256 | 169 | 469 | 339 | 130 | 324 | 265 | 59 | 239 | 138 | 101 | 33.2 |
| 110 | 83 | 27 | 126 | 117 | 9 | 74 | 29 | 45 | 48 | 40 | 8 | 10.1 |
| 100.0% | 38.9 | 61.1 | 100.0% | 76.0 | 24.0 | 100.0% | 63.0 | 37.0 | 100.0% | 65.1 | 34.9 | |
| 13.7 | | | 13.9 | | | 9.7 | | | 7.5 | | | |

年少労働者数

| 食料品工業 | | | 金属工業 | | | 製材及び木製品工業 | | | 印刷及び製本業 | | |
|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-----------|--------|--------|---------|--------|--------|
| 小計 | 100人以上 | 100人未満 | 小計 | 100人以上 | 100人未満 | 小計 | 100人以上 | 100人未満 | 小計 | 100人以上 | 100人未満 |
| 1,515 | 612 | 903 | 1,544 | 708 | 836 | 1,069 | 395 | 674 | 825 | 367 | 458 |
| 171 | 65 | 106 | - | - | - | 125 | 69 | 56 | 73 | 29 | 44 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | 110 | 23 | 87 | - | - | - | - | - | - |
| 121 | 28 | 93 | 168 | 89 | 79 | 94 | 44 | 50 | 76 | 34 | 42 |
| 128 | 43 | 85 | 171 | 56 | 115 | 107 | 33 | 74 | 53 | 3 | 50 |
| - | - | - | 134 | 89 | 45 | - | - | - | 125 | 67 | 58 |
| - | - | - | - | - | - | 121 | 47 | 74 | - | - | - |
| 166 | 86 | 74 | 143 | 64 | 79 | 92 | 21 | 71 | 65 | 32 | 33 |
| 200 | 99 | 101 | 186 | 110 | 76 | 158 | 94 | 64 | 79 | 34 | 45 |
| 154 | 75 | 79 | - | - | - | - | - | - | 86 | 35 | 51 |
| 153 | 59 | 94 | 179 | 73 | 106 | 116 | 27 | 89 | 127 | 86 | 41 |
| 173 | 69 | 104 | 149 | 71 | 78 | 62 | 2 | 60 | 52 | 11 | 41 |
| 161 | 69 | 92 | 156 | 27 | 79 | 121 | 51 | 70 | - | - | - |
| 94 | 19 | 75 | 148 | 56 | 92 | 73 | 7 | 66 | 89 | 36 | 53 |

39表 年令別年少労働者数

| 生 年 | 計 | 男 | 女 |
|---------|--------|-------|-------|
| 計 | 11,074 | 5,556 | 5,518 |
| 昭和13年 | 2,085 | 1,053 | 1,032 |
| 〃 14年 | 3,594 | 1,753 | 1,841 |
| 〃 15年 | 4,081 | 2,101 | 1,980 |
| 〃 16年 | 1,307 | 647 | 660 |
| 〃 17年以後 | 7 | 2 | 5 |

注) 昭和13年生 満17~18才
 〃 14年生 満16~17才
 〃 15年生 満15~16才
 〃 16年生 満14~15才
 〃 17年以後 満14才以下

40表 通勤住込別

| 通勤住込 | 計 | | | | | 紡織工業 | | | | | 機械器具工業 | | | | | |
|------|----|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| | 小計 | 100人以上 | 50~99 | 10~49 | 10人未満 | 小計 | 100人以上 | 50~99 | 10~49 | 10人未満 | 小計 | 100人以上 | 50~99 | 10~49 | 10人未満 | |
| 実数 | 計 | 11,074 | 3,893 | 2,386 | 3,672 | 1,123 | 3,627 | 1,003 | 773 | 1,357 | 494 | 2,494 | 808 | 557 | 858 | 271 |
| | 通勤 | 7,663 | 2,835 | 1,777 | 2,504 | 546 | 1,538 | 136 | 419 | 787 | 196 | 2,189 | 792 | 510 | 714 | 173 |
| | 住込 | 3,411 | 1,057 | 609 | 1,168 | 577 | 2,089 | 867 | 354 | 570 | 298 | 305 | 16 | 47 | 144 | 98 |
| 比率 | 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| | 通勤 | 69.2 | 72.8 | 74.5 | 68.2 | 48.6 | 42.4 | 13.6 | 54.2 | 58.0 | 39.7 | 87.8 | 98.0 | 91.6 | 83.2 | 63.8 |
| | 住込 | 30.8 | 27.2 | 25.5 | 31.8 | 51.4 | 57.6 | 86.4 | 45.8 | 42.0 | 60.3 | 12.2 | 2.0 | 8.4 | 16.8 | 36.2 |

41表 勤続年数別年少労働者数

| 勤続年数 | | 計 | 100人以上 | 100人未満 |
|------|------------|--------|--------|--------|
| 実数 | 計 | 11,074 | 3,893 | 7,181 |
| | 3ヵ月未満 | 4,530 | 1,484 | 3,046 |
| | 3ヵ月以上6ヵ月未満 | 494 | 136 | 358 |
| | 6ヵ月以上1年未満 | 813 | 273 | 540 |
| | 1年以上 | 5,102 | 1,947 | 3,155 |
| | 不明 | 135 | 53 | 82 |
| 比率 | 計 | 100.0% | 100.0 | 100.0 |
| | 3ヵ月未満 | 40.9 | 38.1 | 42.4 |
| | 3ヵ月以上6ヵ月未満 | 4.5 | 3.5 | 5.0 |
| | 6ヵ月以上1年未満 | 7.3 | 7.0 | 7.5 |
| | 1年以上 | 46.1 | 50.1 | 43.9 |
| | 不明 | 1.2 | 1.3 | 1.2 |

年少労働者数

| 小計 | 食料品工業 | | | | 金属工業 | | | | 製材及び木製品工業 | | | | 印刷及び製本業 | | | | | | |
|-------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-----------|-------|--------|-------|---------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| | 100人以上 | 50~99 | 10~49 | 10人未満 | 小計 | 100人以上 | 50~99 | 10~49 | 10人未満 | 小計 | 100人以上 | 50~99 | 10~49 | 10人未満 | 小計 | 100人以上 | 50~99 | 10~49 | 10人未満 |
| 1,515 | 612 | 368 | 425 | 110 | 1,544 | 708 | 241 | 469 | 126 | 1,069 | 395 | 276 | 324 | 74 | 825 | 367 | 171 | 239 | 48 |
| 1,063 | 569 | 245 | 210 | 39 | 1,262 | 606 | 217 | 364 | 75 | 874 | 381 | 255 | 211 | 27 | 737 | 352 | 131 | 218 | 36 |
| 452 | 43 | 123 | 215 | 71 | 282 | 102 | 24 | 105 | 51 | 195 | 14 | 21 | 113 | 47 | 88 | 15 | 40 | 21 | 12 |
| 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 70.2 | 93.0 | 66.6 | 49.4 | 35.5 | 81.7 | 85.6 | 90.0 | 77.6 | 59.5 | 81.9 | 96.5 | 92.4 | 65.1 | 36.5 | 89.5 | 95.9 | 76.6 | 91.2 | 75.0 |
| 29.8 | 7.0 | 33.4 | 50.6 | 64.5 | 18.3 | 14.4 | 10.0 | 22.4 | 40.5 | 18.1 | 3.5 | 7.6 | 34.9 | 63.5 | 10.7 | 4.1 | 23.4 | 8.8 | 25.0 |

42表 年少労働者

| 労働環境 | 計 | | | 紡織工業 | | | 機械器具工業 | | | |
|------|--------------------|----------|--------|-------|----------|--------|--------|----------|--------|------|
| | 小計 | 100人以上未満 | 100人以上 | 小計 | 100人以上未満 | 100人以上 | 小計 | 100人以上未満 | 100人以上 | |
| 計 | 20,843 | 7,563 | 13,280 | 6,266 | 1,821 | 4,445 | 3,640 | 1,349 | 2,291 | |
| 実数 | 危険機械や工具を使っている | 1,549 | 622 | 927 | 300 | 118 | 187 | 268 | 87 | 181 |
| | 機械器具その他の設備がよくない | 1,086 | 410 | 676 | 256 | 64 | 192 | 272 | 91 | 181 |
| | 材料又は取扱っているものが不適当 | 767 | 266 | 501 | 128 | 38 | 88 | 162 | 64 | 98 |
| | 作業場が狭い | 2,384 | 678 | 1,706 | 583 | 100 | 483 | 451 | 136 | 315 |
| | 作業場の整頓がよくない | 1,447 | 440 | 1,007 | 371 | 75 | 296 | 343 | 105 | 237 |
| | 作業場が暗い | 1,581 | 556 | 1,025 | 541 | 136 | 315 | 336 | 105 | 230 |
| | 作業場にはこり、蒸気、ガス等がひどい | 2,902 | 1,081 | 1,821 | 1,018 | 275 | 743 | 400 | 146 | 254 |
| | 作業場が暑い | 4,083 | 1,734 | 2,349 | 1,582 | 625 | 957 | 519 | 235 | 284 |
| | 作業場が寒い | 1,259 | 306 | 953 | 335 | 53 | 282 | 239 | 103 | 136 |
| | 作業場がそうぞうしい | 3,532 | 1,339 | 2,193 | 1,203 | 315 | 888 | 599 | 253 | 346 |
| その他 | 253 | 131 | 122 | 44 | 30 | 14 | 51 | 22 | 29 | |
| | % | | | | | | | | | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| 比率 | 危険機械や工具を使っている | 7.4 | 8.2 | 7.0 | 4.8 | 6.2 | 4.2 | 7.4 | 6.4 | 7.9 |
| | 機械器具その他の設備がよくない | 5.2 | 5.4 | 5.1 | 4.1 | 3.5 | 4.3 | 7.5 | 6.7 | 7.9 |
| | 材料又は取扱っているものが不適当 | 3.7 | 3.5 | 3.8 | 2.0 | 1.9 | 2.0 | 4.5 | 4.7 | 4.3 |
| | 作業場が狭い | 11.4 | 9.0 | 12.8 | 9.3 | 5.5 | 10.9 | 12.4 | 10.1 | 13.7 |
| | 作業場の整頓がよくない | 6.9 | 5.8 | 7.6 | 5.9 | 4.1 | 6.7 | 9.4 | 7.9 | 10.3 |
| | 作業場が暗い | 7.6 | 7.4 | 7.7 | 7.2 | 7.3 | 7.1 | 9.2 | 7.9 | 10.0 |
| | 作業場にはこり、蒸気、ガス等がひどい | 14.0 | 14.3 | 13.7 | 16.2 | 15.1 | 16.7 | 11.0 | 10.8 | 11.1 |
| | 作業場が暑い | 19.7 | 22.9 | 17.7 | 25.2 | 34.3 | 21.5 | 14.2 | 17.4 | 12.5 |
| | 作業場が寒い | 6.0 | 4.0 | 7.2 | 5.3 | 2.9 | 6.3 | 6.5 | 7.6 | 5.9 |
| | 作業場がそうぞうしい | 16.9 | 17.7 | 16.5 | 19.2 | 17.3 | 20.0 | 16.4 | 18.8 | 15.1 |
| その他 | 1.2 | 1.8 | 0.9 | 0.8 | 1.7 | 0.3 | 1.4 | 1.7 | 1.3 | |

注) 労働環境に対する年少労働者の意見を集計したものである。

43表 事業主の私用(主として家事)に

| 私用の有無 | 計 | | | 100人以上 | | |
|--------------------------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 |
| A 総数 | 11,074 | 7,663 | 3,411 | 3,893 | 2,826 | 1,057 |
| B あり | 2,736 | 1,963 | 773 | 624 | 532 | 92 |
| $\frac{B \times 100}{A}$ | 24.7 | 25.6 | 22.7 | 16.0 | 18.7 | 8.7 |

注) きめられた業務以外に、事業主又は年長者の私用、家事等に使用されている年少者数を集計した。

の 勞 働 環 境

| 食料品工業 | | | 金属工業 | | | 製材及び木製品工業 | | | 印刷及び製本業 | | |
|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-----------|--------|-------|---------|--------|-------|
| 小計 | 100人以上 | 100未満 | 小計 | 100人以上 | 100未満 | 小計 | 100人以上 | 100未満 | 小計 | 100人以上 | 100未満 |
| 4,939 | 1,968 | 2,971 | 2,637 | 1,195 | 1,442 | 1,859 | 603 | 1,256 | 1,502 | 627 | 875 |
| 430 | 235 | 195 | 195 | 75 | 120 | 225 | 52 | 173 | 131 | 60 | 71 |
| 260 | 141 | 119 | 163 | 74 | 89 | 75 | 25 | 50 | 60 | 15 | 45 |
| 223 | 79 | 144 | 130 | 52 | 78 | 78 | 21 | 57 | 51 | 15 | 36 |
| 717 | 182 | 535 | 229 | 125 | 103 | 205 | 58 | 148 | 198 | 75 | 122 |
| 244 | 114 | 130 | 203 | 71 | 132 | 171 | 32 | 139 | 115 | 42 | 73 |
| 248 | 81 | 167 | 271 | 124 | 147 | 147 | 52 | 95 | 128 | 57 | 71 |
| 583 | 268 | 295 | 366 | 169 | 197 | 351 | 126 | 225 | 184 | 77 | 107 |
| 1,009 | 389 | 620 | 471 | 237 | 234 | 248 | 116 | 132 | 254 | 132 | 122 |
| 400 | 60 | 340 | 127 | 48 | 79 | 84 | 21 | 63 | 74 | 21 | 53 |
| 769 | 361 | 408 | 439 | 200 | 239 | 272 | 100 | 172 | 250 | 110 | 140 |
| 56 | 38 | 18 | 43 | 19 | 24 | 2 | - | 2 | 57 | 22 | 35 |
| 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 8.7 | 11.9 | 6.6 | 7.4 | 6.3 | 8.3 | 12.1 | 8.6 | 13.8 | 8.7 | 9.6 | 8.1 |
| 5.3 | 7.2 | 4.0 | 6.2 | 6.2 | 6.2 | 4.0 | 4.1 | 4.0 | 4.0 | 2.4 | 5.1 |
| 4.5 | 4.0 | 4.8 | 4.9 | 4.4 | 5.4 | 4.2 | 3.5 | 4.5 | 3.4 | 2.4 | 4.1 |
| 14.5 | 9.3 | 18.0 | 8.7 | 10.5 | 7.1 | 11.1 | 9.6 | 11.8 | 13.2 | 12.1 | 14.0 |
| 4.9 | 5.8 | 4.4 | 7.7 | 5.9 | 9.2 | 9.2 | 5.3 | 11.1 | 7.7 | 6.7 | 8.3 |
| 5.0 | 4.1 | 5.6 | 10.3 | 10.4 | 10.2 | 7.9 | 8.6 | 7.6 | 8.5 | 9.1 | 8.1 |
| 11.8 | 14.6 | 9.9 | 13.9 | 14.1 | 13.7 | 18.9 | 20.9 | 17.9 | 12.2 | 12.3 | 12.2 |
| 20.4 | 19.9 | 20.9 | 17.9 | 19.8 | 16.2 | 13.3 | 19.2 | 10.5 | 15.9 | 21.1 | 18.9 |
| 8.1 | 3.0 | 11.4 | 4.8 | 4.0 | 5.5 | 4.5 | 3.5 | 5.0 | 4.9 | 3.3 | 6.1 |
| 15.6 | 18.3 | 13.7 | 16.6 | 16.7 | 16.6 | 14.6 | 16.7 | 13.7 | 16.6 | 17.5 | 16.1 |
| 1.2 | 1.9 | 0.7 | 1.6 | 1.7 | 1.6 | 0.2 | - | 0.1 | 3.9 | 3.5 | 4.0 |

使われている年少労働者数

| 50 ~ 99 | | | 10 ~ 49 | | | 10 人 未 満 | | |
|---------|-------|------|---------|-------|-------|----------|------|------|
| 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 |
| 2,386 | 1,777 | 609 | 3,672 | 2,504 | 1,168 | 1,123 | 546 | 577 |
| 647 | 519 | 128 | 1,018 | 740 | 278 | 447 | 176 | 275 |
| 27.1 | 29.2 | 21.0 | 27.7 | 29.6 | 23.8 | 39.8 | 31.5 | 47.7 |

44 表 年 少 勞 働 者

| 産業及び規模 | 計 | 7時間以下 | ～8以下 | ～9以下 | |
|----------|--------|--------|------|-------|-------|
| 計 | 小計 | 10,587 | 726 | 6,754 | 1,770 |
| | 100人以上 | 3,768 | 542 | 2,667 | 477 |
| | 50～99 | 2,257 | 64 | 1,474 | 403 |
| | 10～49 | 3,469 | 94 | 2,062 | 682 |
| | 10人未満 | 1,093 | 26 | 551 | 208 |
| 紡織工業 | 小計 | 3,486 | 25 | 1,781 | 781 |
| | 100人以上 | 975 | 1 | 666 | 263 |
| | 50～99 | 793 | 3 | 381 | 136 |
| | 10～49 | 1,299 | 18 | 570 | 286 |
| | 10人未満 | 479 | 3 | 164 | 96 |
| 機械器具業 | 小計 | 2,425 | 80 | 1,886 | 350 |
| | 100人以上 | 792 | 53 | 679 | 58 |
| | 50～99 | 535 | 4 | 437 | 72 |
| | 10～49 | 834 | 18 | 596 | 169 |
| | 10人未満 | 264 | 5 | 174 | 51 |
| 食料品工業 | 小計 | 1,334 | 242 | 811 | 160 |
| | 100人以上 | 572 | 170 | 359 | 93 |
| | 50～99 | 316 | 31 | 199 | 55 |
| | 10～49 | 342 | 29 | 184 | 57 |
| | 10人未満 | 104 | 12 | 69 | 15 |
| 金属工業 | 小計 | 1,493 | 264 | 946 | 213 |
| | 100人以上 | 683 | 240 | 370 | 54 |
| | 50～99 | 235 | 9 | 168 | 53 |
| | 10～49 | 450 | 15 | 332 | 72 |
| | 10人未満 | 125 | - | 76 | 34 |
| 製木製品及び工業 | 小計 | 1,053 | 73 | 734 | 147 |
| | 100人以上 | 390 | 40 | 311 | 38 |
| | 50～99 | 276 | 16 | 189 | 49 |
| | 10～49 | 314 | 13 | 204 | 53 |
| | 10人未満 | 73 | 4 | 30 | 7 |
| 印刷及び製本業 | 小計 | 796 | 42 | 596 | 119 |
| | 100人以上 | 356 | 36 | 282 | 31 |
| | 50～99 | 162 | 1 | 100 | 38 |
| | 10～49 | 230 | 1 | 176 | 45 |
| | 10人未満 | 48 | 2 | 38 | 5 |
| 計の比率 | 小計 | 100.0 | 6.9 | 63.8 | 16.7 |
| | 100人以上 | 100.0 | 14.4 | 70.8 | 12.7 |
| | 50～99 | 100.0 | 2.8 | 65.4 | 17.9 |
| | 10～49 | 100.0 | 2.7 | 59.4 | 19.7 |
| | 10人未満 | 100.0 | 2.4 | 50.4 | 19.0 |

注) 1. 比率は不明を除いた計を100.0とした。

2. 「～8以下」は、実労働時間7時間を超え8時間以下のものを示す。以下同じ。

の 実 労 働 時 間

| ～ 10 以下 | ～ 11 以下 | ～ 12 以下 | 12時間を超えるもの | 不 明 |
|---------|---------|---------|------------|-----|
| 755 | 340 | 178 | 64 | 487 |
| 39 | 33 | 6 | 4 | 125 |
| 201 | 64 | 41 | 10 | 129 |
| 357 | 154 | 80 | 40 | 203 |
| 158 | 89 | 51 | 10 | 30 |
| 543 | 217 | 99 | 40 | 141 |
| 22 | 19 | 2 | 2 | 28 |
| 148 | 40 | 23 | 2 | 40 |
| 264 | 94 | 36 | 31 | 58 |
| 109 | 64 | 38 | 5 | 15 |
| 63 | 39 | 7 | — | 69 |
| — | 1 | 1 | — | 16 |
| 11 | 11 | — | — | 22 |
| 26 | 21 | 4 | — | 24 |
| 26 | 6 | 2 | — | 7 |
| 57 | 20 | 37 | 7 | 181 |
| 5 | 2 | 2 | 1 | 40 |
| 22 | 6 | 2 | 1 | 52 |
| 27 | 12 | 30 | 3 | 83 |
| 3 | — | 3 | 2 | 6 |
| 34 | 23 | 9 | 4 | 51 |
| 8 | 9 | 1 | 1 | 25 |
| 4 | — | 1 | — | 6 |
| 14 | 10 | 4 | 7 | 19 |
| 8 | 4 | 3 | — | 1 |
| 45 | 31 | 15 | 8 | 16 |
| 1 | — | — | — | 5 |
| 9 | 3 | 7 | 3 | — |
| 26 | 13 | 3 | 2 | 10 |
| 9 | 15 | 5 | 3 | 1 |
| 19 | 10 | 11 | 5 | 29 |
| 3 | 2 | — | — | 11 |
| 7 | 4 | 8 | 4 | 9 |
| — | 4 | 3 | 1 | 9 |
| 3 | — | — | — | — |
| 7.1 | 3.2 | 1.7 | 0.6 | |
| 1.0 | 0.8 | 0.2 | 0.1 | |
| 8.9 | 2.8 | 1.8 | 0.4 | |
| 10.3 | 4.4 | 2.3 | 1.2 | |
| 14.5 | 8.1 | 4.7 | 0.9 | |

45 表 年 少 勞 働

| 産業及び規模 | 總 数 | 残 業 | | | |
|--------------|---------|--------|---------|---------|-------|
| | | 小 計 | 1 ~ 4 回 | 5 ~ 9 回 | |
| 計 | 小 計 | 11,074 | 2,996 | 777 | 410 |
| | 100人以上 | 3,893 | 587 | 122 | 93 |
| | 50 ~ 99 | 2,386 | 867 | 232 | 105 |
| | 10 ~ 49 | 3,672 | 1,196 | 323 | 154 |
| | 10人未満 | 1,123 | 346 | 100 | 56 |
| 紡織工業 | 小 計 | 3,627 | 977 | 237 | 130 |
| | 100人以上 | 1,003 | 108 | 38 | 22 |
| | 50 ~ 99 | 2,723 | 307 | 76 | 45 |
| | 10 ~ 49 | 1,357 | 420 | 90 | 35 |
| | 10人未満 | 494 | 142 | 33 | 27 |
| 機工 械器具業 | 小 計 | 2,494 | 649 | 141 | 92 |
| | 100人以上 | 808 | 88 | 15 | 22 |
| | 50 ~ 99 | 557 | 168 | 33 | 20 |
| | 10 ~ 49 | 858 | 288 | 70 | 34 |
| | 10人未満 | 271 | 105 | 23 | 15 |
| 食料品工業 | 小 計 | 1,515 | 386 | 150 | 37 |
| | 100人以上 | 612 | 99 | 31 | 11 |
| | 50 ~ 99 | 368 | 142 | 56 | 9 |
| | 10 ~ 49 | 425 | 116 | 49 | 13 |
| | 10人未満 | 110 | 29 | 14 | 4 |
| 金属工業 | 小 計 | 1,544 | 422 | 83 | 57 |
| | 100人以上 | 708 | 119 | 8 | 11 |
| | 50 ~ 99 | 241 | 91 | 24 | 6 |
| | 10 ~ 49 | 469 | 171 | 35 | 34 |
| | 10人未満 | 126 | 41 | 16 | 6 |
| 製材品 及び木工業 | 小 計 | 1,069 | 257 | 83 | 36 |
| | 100人以上 | 395 | 47 | 9 | 9 |
| | 50 ~ 99 | 276 | 85 | 26 | 8 |
| | 10 ~ 49 | 324 | 106 | 43 | 17 |
| | 10人未満 | 74 | 19 | 5 | 2 |
| 印刷 及び本業 | 小 計 | 825 | 305 | 83 | 56 |
| | 100人以上 | 307 | 125 | 21 | 20 |
| | 50 ~ 99 | 171 | 74 | 17 | 16 |
| | 10 ~ 49 | 239 | 95 | 35 | 21 |
| | 10人未満 | 48 | 10 | 9 | 1 |
| 比率 | 小 計 | | % | | |
| | 100人以上 | | 100.0 | 26.0 | 13.7 |
| | 50 ~ 99 | | 100.0 | 20.8 | 21.91 |
| | 10 ~ 49 | | 100.0 | 26.8 | 12.1 |
| | 10人未満 | | 100.0 | 27.0 | 12.9 |
| | | | 100.0 | 28.9 | 16.2 |

注) 残業回数は1月間の回数である。

者 の 残 業

| 年 少 勞 働 者 数 | | | | |
|-------------|-----------|---------|------|--|
| 10 ~ 14 回 | 15 ~ 19 回 | 20 回 以上 | 不 明 | |
| 355 | 225 | 799 | 430 | |
| 89 | 53 | 149 | 79 | |
| 108 | 63 | 252 | 107 | |
| 126 | 82 | 307 | 204 | |
| 32 | 27 | 91 | 40 | |
| 94 | 47 | 273 | 196 | |
| 11 | 5 | 7 | 25 | |
| 44 | 12 | 92 | 37 | |
| 27 | 24 | 135 | 109 | |
| 12 | 6 | 39 | 25 | |
| 84 | 54 | 192 | 86 | |
| 17 | 1 | 29 | 4 | |
| 14 | 19 | 57 | 25 | |
| 41 | 19 | 73 | 51 | |
| 12 | 15 | 33 | 6 | |
| 37 | 16 | 87 | 59 | |
| 10 | 2 | 29 | 16 | |
| 14 | 7 | 31 | 25 | |
| 12 | 4 | 25 | 13 | |
| 1 | 3 | 2 | 5 | |
| 64 | 56 | 134 | 28 | |
| 23 | 28 | 42 | 7 | |
| 17 | 12 | 28 | 4 | |
| 21 | 15 | 50 | 16 | |
| 3 | 1 | 14 | 1 | |
| 32 | 30 | 50 | 26 | |
| 7 | 4 | 10 | 8 | |
| 13 | 9 | 23 | 6 | |
| 8 | 15 | 14 | 9 | |
| 4 | 2 | 3 | 3 | |
| 44 | 22 | 63 | 35 | |
| 21 | 13 | 32 | 19 | |
| 6 | 4 | 21 | 10 | |
| 17 | 5 | 10 | 6 | |
| - | - | - | - | |
| 11.8 | 7.5 | 26.7 | 14.3 | |
| 15.2 | 9.0 | 25.4 | 13.4 | |
| 12.4 | 7.3 | 29.1 | 12.3 | |
| 10.5 | 6.9 | 25.7 | 17.0 | |
| 9.2 | 7.8 | 26.3 | 16.6 | |

46表 年少労働者の休憩時間

| 休憩時間 | | 計 | 100人以上 | 50～99 | 10～49 | 10人未満 |
|--------------------------|-------------|--------|--------|-------|-------|-------|
| A | 総数 | 11,074 | 3,893 | 2,386 | 3,672 | 1,123 |
| B | 休憩時間あり | 10,401 | 3,723 | 2,311 | 3,257 | 1,110 |
| } | 15分未満 | 165 | 55 | 54 | 43 | 13 |
| | 15分以上～30分未満 | 587 | 173 | 174 | 189 | 51 |
| | 30分以上～1時間未満 | 8,406 | 3,195 | 1,806 | 2,602 | 803 |
| | 1時間以上 | 1,053 | 241 | 223 | 361 | 228 |
| | 不明 | 190 | 59 | 54 | 62 | 15 |
| $\frac{B \times 100}{A}$ | | 93.9 | 95.6 | 96.8 | 88.7 | 98.8 |

注) 休憩時間の中には手待時間も含む。

47表 年少労働者の休日

| 休日 | | 計 | 100人以上 | 50～99 | 10～49 | 10人未満 |
|--------------------------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|
| A | 総数 | 11,074 | 3,893 | 2,386 | 3,672 | 1,123 |
| B | 休日あり | 11,062 | 3,890 | 2,382 | 3,668 | 1,122 |
| } | 1回 | 64 | 13 | 20 | 13 | 18 |
| | 2回 | 1,308 | 27 | 326 | 646 | 309 |
| | 3回 | 375 | 16 | 80 | 206 | 73 |
| | 4回 | 532 | 183 | 100 | 181 | 63 |
| | 1回他不明 | 8,580 | 3,577 | 1,813 | 2,566 | 624 |
| $\frac{B \times 100}{A}$ | | 99.9 | 99.9 | 99.9 | 99.9 | 99.9 |
| 比 | 1回 | 0.6 | 0.3 | 0.8 | 0.4 | 1.6 |
| | 2回 | 11.8 | 0.7 | 13.7 | 17.6 | 27.6 |
| | 3回 | 3.4 | 0.4 | 3.4 | 5.6 | 6.5 |
| | 4回 | 4.8 | 4.8 | 4.2 | 4.9 | 5.6 |
| | 1回他不明 | 77.6 | 92.0 | 76.1 | 70.0 | 55.6 |
| 率 | 不明 | 1.0 | 1.2 | 1.1 | 0.6 | 1.2 |
| | その他 | 0.8 | 0.6 | 0.7 | 0.9 | 1.9 |

50表 賃金階級別年少労働者

| 性、賃金階級及び平均初任給額 | 計 | | | 1,000人以上 | | | 500～999 | | |
|-------------------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|---------|-------|-------|
| | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 |
| 計 | 5,556 | 4,145 | 1,411 | 526 | 483 | 43 | 357 | 274 | 83 |
| 1,000円未満 | 158 | 39 | 119 | - | - | - | 4 | - | 4 |
| 1,000円以上～2,000円未満 | 558 | 165 | 393 | 23 | 12 | 11 | 4 | - | 4 |
| 2,000円以上～3,000円未満 | 815 | 532 | 283 | 79 | 68 | 11 | 22 | 6 | 16 |
| 3,000円以上～4,000円未満 | 1,478 | 1,311 | 167 | 61 | 59 | 2 | 59 | 40 | 19 |
| 4,000円以上～5,000円未満 | 1,464 | 1,246 | 218 | 229 | 221 | 8 | 103 | 95 | 7 |
| 5,000円以上～6,000円未満 | 652 | 543 | 109 | 100 | 90 | 10 | 98 | 75 | 23 |
| 6,000円以上～7,000円未満 | 123 | 99 | 24 | 19 | 19 | - | 34 | 30 | 4 |
| 7,000円以上～8,000円未満 | 27 | 26 | 1 | 5 | 5 | - | 5 | 8 | - |
| 8,000円以上 | 5 | 4 | 1 | 2 | 2 | - | - | - | - |
| 不明 | 276 | 180 | 96 | 8 | 7 | 1 | 25 | 19 | 6 |
| 平均初任給額 | 3,640円 | 3,835 | 3,052 | 4,302 | 4,395 | 3,249 | 4,572 | 4,804 | 3,804 |
| 計 | 5,518 | 3,518 | 2,000 | 625 | 319 | 306 | 527 | 232 | 295 |
| 1,000円未満 | 152 | 24 | 128 | 9 | 1 | 8 | 4 | 2 | 2 |
| 1,000円以上～2,000円未満 | 574 | 156 | 418 | 70 | 5 | 65 | 48 | 9 | 39 |
| 2,000円以上～3,000円未満 | 1,354 | 558 | 796 | 144 | 26 | 118 | 196 | 36 | 160 |
| 3,000円以上～4,000円未満 | 1,598 | 1,327 | 271 | 135 | 61 | 74 | 95 | 62 | 33 |
| 4,000円以上～5,000円未満 | 946 | 818 | 128 | 66 | 50 | 16 | 112 | 63 | 49 |
| 5,000円以上～6,000円未満 | 260 | 248 | 12 | 82 | 82 | - | 22 | 21 | 1 |
| 6,000円以上～7,000円未満 | 76 | 75 | 1 | 35 | 35 | - | 9 | 9 | - |
| 7,000円以上～8,000円未満 | 55 | 54 | 1 | 34 | 33 | 1 | 16 | 16 | - |
| 8,000円以上 | 15 | 15 | - | 14 | 14 | - | 1 | 1 | - |
| 不明 | 488 | 243 | 245 | 36 | 12 | 24 | 24 | 13 | 11 |
| 平均初任給額 | 3,152円 | 3,564 | 2,325 | 3,419 | 4,490 | 2,253 | 3,369 | 4,073 | 2,826 |

注) 手取初任給額は49表注) 1. 2. と同じ。

48 表 年少労働者の年次有給休暇

| 年次有給休暇 | | 計 | 100人以上 | 50～99 | 10～49 | 10人未満 |
|--------|------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 実数 | 計 | 11,074 | 3,893 | 2,386 | 3,672 | 1,123 |
| | あり | 4,678 | 2,631 | 849 | 983 | 210 |
| | なし | 2,031 | 528 | 462 | 790 | 251 |
| | 知らない | 4,370 | 734 | 1,075 | 1,899 | 662 |
| 比率 | 計 | 100.0% | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| | あり | 42.2 | 67.6 | 35.6 | 25.8 | 18.7 |
| | なし | 18.8 | 13.6 | 19.4 | 21.5 | 22.4 |
| | 知らない | 39.5 | 18.8 | 45.0 | 51.7 | 58.9 |

49 表 年少労働者の1ヵ月平均手取初任給額

〔単位 円〕

| 性及び通勤住込 | | 計 | 1,000人以上 | 500～999 | 100～499 | 50～99 | 10～49 | 10人未満 |
|---------|----|-------|----------|---------|---------|-------|-------|-------|
| 男 | 計 | 3,640 | 4,302 | 4,572 | 3,805 | 3,720 | 3,445 | 2,840 |
| | 通勤 | 3,835 | 4,395 | 4,804 | 3,856 | 4,057 | 3,530 | 3,406 |
| | 住込 | 3,052 | 3,249 | 3,804 | 3,200 | 3,289 | 3,245 | 2,156 |
| 女 | 計 | 3,152 | 3,419 | 3,369 | 3,433 | 3,212 | 2,940 | 2,549 |
| | 通勤 | 3,564 | 4,490 | 4,073 | 3,741 | 3,533 | 3,251 | 3,215 |
| | 住込 | 2,325 | 2,283 | 2,826 | 2,184 | 2,412 | 2,188 | 2,074 |

注) 1. 手取初任給額とは所得税、各種保険料、食費等を差し引いて、実際に年少労働者の手に入った初任給額である。
 2. 初任給額は、調査の対象となつた個々の年少労働者が始めて受け取つた時の額により、集計した。

数および1ヵ月平均手取初任給額

| 100～499 | | | 50～99 | | | 10～49 | | | 10人未満 | | |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 |
| 807 | 741 | 66 | 1,164 | 926 | 238 | 2,052 | 1,368 | 684 | 650 | 353 | 297 |
| 7 | 5 | 2 | 9 | 5 | 4 | 88 | 23 | 65 | 50 | 6 | 44 |
| 52 | 39 | 13 | 65 | 41 | 24 | 287 | 56 | 233 | 125 | 17 | 108 |
| 113 | 105 | 8 | 156 | 107 | 49 | 341 | 193 | 148 | 104 | 53 | 51 |
| 234 | 222 | 12 | 344 | 304 | 40 | 605 | 541 | 64 | 175 | 145 | 30 |
| 204 | 196 | 8 | 352 | 272 | 80 | 464 | 379 | 85 | 112 | 82 | 30 |
| 143 | 128 | 15 | 140 | 130 | 10 | 135 | 98 | 37 | 36 | 22 | 14 |
| 18 | 15 | 3 | 27 | 16 | 11 | 17 | 13 | 4 | 8 | 6 | 2 |
| 2 | 2 | — | 3 | 3 | — | 9 | 8 | 1 | — | — | — |
| 1 | 1 | — | 1 | 1 | — | 1 | — | 1 | — | — | — |
| 33 | 28 | 5 | 67 | 47 | 20 | 103 | 57 | 46 | 40 | 22 | 18 |
| 3,805 | 3,856 | 3,200 | 3,720 | 4,057 | 3,289 | 3,445 | 3,530 | 3,245 | 2,840 | 3,406 | 2,156 |
| 1,051 | 787 | 264 | 1,222 | 851 | 371 | 1,620 | 1,136 | 484 | 473 | 193 | 280 |
| 37 | 5 | 32 | 30 | 1 | 29 | 45 | 11 | 34 | 27 | 4 | 23 |
| 54 | 19 | 35 | 82 | 32 | 50 | 227 | 77 | 150 | 93 | 14 | 79 |
| 150 | 64 | 86 | 268 | 125 | 143 | 437 | 258 | 179 | 159 | 49 | 110 |
| 322 | 304 | 18 | 428 | 365 | 63 | 514 | 461 | 53 | 104 | 74 | 30 |
| 260 | 253 | 7 | 228 | 205 | 23 | 236 | 215 | 21 | 44 | 32 | 12 |
| 50 | 50 | — | 51 | 47 | 4 | 42 | 39 | 4 | 13 | 10 | 3 |
| 24 | 24 | — | 1 | 1 | — | 7 | 6 | 1 | — | — | — |
| — | — | — | 3 | 3 | — | 2 | 2 | — | — | — | — |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 154 | 68 | 86 | 131 | 72 | 59 | 110 | 68 | 42 | 33 | 10 | 23 |
| 3,433 | 3,741 | 2,184 | 3,212 | 3,533 | 2,412 | 2,940 | 3,251 | 2,188 | 2,549 | 3,215 | 2,074 |

51 表 産業、賃金階級別年少労働者数

| 性、賃金階級及 び平均初任給額 | 紡織工業 | | | 機械器具工業 | | | 食料品工業 | | |
|--------------------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 |
| 計 | 463 | 247 | 216 | 2,120 | 1,822 | 298 | 589 | 190 | 399 |
| 1,000 円 未 満 | 25 | 5 | 20 | 51 | 26 | 25 | 14 | - | 14 |
| 1,000以上—2,000未満 | 86 | 15 | 71 | 153 | 69 | 84 | 123 | 9 | 114 |
| 2,000以上—3,000未満 | 106 | 44 | 62 | 256 | 206 | 50 | 128 | 25 | 103 |
| 3,000以上—4,000未満 | 120 | 102 | 18 | 640 | 586 | 54 | 109 | 70 | 39 |
| 4,000以上—5,000未満 | 67 | 52 | 15 | 645 | 595 | 50 | 114 | 44 | 70 |
| 5,000以上—6,000未満 | 10 | 5 | 5 | 263 | 241 | 22 | 36 | 13 | 23 |
| 6,000以上—7,000未満 | 2 | 1 | 1 | 31 | 29 | 2 | 17 | 6 | 11 |
| 7,000以上—8,000未満 | - | - | - | 4 | 4 | - | 5 | 5 | - |
| 8,000 円 以 上 | - | - | - | 1 | 1 | - | 1 | - | 1 |
| 不 明 | 47 | 23 | 24 | 76 | 65 | 11 | 42 | 18 | 24 |
| 平均初任給額 | 2,663 | 3,188 | 2,050 | 3,697 | 3,852 | 2,716 | 2,974 | 3,763 | 2,479 |
| 計 | 3,164 | 1,291 | 1,873 | 374 | 367 | 7 | 926 | 873 | 53 |
| 1,000 円 未 満 | 118 | 9 | 109 | 5 | 4 | 1 | 6 | 4 | 2 |
| 1,000以上—2,000未満 | 475 | 95 | 380 | 11 | 11 | - | 25 | 14 | 11 |
| 2,000以上—3,000未満 | 1,096 | 317 | 779 | 34 | 33 | 1 | 82 | 70 | 12 |
| 3,000以上—4,000未満 | 740 | 498 | 242 | 130 | 127 | 3 | 354 | 336 | 18 |
| 4,000以上—5,000未満 | 305 | 190 | 115 | 82 | 81 | 1 | 255 | 249 | 6 |
| 5,000以上—6,000未満 | 32 | 24 | 8 | 81 | 80 | 1 | 67 | 67 | - |
| 6,000以上—7,000未満 | 4 | 3 | 1 | 16 | 16 | - | 38 | 38 | - |
| 7,000以上—8,000未満 | 2 | 2 | - | - | - | - | 53 | 52 | 1 |
| 8,000 円 以 上 | - | - | - | - | - | - | 13 | 13 | - |
| 不 明 | 392 | 153 | 239 | 15 | 15 | - | 33 | 30 | 3 |
| 平均初任給額 | 2,654 | 3,132 | 2,321 | 3,962 | 4,089 | 3,223 | 3,843 | 3,885 | 3,144 |

注) 手取初任給額は49表 注) 1. 2. と同じ。

および1カ月平均手取初任給額

| 金 属 工 業 | | | 製材及び木製品工業 | | | 印 刷 及 び 製 本 業 | | |
|---------|-------|-------|-----------|-------|-------|---------------|-------|-------|
| 小 計 | 通 勤 | 住 込 | 小 計 | 通 勤 | 住 込 | 小 計 | 通 勤 | 住 込 |
| 1,174 | 894 | 280 | 673 | 535 | 138 | 537 | 457 | 80 |
| 28 | 5 | 23 | 39 | 2 | 37 | 1 | 1 | - |
| 84 | 22 | 62 | 60 | 30 | 50 | 32 | 20 | 12 |
| 152 | 118 | 34 | 68 | 59 | 9 | 105 | 80 | 25 |
| 242 | 205 | 37 | 183 | 179 | 4 | 184 | 169 | 15 |
| 337 | 283 | 54 | 169 | 158 | 11 | 132 | 114 | 18 |
| 237 | 187 | 50 | 74 | 69 | 5 | 32 | 28 | 4 |
| 52 | 42 | 10 | 6 | 6 | - | 15 | 15 | - |
| 7 | 6 | 1 | 3 | 3 | - | 8 | 8 | - |
| 1 | 1 | - | - | - | - | 2 | 2 | - |
| 34 | 25 | 9 | 51 | 29 | 22 | 26 | 20 | 6 |
| 3,868 | 4,085 | 3,171 | 3,344 | 3,768 | 1,516 | 3,587 | 3,679 | 3,041 |
| 370 | 368 | 2 | 396 | 339 | 57 | 288 | 280 | 8 |
| 6 | 5 | 1 | 14 | - | 14 | 3 | 2 | 1 |
| 12 | 12 | - | 39 | 15 | 24 | 12 | 9 | 3 |
| 41 | 41 | - | 48 | 44 | 4 | 53 | 53 | - |
| 104 | 104 | - | 146 | 139 | 7 | 124 | 123 | 1 |
| 146 | 145 | 1 | 98 | 95 | 3 | 60 | 58 | 2 |
| 30 | 30 | - | 31 | 29 | 2 | 19 | 18 | 1 |
| 17 | 17 | - | 1 | 1 | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 1 | 1 | - | - | - | - | 1 | 1 | - |
| 13 | 13 | - | 19 | 16 | 3 | 16 | 16 | - |
| 3,950 | 3,452 | 2,350 | 3,291 | 3,595 | 1,475 | 3,494 | 3,515 | 2,820 |

52表 年少労働者の1カ

| 性及び通勤住込 | | 計 | 1,000人以上 | 500～999 |
|---------|----|-------|----------|---------|
| 男 | 計 | 4,105 | 4,816 | 4,749 |
| | 通勤 | 4,535 | 5,019 | 5,111 |
| | 住込 | 2,835 | 2,698 | 3,504 |
| 女 | 計 | 3,800 | 5,048 | 3,760 |
| | 通勤 | 4,175 | 5,718 | 4,147 |
| | 住込 | 3,124 | 4,323 | 3,431 |

注) 手取賃金は所得税、各種保険料、食費等を差引いて、実際に年少者の手に入った賃金額である。

53表 賃金階級別年少労働者

| 性、賃金階級及び平均賃金 | 計 | | | 1,000人以上 | | | 500～999 | | |
|----------------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|---------|-------|-------|
| | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 |
| 計 | 5,556 | 4,145 | 1,411 | 526 | 483 | 43 | 357 | 274 | 83 |
| 1,000円未満 | 76 | 10 | 66 | — | — | — | — | — | — |
| 1,000以上2,000未満 | 436 | 103 | 333 | 19 | 6 | 13 | 1 | — | 1 |
| 2,000～3,000 | 713 | 334 | 379 | 40 | 21 | 19 | 36 | 17 | 19 |
| 3,000～4,000 | 1,080 | 840 | 240 | 37 | 35 | 2 | 86 | 49 | 37 |
| 4,000～5,000 | 1,287 | 1,149 | 138 | 134 | 130 | 4 | 41 | 37 | 4 |
| 5,000～6,000 | 971 | 862 | 109 | 175 | 170 | 5 | 96 | 81 | 15 |
| 6,000～7,000 | 447 | 404 | 43 | 78 | 78 | — | 61 | 59 | 2 |
| 7,000～8,000 | 177 | 159 | 18 | 20 | 20 | — | 18 | 18 | — |
| 8,000～9,000 | 63 | 54 | 9 | 6 | 6 | — | 6 | 6 | — |
| 9,000～10,000 | 32 | 27 | 5 | 4 | 4 | — | 1 | 1 | — |
| 10,000円以上 | 13 | 13 | — | 2 | 2 | — | — | — | — |
| 不明 | 261 | 190 | 71 | 11 | 11 | — | 11 | 6 | 5 |
| 平均賃金 | 4,105 | 4,535 | 2,835 | 4,816 | 5,019 | 2,698 | 4,749 | 5,111 | 3,504 |
| 計 | 5,518 | 3,518 | 2,000 | 625 | 319 | 306 | 527 | 232 | 295 |
| 1,000円未満 | 43 | 4 | 39 | 1 | — | 1 | — | — | — |
| 1,000以上2,000未満 | 399 | 94 | 305 | 10 | — | 10 | 27 | 6 | 21 |
| 2,000～3,000 | 985 | 332 | 653 | 98 | 4 | 94 | 102 | 18 | 87 |
| 3,000～4,000 | 1,391 | 989 | 402 | 83 | 19 | 64 | 117 | 46 | 71 |
| 4,000～5,000 | 1,300 | 1,010 | 290 | 100 | 39 | 61 | 106 | 49 | 57 |
| 5,000～6,000 | 655 | 538 | 117 | 164 | 125 | 39 | 82 | 56 | 27 |
| 6,000～7,000 | 259 | 231 | 28 | 91 | 83 | 8 | 33 | 27 | 6 |
| 7,000～8,000 | 65 | 60 | 5 | 28 | 28 | — | 7 | 7 | — |
| 8,000～9,000 | 23 | 22 | 1 | 1 | 1 | — | 1 | 1 | — |
| 9,000～10,000 | 21 | 21 | — | — | — | — | 19 | 19 | — |
| 10,000円以上 | 8 | 8 | — | 1 | 1 | — | 4 | 4 | — |
| 不明 | 369 | 209 | 160 | 48 | 19 | 29 | 29 | 3 | 26 |
| 平均賃金 | 3,800 | 4,175 | 3,124 | 5,048 | 5,718 | 4,323 | 3,760 | 4,147 | 3,431 |

注) 手取賃金は52表注)に同じ。

月平均手取賃金 (単位 円)

| 100 ~ 499 | 50 ~ 99 | 10 ~ 49 | 10人未満 |
|-----------|---------|---------|-------|
| 4,371 | 4,377 | 3,774 | 3,381 |
| 4,444 | 4,566 | 4,368 | 4,156 |
| 3,492 | 3,640 | 2,586 | 2,477 |
| 3,842 | 3,654 | 3,614 | 3,136 |
| 4,159 | 3,876 | 4,008 | 3,990 |
| 2,837 | 3,167 | 2,651 | 2,544 |

数および1ヵ月平均手取賃金

| 100 ~ 499 | | | 50 ~ 99 | | | 10 ~ 49 | | | 10人未満 | | |
|-----------|-------|-------|---------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 |
| 807 | 741 | 66 | 1,164 | 926 | 288 | 2,052 | 1,368 | 684 | 650 | 353 | 297 |
| 4 | 4 | - | 1 | 1 | - | 45 | 5 | 40 | 26 | - | 26 |
| 31 | 17 | 14 | 75 | 41 | 34 | 206 | 30 | 176 | 104 | 9 | 95 |
| 94 | 82 | 12 | 120 | 67 | 53 | 319 | 115 | 204 | 104 | 32 | 72 |
| 165 | 154 | 11 | 202 | 164 | 38 | 442 | 335 | 107 | 148 | 103 | 45 |
| 223 | 215 | 8 | 303 | 254 | 49 | 462 | 408 | 54 | 124 | 105 | 19 |
| 127 | 120 | 7 | 227 | 198 | 29 | 275 | 242 | 33 | 71 | 51 | 20 |
| 86 | 83 | 3 | 79 | 70 | 9 | 111 | 92 | 19 | 32 | 22 | 10 |
| 29 | 25 | 4 | 40 | 38 | 2 | 60 | 49 | 11 | 10 | 9 | 1 |
| 8 | 8 | - | 26 | 20 | 6 | 14 | 11 | 3 | 3 | 3 | - |
| 3 | 3 | - | 12 | 9 | 3 | 10 | 6 | 2 | 2 | 2 | - |
| 2 | 2 | - | 5 | 5 | - | 4 | 4 | - | - | - | - |
| 35 | 28 | 7 | 74 | 59 | 15 | 104 | 69 | 35 | 26 | 17 | 9 |
| 4,371 | 4,444 | 3,492 | 4,377 | 4,566 | 3,640 | 3,774 | 4,368 | 2,586 | 3,381 | 4,156 | 2,477 |
| 1,051 | 787 | 264 | 1,222 | 851 | 371 | 1,620 | 1,136 | 484 | 473 | 193 | 280 |
| 11 | - | 11 | 7 | - | 7 | 12 | 3 | 9 | 12 | 1 | 11 |
| 107 | 32 | 75 | 74 | 27 | 47 | 128 | 23 | 105 | 53 | 6 | 47 |
| 138 | 77 | 61 | 208 | 82 | 126 | 289 | 125 | 164 | 150 | 29 | 121 |
| 249 | 205 | 44 | 347 | 276 | 71 | 480 | 382 | 98 | 115 | 61 | 54 |
| 282 | 256 | 26 | 343 | 271 | 72 | 394 | 346 | 48 | 75 | 49 | 26 |
| 138 | 118 | 20 | 111 | 93 | 18 | 135 | 127 | 8 | 25 | 20 | 5 |
| 49 | 48 | 1 | 25 | 17 | 8 | 46 | 44 | 2 | 15 | 12 | 3 |
| 13 | 13 | - | 3 | 1 | 2 | 10 | 7 | 3 | 4 | 4 | - |
| 2 | 2 | - | 2 | 2 | - | 15 | 14 | 1 | 2 | 2 | - |
| - | - | - | - | - | - | 1 | 1 | - | - | - | - |
| 3 | 3 | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 1 | - |
| 59 | 33 | 26 | 102 | 82 | 20 | 110 | 64 | 46 | 21 | 8 | 13 |
| 3,842 | 4,159 | 2,837 | 3,654 | 3,876 | 3,167 | 3,614 | 4,008 | 2,651 | 3,136 | 3,990 | 2,544 |

54表 産業、賃金階級別年少労働者

| 性、賃金階級及び平均賃金 | 紡織工業 | | | 機械器具工業 | | | 食料品工業 | | |
|-------------------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 |
| 計 | 463 | 247 | 216 | 2,120 | 1,822 | 298 | 589 | 190 | 399 |
| 1,000円未満 以上 未満 | 10 | - | 10 | 21 | 8 | 13 | 10 | 2 | 8 |
| 1,000～2,000 | 59 | 8 | 51 | 106 | 30 | 76 | 96 | 8 | 88 |
| 2,000～3,000 | 87 | 24 | 63 | 220 | 144 | 76 | 140 | 14 | 126 |
| 3,000～4,000 | 109 | 70 | 39 | 458 | 407 | 51 | 90 | 24 | 66 |
| 4,000～5,000 | 85 | 68 | 17 | 519 | 485 | 34 | 117 | 66 | 51 |
| 5,000～6,000 | 45 | 32 | 13 | 455 | 437 | 18 | 53 | 26 | 25 |
| 6,000～7,000 | 22 | 16 | 6 | 165 | 157 | 8 | 26 | 18 | 8 |
| 7,000～8,000 | 5 | 4 | 1 | 58 | 52 | 6 | 13 | 8 | 5 |
| 8,000～9,000 | 6 | 5 | 1 | 23 | 17 | 6 | 3 | 3 | - |
| 9,000～10,000 | - | - | - | 11 | 8 | 3 | 1 | - | 1 |
| 10,000円以上 | - | - | - | 5 | 5 | - | 4 | 4 | - |
| 不明 | 35 | 20 | 15 | 79 | 72 | 7 | 36 | 15 | 21 |
| 平均賃金 | 3,448 | 4,097 | 2,715 | 4,226 | 4,473 | 2,750 | 3,424 | 4,558 | 2,899 |
| 計 | 3,164 | 1,291 | 1,873 | 374 | 367 | 7 | 926 | 873 | 53 |
| 1,000円未満 以上 未満 | 30 | - | 30 | 3 | 3 | - | 1 | 1 | - |
| 1,000～2,000 | 322 | 39 | 283 | 6 | 5 | 1 | 20 | 18 | 2 |
| 2,000～3,000 | 785 | 165 | 620 | 14 | 14 | - | 100 | 83 | 17 |
| 3,000～4,000 | 830 | 452 | 378 | 55 | 53 | 2 | 238 | 224 | 14 |
| 4,000～5,000 | 623 | 348 | 275 | 99 | 96 | 3 | 240 | 233 | 7 |
| 5,000～6,000 | 236 | 125 | 111 | 148 | 147 | 1 | 133 | 129 | 4 |
| 6,000～7,000 | 66 | 40 | 26 | 13 | 13 | - | 116 | 115 | 1 |
| 7,000～8,000 | 13 | 11 | 2 | 4 | 4 | - | 22 | 20 | 2 |
| 8,000～9,000 | 10 | 9 | 1 | 1 | 1 | - | 6 | 6 | - |
| 9,000～10,000 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - |
| 10,000円以上 | 1 | 1 | - | - | - | - | 3 | 3 | - |
| 不明 | 247 | 100 | 147 | 21 | 21 | - | 47 | 41 | 6 |
| 平均賃金 | 3,434 | 3,688 | 3,144 | 4,796 | 4,818 | 3,727 | 4,281 | 4,327 | 3,473 |

注) 手取賃金は52表 注) に同じ。

数および1ヵ月平均手取賃金

| 金 属 工 業 | | | 製材及び木製品工業 | | | 印 刷 及 び 製 本 業 | | |
|---------|-------|-------|-----------|-------|-------|---------------|-------|-------|
| 小 計 | 通 勤 | 住 込 | 小 計 | 通 勤 | 住 込 | 小 計 | 通 勤 | 住 込 |
| 1,174 | 894 | 280 | 573 | 535 | 138 | 537 | 457 | 80 |
| 13 | - | 13 | 22 | - | 22 | - | - | - |
| 83 | 21 | 62 | 66 | 20 | 46 | 26 | 16 | 10 |
| 143 | 80 | 63 | 61 | 36 | 25 | 62 | 36 | 26 |
| 177 | 117 | 60 | 143 | 129 | 14 | 103 | 93 | 10 |
| 265 | 247 | 18 | 153 | 145 | 8 | 148 | 138 | 10 |
| 247 | 212 | 35 | 97 | 88 | 9 | 74 | 65 | 9 |
| 126 | 112 | 14 | 66 | 60 | 6 | 42 | 41 | 1 |
| 59 | 55 | 4 | 17 | 17 | - | 25 | 23 | 2 |
| 16 | 14 | 2 | 10 | 10 | - | 5 | 5 | - |
| 5 | 4 | 1 | 7 | 7 | - | 8 | 8 | - |
| 3 | 3 | - | - | - | - | 1 | 1 | - |
| 37 | 29 | 8 | 31 | 23 | 8 | 43 | 31 | 12 |
| 4,381 | 4,781 | 3,111 | 4,075 | 4,540 | 2,247 | 4,338 | 4,512 | 3,212 |
| 370 | 368 | 2 | 396 | 339 | 57 | 288 | 280 | 8 |
| - | - | - | 9 | - | 9 | - | - | - |
| 9 | 7 | 2 | 33 | 17 | 16 | 9 | 8 | 1 |
| 18 | 18 | - | 40 | 26 | 14 | 28 | 26 | 2 |
| 78 | 78 | - | 94 | 87 | 7 | 86 | 85 | 1 |
| 128 | 128 | - | 128 | 123 | 5 | 82 | 82 | - |
| 42 | 42 | - | 56 | 55 | 1 | 40 | 40 | - |
| 41 | 41 | - | 15 | 15 | - | 8 | 7 | 1 |
| 14 | 14 | - | 6 | 6 | - | 6 | 5 | 1 |
| 2 | 2 | - | - | - | - | 4 | 4 | - |
| 19 | 19 | - | - | - | - | 1 | 1 | - |
| - | - | - | 4 | 4 | - | - | - | - |
| 19 | 19 | - | 11 | 6 | 5 | 24 | 22 | 2 |
| 4,277 | 4,295 | 1,250 | 3,809 | 4,087 | 2,029 | 4,101 | 4,107 | 3,847 |

55 表 災害年少労働者数および比率

〔昭和30年1月～12月〕

| 規模 | A 在職年少労働者数 | B 災害年少労働者数 | $\frac{B \times 100}{A}$ |
|--------|------------|------------|--------------------------|
| 計 | 2,402 | 464 | 19.3 |
| 100人以上 | 1,092 | 122 | 11.2 |
| 100人未満 | 1,310 | 342 | 26.1 |

注) 昭和30年に在職していたものを対象とする。

56 表 年少労働者の休業日数別災害件数

| 産業、規模及び性別 | 実 数 | | | 比 率 | | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|-----|--------|-------|-------|-------|-------|
| | 小 計 | 休業1～7日 | 8日以上 | 小 計 | 休業1～7日 | 8日以上 | | | |
| 計 | 計 | 674 | 516 | 158 | 100.0 | 76.6 | 23.4 | | |
| | 100人以上 | 小計 | 426 | 304 | 122 | 100.0 | 71.4 | 28.6 | |
| | | 男女 | 248 | 212 | 36 | 100.0 | 85.5 | 14.5 | |
| | 100人未満 | 小計 | 168 | 99 | 69 | 100.0 | 58.9 | 41.1 | |
| | | 男女 | 110 | 58 | 52 | 100.0 | 52.7 | 47.3 | |
| | 紡織工業 | 100人以上 | 小計 | 58 | 41 | 17 | 100.0 | 70.7 | 29.3 |
| | | | 男女 | 506 | 417 | 89 | 100.0 | 82.4 | 17.6 |
| | | 100人未満 | 小計 | 316 | 246 | 70 | 100.0 | 77.8 | 22.2 |
| | | | 男女 | 190 | 171 | 19 | 100.0 | 90.0 | 10.0 |
| 機械器具工業 | | 100人以上 | 小計 | 101 | 77 | 24 | 100.0 | 76.2 | 23.8 |
| | | | 男女 | 33 | 26 | 7 | 100.0 | 78.8 | 11.2 |
| | | 100人未満 | 小計 | 68 | 51 | 17 | 100.0 | 75.0 | 25.0 |
| | | | 男女 | 32 | 22 | 10 | 100.0 | 68.7 | 21.3 |
| | | 食料品工業 | 100人以上 | 小計 | — | — | — | — | — |
| | 男女 | | | 32 | 22 | 10 | 100.0 | 68.7 | 21.3 |
| | 100人未満 | | 小計 | 69 | 55 | 14 | 100.0 | 79.7 | 20.3 |
| | | | 男女 | 33 | 26 | 7 | 100.0 | 78.7 | 21.3 |
| | 金属工業 | | 100人以上 | 小計 | 36 | 29 | 7 | 100.0 | 80.5 |
| 男女 | | | | 276 | 265 | 11 | 100.0 | 96.0 | 4.0 |
| 100人未満 | | | 小計 | 151 | 140 | 11 | 100.0 | 92.7 | 7.3 |
| | | | 男女 | 125 | 125 | — | 100.0 | 100.0 | — |
| 食料品工業 | | | 100人以上 | 小計 | 29 | 20 | 9 | 100.0 | 69.0 |
| | | 男女 | | 27 | 18 | 9 | 100.0 | 66.7 | 23.3 |
| | | 100人未満 | 小計 | 2 | 2 | — | 100.0 | 100.0 | — |
| | | | 男女 | 247 | 245 | 2 | 100.0 | 99.2 | 0.8 |
| | | 金属工業 | 100人以上 | 小計 | 124 | 122 | 2 | 100.0 | 98.4 |
| | 男女 | | | 123 | 123 | — | 100.0 | 100.0 | — |
| | 100人未満 | | 小計 | 39 | 20 | 19 | 100.0 | 51.3 | 48.7 |
| | | | 男女 | 20 | 10 | 10 | 100.0 | 50.0 | 50.0 |
| | 金属工業 | | 100人以上 | 小計 | 19 | 10 | 9 | 100.0 | 52.6 |
| 男女 | | | | 13 | 7 | 6 | 100.0 | 53.8 | 46.2 |
| 100人未満 | | | 小計 | 4 | 2 | 2 | 100.0 | 50.0 | 50.0 |
| | | | 男女 | 9 | 5 | 4 | 100.0 | 55.5 | 44.5 |
| 金属工業 | | | 100人以上 | 小計 | 26 | 13 | 13 | 100.0 | 50.0 |
| | | 男女 | | 16 | 8 | 8 | 100.0 | 50.0 | 50.0 |
| | | 100人未満 | 小計 | 10 | 5 | 5 | 100.0 | 50.0 | 50.0 |
| | | | 男女 | 138 | 80 | 58 | 100.0 | 58.0 | 42.0 |
| | | 金属工業 | 100人以上 | 小計 | 120 | 65 | 55 | 100.0 | 54.2 |
| | 男女 | | | 18 | 15 | 3 | 100.0 | 83.3 | 16.7 |
| | 100人未満 | | 小計 | 49 | 28 | 21 | 100.0 | 57.1 | 42.9 |
| | | | 男女 | 37 | 16 | 21 | 100.0 | 43.2 | 56.8 |
| | 金属工業 | | 100人以上 | 小計 | 12 | 12 | — | 100.0 | 100.0 |
| 男女 | | | | 89 | 52 | 37 | 100.0 | 58.4 | 41.6 |
| 100人未満 | | | 小計 | 83 | 49 | 34 | 100.0 | 59.0 | 41.0 |
| | | | 6 | 3 | 3 | 100.0 | 50.0 | 50.0 | |

| 産業、規模及び性 | 実 数 | | | 比 率 | | | | |
|-----------|--------|--------|------|-----|--------|-------|------|-------|
| | 小 計 | 休業1~7日 | 8日以上 | 小 計 | 休業1~7日 | 8日以上 | | |
| 製材及び木製品工業 | 計 | 小 | 91 | 59 | 32 | 100.0 | 64.8 | 35.2 |
| | | 男女 | 78 | 51 | 27 | 100.0 | 55.4 | 34.6 |
| | | 計 | 13 | 8 | 5 | 100.0 | 61.5 | 38.5 |
| | 100人以上 | 小 | 23 | 13 | 12 | 100.0 | 52.0 | 48.0 |
| | | 男女 | 22 | 13 | 9 | 100.0 | 59.1 | 40.9 |
| | | 計 | 3 | - | 3 | 100.0 | - | 100.0 |
| 100人未満 | 小 | 66 | 46 | 20 | 100.0 | 69.7 | 20.3 | |
| | 男女 | 56 | 38 | 18 | 100.0 | 67.8 | 32.2 | |
| | 計 | 10 | 8 | 2 | 100.0 | 80.0 | 20.0 | |
| 印刷及び製本業 | 計 | 小 | 29 | 15 | 14 | 100.0 | 51.7 | 48.3 |
| | | 男女 | 24 | 12 | 12 | 100.0 | 50.0 | 50.0 |
| | | 計 | 5 | 3 | 2 | 100.0 | 60.0 | 40.0 |
| | 100人以上 | 小 | 20 | 9 | 11 | 100.0 | 45.0 | 55.0 |
| | | 男女 | 20 | 9 | 11 | 100.0 | 45.0 | 55.0 |
| | | 計 | - | - | - | - | - | - |
| 100人未満 | 小 | 9 | 6 | 3 | 100.0 | 66.7 | 33.3 | |
| | 男女 | 4 | 3 | 1 | 100.0 | 75.0 | 25.0 | |
| | 計 | 5 | 3 | 2 | 100.0 | 60.0 | 40.0 | |

注) 55表注)と同じ。

57表 災害年少労働者の医療費負担状況

| 規 模 | 災 害 年 少 勞 働 者 数 | 実 数 | | | 比 率 | | | |
|----------|--------------------|-----------|-----|---------|--------------------|-----------|------|---------|
| | | 医 療 費 負 担 | | | 災 害 年 少 勞 働 者 数 | 医 療 費 負 担 | | |
| | | 自 分 | 雇 主 | 労 災 保 険 | | 自 分 | 雇 主 | 労 災 保 険 |
| 計 | 464 | 48 | 113 | 303 | 100.0 | 10.3 | 24.4 | 65.3 |
| 1,000人以上 | 32 | 2 | 7 | 23 | 100.0 | 6.3 | 21.9 | 71.8 |
| 500~999 | 19 | - | 4 | 15 | 100.0 | - | 21.1 | 78.9 |
| 100~499 | 71 | 5 | 10 | 56 | 100.0 | 7.0 | 14.1 | 78.9 |
| 50~99 | 109 | 7 | 30 | 72 | 100.0 | 6.4 | 27.5 | 66.1 |
| 10~49 | 185 | 28 | 42 | 115 | 100.0 | 15.1 | 22.7 | 62.2 |
| 10人未満 | 48 | 6 | 20 | 22 | 100.0 | 12.5 | 41.7 | 45.8 |

注) 55表注)と同じ。

58表 疾病年少労働者数および比率

〔昭和30年1月~12月〕

| 規 模 | A 在職年少 労働者数 | B 疾病年少 労働者数 | $\frac{B \times 100}{A}$ |
|--------|----------------|----------------|--------------------------|
| 計 | 2,402 | 1,634 | 68.0 |
| 100人以上 | 1,092 | 604 | 55.3 |
| 100人未満 | 1,310 | 1,030 | 78.6 |

注) 55表注)と同じ。

59表 産業別疾病年少労働者数

| 規 模 | 計 | 紡織工業 | 機 械 器 具 業 工 | 食 料 品 工 業 | 金 属 工 業 | 製 材 及 び 木 製 品 工 業 | 印 刷 及 び 製 本 業 |
|--------|-------|------|----------------|-----------|---------|----------------------|------------------|
| 計 | 1,634 | 599 | 329 | 226 | 207 | 185 | 137 |
| 100人以上 | 604 | 161 | 155 | 98 | 97 | 51 | 52 |
| 100人未満 | 1,030 | 438 | 174 | 128 | 110 | 95 | 85 |

注) 55表注)と同じ。

60表 年少労働者の

| 病名 | 計 | | | 紡織工業 | | | 機械器具工業 | | | 食 |
|---------|-------|--------|--------|------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| | 小計 | 100人以上 | 100人未満 | 小計 | 100人以上 | 100人未満 | 小計 | 100人以上 | 100人未満 | |
| 計 | 1,757 | 649 | 1,108 | 670 | 182 | 488 | 328 | 151 | 177 | 226 |
| 気管支炎 | 27 | 18 | 9 | 5 | 5 | - | 3 | 1 | 2 | 10 |
| 風邪 | 546 | 191 | 355 | 196 | 41 | 155 | 116 | 59 | 57 | 58 |
| 頭痛 | 205 | 64 | 141 | 87 | 18 | 69 | 36 | 19 | 17 | 24 |
| 胃痛 | 118 | 40 | 78 | 51 | 17 | 34 | 13 | 7 | 6 | 20 |
| 腹痛 | 206 | 77 | 129 | 78 | 24 | 44 | 43 | 15 | 28 | 23 |
| 盲腸炎 | 148 | 63 | 85 | 57 | 17 | 40 | 23 | 12 | 11 | 21 |
| 脚気 | 25 | 11 | 14 | 12 | 2 | 10 | 5 | 3 | 3 | 3 |
| 眼疾 | 43 | 16 | 27 | 14 | 6 | 8 | 12 | 4 | 8 | 4 |
| 耳疾(中耳炎) | 21 | 5 | 16 | 7 | 1 | 6 | 1 | - | 1 | 4 |
| 鼻疾 | 27 | 14 | 13 | 5 | 3 | 2 | 7 | 4 | 3 | 8 |
| できもの | 54 | 25 | 29 | 27 | 12 | 15 | 7 | 5 | 2 | 6 |
| 外傷 | 64 | 25 | 39 | 20 | 5 | 15 | 14 | 3 | 11 | 12 |
| 扁桃腺 | 27 | 4 | 23 | 18 | - | 18 | - | - | - | - |
| その他 | 192 | 74 | 118 | 77 | 17 | 60 | 30 | 15 | 15 | 24 |
| 不明 | 54 | 22 | 32 | 16 | 4 | 12 | 17 | 4 | 13 | 9 |

注) 55表注)と同じ。

61表 疾病年少労働者の医療費負担状況

| 医療費負担 | | 計 | 100人以上 | 50～99 | 10～49 | 10人未満 |
|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 実数 | 計 | 1,634 | 604 | 378 | 522 | 130 |
| | 自雇分 | 248 | 68 | 78 | 108 | 30 |
| | 雇主分 | 85 | 16 | 7 | 31 | 31 |
| | 健康保険 | 4 | 2 | - | 2 | - |
| | 健康保険明 | 1,101 | 476 | 250 | 317 | 48 |
| 不健康 | 160 | 42 | 33 | 64 | 21 | |
| 比率 | 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| | 自雇分 | 17.4 | 11.2 | 20.6 | 20.7 | 23.1 |
| | 雇主分 | 5.2 | 2.6 | 1.9 | 5.9 | 23.8 |
| | 健康保険 | 0.2 | 0.4 | - | 0.4 | - |
| | 健康保険明 | 67.4 | 78.8 | 68.6 | 60.7 | 36.9 |
| 不健康 | 9.8 | 7.0 | 8.7 | 12.3 | 16.2 | |

注) 1. 55表注)と同じ。

2. 雇主負担85件のうち、5件は自分と雇主の両方で負担したものである。

3. 健康保険1,101件のうち、20件は自分と健保、3件は雇主と健保で負担したものである。

病名別疾病件数

| 料品工業 | | 金属工業 | | | 製材及び木製品工業 | | | 印刷及び製本業 | | | 計の比率 | | |
|--------|--------|------|--------|--------|-----------|--------|--------|---------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 100人以上 | 100人未満 | 小計 | 100人以上 | 100人未満 | 小計 | 100人以上 | 100人未満 | 小計 | 100人以上 | 100人未満 | 小計 | 100人以上 | 100人未満 |
| 98 | 128 | 232 | 111 | 121 | 155 | 45 | 110 | 146 | 62 | 84 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 7 | 3 | - | - | - | 1 | - | 1 | 8 | 5 | 3 | 1.5 | 2.8 | 0.8 |
| 26 | 32 | 75 | 36 | 39 | 43 | 10 | 33 | 58 | 19 | 39 | 31.2 | 29.4 | 32.1 |
| 4 | 20 | 27 | 12 | 15 | 18 | 6 | 12 | 13 | 5 | 8 | 11.8 | 9.9 | 12.7 |
| 7 | 18 | 16 | 3 | 7 | 16 | 4 | 12 | 8 | 2 | 6 | 6.7 | 6.2 | 7.0 |
| 10 | 13 | 30 | 10 | 20 | 18 | 5 | 13 | 14 | 3 | 11 | 11.7 | 11.9 | 11.5 |
| 13 | 8 | 22 | 10 | 12 | 13 | 6 | 7 | 12 | 5 | 7 | 8.4 | 9.7 | 7.7 |
| 3 | - | - | - | - | 1 | 1 | - | 3 | 2 | 1 | 1.4 | 1.7 | 1.3 |
| 1 | 3 | 6 | 2 | 4 | 5 | 2 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2.4 | 2.5 | 2.4 |
| 1 | 3 | 4 | 1 | 3 | 3 | - | 3 | 2 | 2 | - | 1.2 | 0.8 | 1.4 |
| 5 | 3 | 2 | 1 | 1 | 3 | 1 | 2 | 2 | - | 2 | 1.5 | 2.1 | 1.2 |
| 1 | 5 | 10 | 5 | 5 | 2 | - | 2 | 2 | 2 | - | 3.1 | 3.8 | 2.6 |
| 6 | 6 | 9 | 7 | 2 | 2 | - | 2 | 7 | 4 | 3 | 3.6 | 3.8 | 3.5 |
| - | - | 6 | 4 | 2 | 3 | - | 3 | - | - | - | 1.5 | 0.6 | 2.1 |
| 9 | 15 | 29 | 19 | 10 | 24 | 8 | 16 | 8 | 6 | 2 | 10.9 | 11.4 | 10.7 |
| 5 | 4 | 2 | 1 | 1 | 3 | 2 | 1 | 7 | 6 | 1 | 3.1 | 3.4 | 2.9 |

62表 就学年少労働者数

| 性及び就学者 | 計 | | | 100人以上 | | | 50～99 | | | 10～49 | | | 10人未満 | | | |
|--------|------------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|------|-----|
| | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | |
| 男 | A総数 | 5,556 | 4,145 | 1,411 | 1,690 | 1,493 | 192 | 1,164 | 926 | 238 | 2,052 | 1,368 | 684 | 650 | 353 | 297 |
| | B就学者数 | 1,884 | 1,573 | 261 | 995 | 882 | 113 | 811 | 274 | 37 | 428 | 342 | 86 | 100 | 75 | 25 |
| 女 | A総数 | 5,518 | 3,518 | 2,000 | 2,203 | 1,338 | 865 | 1,222 | 851 | 371 | 1,620 | 1,136 | 484 | 473 | 193 | 280 |
| | B就学者数 | 1,079 | 618 | 461 | 729 | 345 | 384 | 158 | 122 | 36 | 159 | 132 | 27 | 33 | 19 | 14 |
| 男 | B×100 A | 33.0 | 37.9 | 18.5 | 58.9 | 58.9 | 58.9 | 26.7 | 29.6 | 15.5 | 20.9 | 25.0 | 12.6 | 15.4 | 21.2 | 8.4 |
| 女 | B×100 A | 19.6 | 17.6 | 23.0 | 33.1 | 25.8 | 44.4 | 12.9 | 14.3 | 9.7 | 9.8 | 11.6 | 5.6 | 6.9 | 9.8 | 5.0 |

63 表 学校の種類別年少労働者数

| 学校の種類 | 計 | | | 100人以上 | | | 50～99 | | | 10～49 | | | 10人未満 | | | |
|-------|---------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-------|-----|----|----|
| | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | |
| 男 | 計 | 2,585 | 2,305 | 279 | 1,709 | 1,586 | 123 | 348 | 301 | 47 | 427 | 344 | 83 | 101 | 75 | 26 |
| | 技能者養成施設 | 741 | 589 | 152 | 570 | 489 | 81 | 67 | 59 | 8 | 78 | 33 | 45 | 26 | 8 | 18 |
| | 定時制高校 | 1,152 | 1,075 | 77 | 547 | 518 | 29 | 245 | 215 | 30 | 297 | 282 | 15 | 63 | 60 | 3 |
| | 通信教育 | 171 | 136 | 35 | 92 | 81 | 11 | 29 | 24 | 5 | 41 | 26 | 15 | 9 | 5 | 4 |
| | その他 | 521 | 505 | 15 | 500 | 498 | 2 | 7 | 3 | 4 | 11 | 3 | 8 | 3 | 2 | 1 |
| 女 | 計 | 1,067 | 607 | 460 | 717 | 380 | 387 | 158 | 122 | 36 | 161 | 133 | 28 | 31 | 22 | 9 |
| | 技能者養成施設 | 120 | 87 | 33 | 74 | 64 | 10 | 23 | 5 | 18 | 13 | 11 | 2 | 10 | 7 | 3 |
| | 定時制高校 | 269 | 256 | 13 | 125 | 120 | 5 | 79 | 73 | 6 | 61 | 59 | 2 | 4 | 4 | — |
| | 通信教育 | 57 | 29 | 28 | 35 | 15 | 20 | 8 | 5 | 3 | 11 | 8 | 3 | 3 | 1 | 2 |
| | その他 | 621 | 233 | 386 | 483 | 131 | 352 | 48 | 39 | 9 | 76 | 55 | 21 | 14 | 10 | 4 |

注) 就学者のみを対象とした。

64 表 定時制高校就学者数

| 就学者 | 計 | 100人以上 | 50～99 | 10～49 | 10人未満 | |
|-----|--------------------------|--------|-------|-------|-------|------|
| 男 | A 就学年少者 | 1,834 | 995 | 311 | 428 | 100 |
| | B 定時制高校就学者 | 1,152 | 547 | 245 | 297 | 63 |
| | $\frac{B \times 100}{A}$ | 62.8 | 55.0 | 78.8 | 69.4 | 63.0 |
| 女 | A 就学年少者 | 1,079 | 729 | 158 | 159 | 33 |
| | B 定時制高校就学者 | 269 | 125 | 79 | 61 | 4 |
| | $\frac{B \times 100}{A}$ | 24.9 | 17.1 | 50.0 | 38.3 | 12.1 |

注) 63表注)と同じ。

65 表 年少労働者の就学希望の有無

| 性及び就学希望 | 計 | 100人以上 | 50～99 | 10～49 | 10人未満 | |
|---------|--------------------------|--------|-------|-------|-------|------|
| 男 | A 計 | 3,722 | 695 | 858 | 1,624 | 550 |
| | B ゆきたい | 2,005 | 446 | 523 | 809 | 225 |
| | ゆきたくない | 1,717 | 247 | 330 | 815 | 325 |
| | $\frac{B \times 100}{A}$ | 53.9 | 64.5 | 61.3 | 49.8 | 40.9 |
| 女 | A 計 | 4,439 | 1,474 | 1,064 | 1,461 | 440 |
| | B ゆきたい | 3,068 | 1,100 | 735 | 960 | 273 |
| | ゆきたくない | 1,371 | 374 | 329 | 501 | 167 |
| | $\frac{B \times 100}{A}$ | 69.1 | 74.6 | 69.1 | 64.3 | 62.0 |

注) 非就学者のみを対象とした。

66 表 非就学の理由別年少労働者数

| 非就学理由 | 計 | | | 100人以上 | | | 50～99 | | | 10～49 | | | 10人未満 | | | |
|-------|----------|-------|-------|--------|-------|-----|-------|-----|-----|-------|-------|-----|-------|-----|-----|-----|
| | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | |
| 男 | 計 | 2,089 | 1,904 | 685 | 461 | 398 | 63 | 545 | 417 | 128 | 799 | 457 | 342 | 284 | 182 | 152 |
| | 時間がない | 642 | 384 | 258 | 105 | 94 | 11 | 151 | 106 | 45 | 271 | 137 | 134 | 115 | 47 | 68 |
| | 疲れる | 618 | 450 | 168 | 170 | 148 | 22 | 173 | 139 | 34 | 213 | 128 | 85 | 62 | 35 | 27 |
| | 雇主が許さない | 140 | 89 | 51 | 30 | 26 | 4 | 50 | 36 | 14 | 48 | 26 | 22 | 12 | 1 | 11 |
| | 家計が苦しい | 330 | 237 | 93 | 64 | 54 | 10 | 84 | 70 | 14 | 188 | 90 | 48 | 44 | 23 | 21 |
| | 近くに学校がない | 181 | 124 | 57 | 44 | 42 | 2 | 41 | 29 | 12 | 70 | 37 | 33 | 26 | 16 | 10 |
| | その他 | 178 | 120 | 58 | 48 | 34 | 14 | 46 | 37 | 9 | 89 | 39 | 20 | 25 | 10 | 15 |
| 女 | 計 | 3,352 | 2,013 | 1,339 | 1,219 | 719 | 500 | 847 | 542 | 305 | 1,027 | 652 | 375 | 259 | 100 | 159 |
| | 時間がない | 1,048 | 571 | 477 | 311 | 155 | 156 | 268 | 151 | 117 | 373 | 225 | 149 | 96 | 40 | 56 |
| | 疲れる | 889 | 611 | 278 | 369 | 242 | 127 | 230 | 176 | 54 | 286 | 169 | 67 | 54 | 24 | 30 |
| | 雇主が許さない | 146 | 73 | 73 | 58 | 31 | 27 | 40 | 23 | 17 | 45 | 16 | 29 | 3 | 3 | - |
| | 家計が苦しい | 564 | 367 | 197 | 206 | 129 | 77 | 148 | 95 | 53 | 175 | 123 | 52 | 38 | 20 | 15 |
| | 近くに学校がない | 483 | 245 | 238 | 177 | 102 | 75 | 119 | 65 | 54 | 124 | 69 | 55 | 63 | 9 | 54 |
| | その他 | 222 | 146 | 76 | 98 | 60 | 38 | 42 | 32 | 10 | 74 | 50 | 24 | 8 | 4 | 4 |

注) 非就学者のうち、就学希望のある者のみを対象とした。

67 表 非就学理由の比率

| 非就学理由 | 男 | | | 女 | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 計 | 通 勤 | 住 込 | 計 | 通 勤 | 住 込 |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 時間がない | 30.7 | 27.4 | 37.7 | 31.2 | 28.4 | 35.6 |
| 疲れる | 29.6 | 32.1 | 24.5 | 26.5 | 30.4 | 20.8 |
| 雇主が許さない | 6.7 | 6.3 | 7.4 | 4.4 | 3.6 | 5.5 |
| 家計が苦しい | 15.8 | 16.9 | 13.6 | 16.8 | 18.2 | 14.7 |
| 近くに学校がない | 8.7 | 8.8 | 8.3 | 14.4 | 12.2 | 17.8 |
| その他 | 8.5 | 8.5 | 8.5 | 6.6 | 7.3 | 5.7 |

注) 66表注)と同じ。

68 表 年少労働者の1ヵ月平均小遣額〔単位 円〕

| 性及び通勤住込 | 計 | 1,000人以上 | 500～999 | 100～499 | 50～99 | 10～49 | 10人未満 |
|---------|-----|----------|---------|---------|-------|-------|-------|
| 男 | 計 | 820 | 1,087 | 909 | 857 | 848 | 707 |
| | 通 勤 | 861 | 1,072 | 805 | 846 | 863 | 782 |
| | 住 込 | 700 | 1,317 | 1,200 | 961 | 785 | 554 |
| 女 | 計 | 712 | 917 | 824 | 780 | 615 | 687 |
| | 通 勤 | 697 | 906 | 739 | 728 | 628 | 675 |
| | 住 込 | 737 | 930 | 914 | 963 | 593 | 711 |

注) 小遣額とは年少労働者が教養娯楽のために使用する額であるが就学のための費用は除いた。

69表 小遣額別年少労働者

| 性及び小遣額 | 計 | | | 1,000人以上 | | | 500～999 | | | |
|--------|-------------|-------|-------|----------|-------|-------|---------|-----|-----|-------|
| | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | |
| 男 | 計 | 5,556 | 4,145 | 1,411 | 525 | 483 | 43 | 357 | 274 | 83 |
| | 100円未満 | 21 | 14 | 7 | 2 | - | 2 | 2 | 2 | - |
| | 100以上500未満 | 847 | 643 | 204 | 48 | 42 | 6 | 37 | 35 | 2 |
| | 500～1,000 | 1,384 | 988 | 396 | 102 | 99 | 3 | 77 | 60 | 17 |
| | 1,500～1,500 | 866 | 680 | 186 | 104 | 100 | 4 | 54 | 36 | 16 |
| | 1,500～2,000 | 295 | 221 | 74 | 59 | 59 | - | 22 | 6 | 14 |
| | 2,000～2,500 | 190 | 141 | 49 | 31 | 29 | 2 | 13 | 9 | 4 |
| | 2,500円以上 | 104 | 74 | 30 | 18 | 14 | 4 | 7 | 4 | 3 |
| | 不明 | 1,849 | 1,384 | 465 | 162 | 140 | 22 | 145 | 118 | 27 |
| | 平均 | 820 | 861 | 700 | 1,087 | 1,072 | 1,317 | 909 | 808 | 1,200 |
| 女 | 計 | 5,518 | 3,518 | 2,000 | 625 | 319 | 306 | 527 | 232 | 295 |
| | 100円未満 | 23 | 19 | 4 | 1 | 1 | - | 2 | 1 | 1 |
| | 100以上500未満 | 1,098 | 699 | 399 | 64 | 32 | 32 | 62 | 41 | 21 |
| | 500～1,000 | 1,391 | 884 | 507 | 139 | 82 | 57 | 152 | 90 | 62 |
| | 1,000～1,500 | 702 | 420 | 282 | 105 | 55 | 50 | 109 | 39 | 70 |
| | 1,500～2,000 | 202 | 117 | 85 | 43 | 18 | 25 | 30 | 10 | 20 |
| | 2,000～2,500 | 114 | 72 | 42 | 28 | 12 | 16 | 13 | 9 | 4 |
| | 2,500円以上 | 56 | 42 | 14 | 10 | 6 | 4 | 3 | 1 | 2 |
| | 不明 | 1,932 | 1,265 | 667 | 235 | 113 | 122 | 156 | 41 | 115 |
| | 平均 | 712 | 697 | 737 | 917 | 906 | 930 | 824 | 739 | 914 |

70表 年少労働者の読書の状況

| 読書の状況 | 計 | | | 100人以上 | | | 50～99 | | | 10～49 | | | 10人未満 | | | |
|-------|--------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | |
| 実数 | 計 | 11,074 | 7,653 | 3,411 | 3,893 | 2,835 | 1,057 | 2,386 | 1,777 | 609 | 3,672 | 2,504 | 1,168 | 1,123 | 846 | 577 |
| | 読む | 8,284 | 5,695 | 2,589 | 3,099 | 2,212 | 887 | 1,730 | 1,294 | 436 | 2,668 | 1,831 | 837 | 787 | 558 | 429 |
| | 全然読まない | 2,339 | 1,617 | 722 | 643 | 503 | 140 | 546 | 401 | 145 | 850 | 547 | 303 | 300 | 166 | 134 |
| | 不明 | 451 | 351 | 100 | 151 | 121 | 30 | 110 | 82 | 28 | 154 | 126 | 28 | 36 | 22 | 14 |
| 比率 | 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| | 読む | 74.8 | 74.3 | 75.9 | 79.6 | 78.0 | 83.9 | 72.5 | 72.8 | 71.6 | 72.7 | 73.1 | 71.7 | 70.1 | 65.6 | 74.4 |
| | 全然読まない | 21.1 | 21.1 | 21.2 | 16.5 | 17.7 | 13.2 | 22.9 | 22.6 | 23.8 | 23.1 | 21.8 | 25.9 | 26.7 | 30.4 | 23.2 |
| | 不明 | 4.1 | 4.6 | 2.9 | 3.9 | 4.3 | 2.9 | 4.6 | 4.6 | 4.6 | 4.2 | 5.1 | 2.4 | 3.2 | 4.0 | 2.4 |

数および1ヵ月平均小遣額

| 100 ~ 999 | | | 50 ~ 99 | | | 10 ~ 49 | | | 10人未満 | | |
|-----------|-----|-----|---------|-----|-----|---------|-------|-----|-------|-----|-----|
| 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 |
| 807 | 741 | 66 | 1,164 | 926 | 238 | 2,052 | 1,268 | 684 | 650 | 353 | 297 |
| 4 | 4 | - | 7 | 3 | 4 | 3 | 2 | 1 | 3 | 3 | - |
| 108 | 104 | 4 | 160 | 128 | 32 | 349 | 245 | 104 | 145 | 89 | 56 |
| 207 | 182 | 25 | 262 | 213 | 49 | 549 | 346 | 203 | 187 | 88 | 99 |
| 145 | 139 | 6 | 172 | 140 | 32 | 306 | 218 | 88 | 85 | 45 | 40 |
| 43 | 36 | 7 | 57 | 43 | 14 | 91 | 64 | 27 | 23 | 11 | 12 |
| 35 | 28 | 7 | 39 | 30 | 9 | 58 | 39 | 19 | 14 | 6 | 8 |
| 13 | 12 | 1 | 34 | 26 | 8 | 24 | 13 | 11 | 8 | 5 | 3 |
| 252 | 236 | 16 | 433 | 343 | 90 | 672 | 441 | 231 | 185 | 106 | 79 |
| 857 | 846 | 961 | 848 | 863 | 788 | 707 | 782 | 554 | 816 | 923 | 696 |
| 1,051 | 787 | 264 | 1,222 | 851 | 371 | 1,620 | 1,136 | 484 | 473 | 193 | 280 |
| 2 | 2 | - | 16 | 15 | 1 | 2 | - | 2 | - | - | - |
| 158 | 135 | 23 | 292 | 176 | 116 | 388 | 267 | 121 | 133 | 47 | 86 |
| 260 | 209 | 51 | 316 | 203 | 113 | 384 | 250 | 134 | 141 | 51 | 90 |
| 143 | 103 | 40 | 102 | 69 | 33 | 206 | 136 | 70 | 37 | 18 | 19 |
| 50 | 35 | 15 | 35 | 25 | 10 | 35 | 24 | 11 | 9 | 5 | 4 |
| 36 | 23 | 13 | 21 | 14 | 7 | 13 | 12 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| 12 | 7 | 5 | 15 | 12 | 3 | 14 | 14 | - | 2 | 2 | - |
| 390 | 273 | 117 | 425 | 337 | 88 | 578 | 433 | 145 | 148 | 68 | 80 |
| 780 | 728 | 963 | 615 | 628 | 593 | 687 | 675 | 711 | 514 | 564 | 483 |

71表 年少労働者の書物入手方法

| 書物入手方法 | | 計 | 100人以上 | 50 ~ 99 | 10 ~ 49 | 10人未満 |
|--------|-----------|-------|--------|---------|---------|-------|
| 実 数 | 計 | 9,115 | 3,347 | 2,007 | 2,902 | 859 |
| | 自分で買った | 3,003 | 983 | 718 | 1,035 | 272 |
| | 友達に借りた | 3,227 | 1,139 | 759 | 1,043 | 286 |
| | 工場の図書を借りた | 870 | 518 | 129 | 126 | 97 |
| | 図書館で借りた | 459 | 215 | 97 | 130 | 16 |
| | 貸本屋で借りた | 843 | 243 | 182 | 316 | 102 |
| | その他 | 501 | 182 | 86 | 157 | 76 |
| | 不明 | 212 | 65 | 41 | 95 | 10 |
| 比 率 | 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| | 自分で買った | 33.0 | 29.3 | 35.5 | 35.7 | 31.7 |
| | 友達に借りた | 35.4 | 34.0 | 37.8 | 35.9 | 33.3 |
| | 工場の図書を借りた | 9.5 | 15.5 | 6.4 | 4.3 | 11.3 |
| | 図書館で借りた | 5.0 | 6.5 | 4.8 | 4.5 | 1.9 |
| | 貸本屋で借りた | 9.2 | 7.3 | 9.1 | 10.9 | 11.9 |
| | その他 | 5.5 | 5.4 | 4.3 | 5.4 | 8.8 |
| | 不明 | 2.4 | 2.0 | 2.1 | 3.3 | 1.1 |

72 表 年少労働者の映画観賞回数

| 回数 | 計 | | | 100人以上 | | | 50～99 | | | 10～49 | | | 10人未満 | | | |
|----|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | 小計 | 通勤 | 住込 | |
| 計 | 11,074 | 7,663 | 3,411 | 3,893 | 2,836 | 1,057 | 2,386 | 1,777 | 609 | 3,672 | 2,504 | 1,168 | 1,123 | 546 | 577 | |
| 実数 | 月1回未満 | 335 | 240 | 95 | 130 | 96 | 34 | 75 | 51 | 24 | 101 | 77 | 24 | 29 | 16 | 13 |
| | 月1回 | 3,666 | 2,122 | 1,044 | 1,255 | 857 | 398 | 658 | 476 | 182 | 947 | 646 | 301 | 306 | 143 | 163 |
| | 月2回 | 3,333 | 2,357 | 976 | 1,090 | 839 | 251 | 688 | 539 | 149 | 1,186 | 815 | 371 | 369 | 164 | 205 |
| | 月3回 | 1,594 | 1,211 | 363 | 546 | 441 | 105 | 345 | 284 | 61 | 553 | 398 | 155 | 150 | 68 | 62 |
| | 月4回 | 894 | 642 | 252 | 345 | 255 | 90 | 214 | 161 | 53 | 257 | 181 | 76 | 78 | 43 | 33 |
| | 月5回 | 447 | 340 | 107 | 149 | 117 | 32 | 79 | 65 | 14 | 173 | 127 | 46 | 46 | 31 | 15 |
| | 月10回 | 40 | 30 | 10 | 14 | 12 | 2 | 12 | 9 | 3 | 8 | 4 | 4 | 6 | 5 | 1 |
| | 月10回以上 | 663 | 382 | 281 | 196 | 139 | 57 | 155 | 82 | 73 | 226 | 121 | 105 | 86 | 40 | 46 |
| | 月10回以上 | 602 | 339 | 263 | 168 | 80 | 88 | 160 | 110 | 50 | 221 | 138 | 86 | 53 | 14 | 39 |
| | 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 比率 | 月1回未満 | 3.0 | 3.1 | 2.8 | 3.4 | 3.4 | 3.2 | 3.1 | 2.9 | 3.9 | 2.7 | 3.1 | 2.1 | 2.6 | 2.9 | 2.2 |
| | 月1回 | 28.6 | 27.7 | 30.6 | 32.2 | 30.2 | 37.7 | 27.6 | 26.8 | 29.9 | 25.8 | 25.8 | 25.8 | 27.2 | 26.2 | 28.2 |
| | 月2回 | 30.1 | 30.8 | 28.6 | 28.0 | 29.6 | 23.8 | 28.8 | 30.3 | 24.5 | 32.3 | 32.5 | 31.8 | 32.9 | 30.1 | 35.5 |
| | 月3回 | 14.4 | 13.8 | 11.3 | 14.0 | 15.6 | 9.9 | 14.5 | 16.0 | 10.0 | 15.1 | 15.9 | 13.3 | 13.4 | 16.1 | 10.7 |
| | 月4回 | 8.1 | 8.4 | 7.4 | 8.9 | 9.0 | 8.5 | 9.0 | 9.1 | 8.7 | 7.0 | 7.2 | 6.5 | 6.9 | 8.2 | 5.7 |
| | 月5回 | 4.0 | 4.4 | 3.1 | 3.8 | 4.1 | 3.0 | 3.3 | 3.7 | 2.3 | 4.7 | 5.1 | 3.9 | 4.1 | 5.7 | 2.6 |
| | 月10回 | 0.4 | 0.4 | 0.3 | 0.4 | 0.2 | 0.2 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.2 | 0.2 | 0.3 | 0.5 | 0.9 | 0.2 |
| | 月10回以上 | 6.0 | 5.0 | 8.2 | 5.0 | 4.9 | 5.4 | 5.5 | 4.6 | 12.0 | 6.1 | 4.8 | 9.0 | 7.7 | 7.3 | 8.0 |
| | 月10回以上 | 5.4 | 4.4 | 7.7 | 4.3 | 2.8 | 8.3 | 6.7 | 6.1 | 8.2 | 6.1 | 5.4 | 7.3 | 4.7 | 2.4 | 6.9 |

注) 月1回未満というのは、2ヵ月に1回、1年に2～3回等というものである。

73 表 年少労働者の希望する文化体育活動

| 希望事項 | 男 | | | | | 女 | | | | | |
|------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|------|
| | 計 | 100人以上 | 50～99 | 10～49 | 10人未満 | 計 | 100人以上 | 50～99 | 10～49 | 10人未満 | |
| 計 | 7,896 | 2,982 | 1,508 | 2,710 | 696 | 9,646 | 3,995 | 2,246 | 2,590 | 815 | |
| 実数 | 図書 | 1,581 | 603 | 339 | 515 | 124 | 2,156 | 851 | 538 | 580 | 187 |
| | 貸出 | 1,254 | 512 | 227 | 419 | 96 | 2,231 | 900 | 492 | 658 | 176 |
| | 映画 | 934 | 277 | 220 | 349 | 88 | 719 | 250 | 209 | 192 | 68 |
| | 演劇 | 1,681 | 699 | 282 | 550 | 150 | 1,721 | 800 | 348 | 426 | 147 |
| | 演劇 | 197 | 115 | 22 | 54 | 6 | 430 | 202 | 150 | 58 | 20 |
| | 演劇 | 157 | 93 | 24 | 32 | 8 | 268 | 122 | 82 | 50 | 14 |
| | 演劇 | 344 | 148 | 64 | 107 | 25 | 449 | 196 | 98 | 122 | 33 |
| | 演劇 | 260 | 157 | 35 | 59 | 9 | 651 | 360 | 128 | 147 | 19 |
| | 演劇 | 120 | 29 | 32 | 37 | 22 | 183 | 42 | 54 | 81 | 6 |
| | 演劇 | 370 | 95 | 84 | 162 | 29 | 121 | 33 | 41 | 38 | 9 |
| 演劇 | 998 | 254 | 179 | 426 | 139 | 717 | 239 | 104 | 236 | 136 | |
| 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| 比率 | 図書 | 20.0 | 20.2 | 22.5 | 19.0 | 17.8 | 22.4 | 21.3 | 24.0 | 22.4 | 23.0 |
| | 貸出 | 15.9 | 17.2 | 15.1 | 15.5 | 13.8 | 23.1 | 22.5 | 22.0 | 25.5 | 21.6 |
| | 映画 | 11.8 | 9.3 | 14.6 | 12.9 | 12.6 | 7.5 | 6.3 | 9.3 | 7.4 | 8.3 |
| | 演劇 | 21.3 | 23.4 | 18.7 | 20.3 | 21.6 | 17.8 | 20.0 | 15.5 | 16.4 | 18.1 |
| | 演劇 | 2.5 | 3.9 | 1.4 | 2.0 | 0.9 | 4.5 | 5.1 | 6.7 | 2.2 | 2.5 |
| | 演劇 | 2.0 | 3.1 | 1.6 | 1.2 | 1.1 | 2.8 | 3.1 | 3.7 | 1.9 | 1.7 |
| | 演劇 | 4.4 | 5.0 | 4.2 | 3.9 | 3.6 | 4.7 | 4.9 | 4.4 | 4.7 | 4.0 |
| | 演劇 | 3.3 | 5.3 | 2.3 | 2.2 | 1.3 | 6.7 | 9.0 | 5.6 | 5.7 | 2.3 |
| | 演劇 | 1.5 | 1.0 | 2.1 | 1.4 | 3.2 | 1.9 | 1.1 | 2.4 | 3.1 | 0.7 |
| | 演劇 | 4.7 | 3.2 | 5.6 | 6.0 | 4.2 | 1.3 | 0.8 | 1.8 | 1.5 | 1.1 |
| 演劇 | 12.6 | 8.4 | 11.9 | 15.7 | 19.9 | 7.3 | 5.9 | 4.6 | 9.2 | 16.7 | |

74 表 年少労働者の希望する文化体育施設

| 施設 | 男 | | | | | 女 | | | | | |
|----------------------|------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
| | 計 | 100人以上 | 50~99 | 10~49 | 10未満 | 計 | 100人以上 | 50~99 | 10~49 | 10未満 | |
| 実数 | 計 | 7,476 | 2,486 | 1,599 | 2,537 | 854 | 7,290 | 3,223 | 1,715 | 1,767 | 583 |
| | 運動場 | 2,277 | 639 | 470 | 896 | 272 | 1,558 | 662 | 378 | 405 | 113 |
| | 図書館 | 1,969 | 756 | 402 | 611 | 200 | 1,895 | 923 | 505 | 290 | 177 |
| | 集会所 | 1,711 | 612 | 356 | 556 | 187 | 2,325 | 964 | 511 | 666 | 184 |
| | 公民館 | 545 | 253 | 111 | 133 | 48 | 545 | 231 | 122 | 156 | 36 |
| | その他 | 194 | 59 | 35 | 74 | 26 | 134 | 72 | 24 | 33 | 5 |
| 希望なし | 780 | 167 | 225 | 267 | 121 | 831 | 371 | 175 | 217 | 68 | |
| 比率 | 計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| | 運動場 | 30.5 | 25.7 | 29.4 | 35.4 | 31.9 | 21.4 | 20.5 | 22.0 | 22.9 | 19.4 |
| | 図書館 | 26.3 | 30.4 | 25.1 | 24.1 | 23.4 | 26.0 | 28.5 | 29.4 | 16.4 | 30.4 |
| | 集会所 | 22.9 | 24.6 | 22.3 | 21.9 | 21.9 | 31.9 | 29.9 | 29.8 | 37.7 | 31.5 |
| | 公民館 | 7.3 | 10.2 | 6.9 | 5.2 | 5.6 | 7.5 | 7.2 | 7.1 | 8.8 | 6.2 |
| | その他 | 2.6 | 2.4 | 2.2 | 2.9 | 3.0 | 1.8 | 2.2 | 1.4 | 1.9 | 0.8 |
| 希望なし | 10.4 | 6.7 | 14.1 | 10.5 | 14.2 | 11.4 | 11.6 | 10.3 | 12.3 | 11.7 | |
| 希望した年少労働者数 年少労働者数 | | 85.2 | | | | | 65.0 | | | | |

75表の1 年少労働者の自由意見（辛かった事、苦しかった事の有無）

| 意見の有無 | 実数 | | 比率 | |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| | 100人以上 | 100人未満 | 100人以上 | 100人未満 |
| 計 | 3,893 | 7,181 | 100.0% | 100.0 |
| あな無 | 1,989 | 2,856 | 51.1 | 39.8 |
| 記 | 1,407 | 3,166 | 36.1 | 44.1 |
| りし入 | 497 | 1,159 | 12.8 | 16.1 |

75表の2 年少労働者の自由意見（辛かった事、苦しかった事）

| 意見の内容 | 実数 | | 比率 | |
|-------|---|---|--------|--------|
| | 100人以上 | 100人未満 | 100人以上 | 100人未満 |
| 計 | 2,300 | 3,145 | 100.0% | 100.0 |
| 労働条件 | 153 4 38 34 20 6 21 12 1 17 | 364 3 34 114 98 30 14 18 6 47 | 6.6 | 11.5 |
| 労働環境 | 681 20 22 91 22 4 8 495 19 | 797 36 16 81 82 1 — 553 28 | 29.6 | 25.3 |
| 労働状況 | 593 146 3 206 35 29 9 21 99 16 29 | 776 185 7 311 44 30 29 42 105 47 25 | 25.7 | 24.7 |
| 人間関係 | 551 316 10 221 4 | 892 586 38 265 3 | 23.9 | 28.4 |
| 疲労、健康 | 227 28 155 44 | 224 25 154 65 | 9.9 | 7.1 |
| その他 | 95 11 54 18 8 4 | 92 6 70 9 2 5 | 4.1 | 2.9 |

76表の1 年少労働者の自由意見（心配な事の有無）

| 意見の有無 | | | 実数 | | 比率 | |
|---------|---|-------------|--------|--------|--------|--------|
| | | | 100人以上 | 100人未満 | 100人以上 | 100人未満 |
| あな 無 | 計 | り し 入 | 3,893 | 7,181 | 100.0% | 100.0 |
| | | | 1,707 | 2,437 | 43.8 | 33.9 |
| | 記 | 入 | 1,572 | 3,317 | 40.4 | 46.2 |
| | | | 614 | 1,427 | 15.8 | 19.9 |

76表の2 年少労働者の自由意見（心配な事）

| 意見の内容 | | | 実数 | | 比率 | |
|----------------|--|--|--------|--------|--------|--------|
| | | | 100人以上 | 100人未満 | 100人以上 | 100人未満 |
| 計 | | | 1,800 | 2,485 | 100.0% | 100.0 |
| 事業場に関するもの | 小 事 に 業 者 の 行 動 に 関 する もの | 計 が 閉 鎖 （解 雇） に 反 す る 時 分 の 地 位 試 験 不 安 和 私 給 | 986 | 1,448 | 54.8 | 58.3 |
| | | | 176 | 258 | 9.8 | 10.4 |
| | | | 40 | 78 | 2.2 | 3.1 |
| | | | 66 | 73 | 3.7 | 2.9 |
| | | | 7 | 2 | 0.4 | 0.1 |
| | | | 1 | 4 | 0.1 | 0.2 |
| | | | 39 | 13 | 2.2 | 0.5 |
| | | | 29 | - | 1.6 | - |
| | | | 449 | 788 | 24.9 | 31.7 |
| | | | 71 | 55 | 3.9 | 2.2 |
| | | | 42 | 38 | 2.3 | 1.5 |
| | | | 47 | 108 | 2.6 | 4.4 |
| | | | 19 | 31 | 1.1 | 1.2 |
| 健康をそこなう（病気になる） | | | 444 | 585 | 24.7 | 23.5 |
| 学業が遅れる | | | 49 | 46 | 2.7 | 1.9 |
| 家族等の病気 | | | 321 | 406 | 17.8 | 16.3 |

77表の1 転職を希望する年少労働者数

| 通勤・住込 | | 計 | | 100人以上 | | 100人未満 | |
|--------|--------|-------|-------|--------|-----|--------|-------|
| | | 計 | 通勤 | 住込 | 通勤 | 住込 | |
| 計 | | 3,889 | 2,809 | 1,203 | 836 | 2,686 | 1,973 |
| 通 住 | 勤 込 | 1,080 | | 367 | | 713 | |

77表の2 年少労働者総数に対する転職希望者の比率

| 通勤・住込 | | 計 | | 100人以上 | | 100人未満 | |
|--------|--------|------|------|--------|------|--------|------|
| | | 計 | 通勤 | 住込 | 通勤 | 住込 | |
| 計 | | 35.1 | 36.6 | 30.9 | 29.5 | 37.4 | 40.9 |
| 通 住 | 勤 込 | 31.7 | | 34.7 | | 30.3 | |

78表 転職を希望する理由

| 理 由 | 実 数 | | 比 率 | |
|------|--|--|--|---|
| | 100人以上 | 100人未満 | 100人以上 | 100人未満 |
| 合 計 | 723 | 1,743 | 100.0% | 100.0 |
| 労働条件 | 188 19 — 1 1 1 7 — 154 — — 1 — 2 1 — — | 601 86 16 — 18 8 15 1 406 5 5 16 1 8 7 — 7 1 1 | 26.0 2.6 0.1 0.1 0.1 0.1 1.0 — 21.8 — — 0.1 — 0.3 0.1 — — — | 34.5 4.9 0.9 — 1.0 0.5 0.9 0.1 23.3 0.3 0.3 0.9 0.1 0.5 0.4 — 0.4 0.1 0.1 |
| 労働環境 | 10 4 4 1 — 1 | 27 14 7 4 1 1 | 1.4 0.6 0.6 0.1 — 0.1 | 1.5 0.8 0.4 0.2 0.1 0.1 |
| 労働状況 | 206 2 16 26 24 3 121 14 | 371 28 41 49 39 13 183 16 | 28.5 0.3 2.6 3.6 3.3 0.4 16.7 1.9 | 21.3 1.6 2.4 2.8 2.2 0.7 10.5 1.0 |
| 健康疲労 | 72 25 47 — | 98 27 69 2 | 10.0 3.5 6.5 — | 5.6 1.5 4.0 0.1 |
| 人間関係 | 41 4 6 1 26 1 3 | 104 37 17 2 33 6 9 | 5.7 0.6 0.8 0.1 3.6 0.1 0.4 | 6.0 2.1 1.0 0.1 1.9 0.3 0.5 |
| その他 | 206 80 46 7 — 6 12 25 — 1 — 25 3 | 542 267 105 11 2 49 44 22 1 1 7 24 9 | 28.5 11.1 6.4 1.0 — 0.3 1.7 3.4 — 0.1 — 3.6 0.4 | 31.1 15.3 6.0 0.6 0.1 2.8 2.5 1.3 0.1 0.1 — 1.4 0.5 |

注) 転職希望者 3,889 人のうち理由を明記した 2,353 人について集計。

2 調査対象算出表

1 表 中小企業の産業別調査年少労働者数

| 産 業 | 100人未満の事業場の 年少労働者数 | 比 率 | 調査年少労働者数 |
|-------------|-----------------------|-------|----------|
| 計 | 243,065 | 100.0 | 7,300 |
| 紡 織 工 業 | 91,122 | 37.5 | 2,737 |
| 機 械 器 具 工 業 | 56,948 | 23.4 | 1,708 |
| 食 料 品 工 業 | 32,187 | 13.2 | 964 |
| 金 属 工 業 | 26,500 | 10.9 | 796 |
| 製材及び木製品工業 | 22,203 | 9.2 | 672 |
| 印刷及び製本業 | 14,105 | 5.8 | 423 |

注) 100人未満の事業場における調査年少労働者総数7,300人に、調査産業別年少労働者数の比率を乗じて算出。

2 表 中小企業の産業、規模別調査年少労働者数

| 産 業 | 計 | 10人未満 | 10人～49人 | 50人～99人 |
|---------------|-------|-------|---------|---------|
| 計 | 7,300 | 1,410 | 3,771 | 2,119 |
| 比 率 | 100.0 | 23.0 | 50.6 | 26.4 |
| 紡 織 工 業 | 2,737 | 629 | 1,385 | 723 |
| 比 率 | 100.0 | 20.5 | 54.2 | 25.3 |
| 機 械 器 具 工 業 | 1,708 | 350 | 926 | 432 |
| 比 率 | 100.0 | 18.9 | 46.2 | 39.9 |
| 食 料 品 工 業 | 964 | 134 | 445 | 385 |
| 比 率 | 100.0 | 19.9 | 57.1 | 23.0 |
| 金 属 工 業 | 796 | 158 | 455 | 183 |
| 比 率 | 100.0 | 9.9 | 49.2 | 40.9 |
| 製材及び木製品工業 | 672 | 67 | 330 | 275 |
| 比 率 | 100.0 | 17.0 | 54.4 | 28.6 |
| 印 刷 及 び 製 本 業 | 423 | 72 | 230 | 121 |

注) 産業別調査年少労働者数に事業場規模別の年少労働者数の比率を乗じて算出。

3 表 中小企業の都道府県、産業、

| 都道府県 | 紡織工業 | | | | 機械器具工業 | | | | 食料品工業 | | | |
|------|-------|-------|---------|---------|--------|-------|---------|---------|-------|-------|---------|---------|
| | 小計 | 10人未満 | 10人～49人 | 50人～99人 | 小計 | 10人未満 | 10人～49人 | 50人～99人 | 小計 | 10人未満 | 10人～49人 | 50人～99人 |
| 計 | 2,740 | 630 | 1,390 | 720 | 1,710 | 350 | 930 | 430 | 960 | 130 | 450 | 380 |
| 北海道 | - | - | - | - | - | - | - | - | 96 | 13 | 45 | 38 |
| 北群 | 274 | 48 | 139 | 72 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 埼 | 274 | 63 | 139 | 72 | 171 | 35 | 93 | 43 | - | - | - | - |
| 東 | 274 | 63 | 139 | 72 | 171 | 35 | 93 | 43 | 96 | 13 | 45 | 38 |
| 神奈川 | 274 | 63 | 139 | 72 | 171 | 35 | 93 | 43 | 96 | 13 | 45 | 38 |
| 新潟 | 274 | 63 | 139 | 72 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 長野 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 静岡 | 274 | 63 | 139 | 72 | 171 | 35 | 93 | 43 | 96 | 13 | 45 | 38 |
| 愛知 | 274 | 63 | 139 | 72 | 171 | 35 | 93 | 43 | 96 | 13 | 45 | 38 |
| 京都 | 274 | 63 | 139 | 72 | 171 | 35 | 93 | 43 | 96 | 13 | 45 | 38 |
| 大阪 | 274 | 63 | 139 | 72 | 171 | 35 | 93 | 43 | 96 | 13 | 45 | 38 |
| 兵庫 | 274 | 63 | 139 | 72 | 171 | 35 | 93 | 43 | 96 | 13 | 45 | 38 |
| 広島 | - | - | - | - | 171 | 35 | 93 | 43 | 96 | 13 | 45 | 38 |
| 福岡 | - | - | - | - | 171 | 35 | 93 | 43 | 96 | 13 | 45 | 38 |

4 表 大企業の都道府県、産業、

| 都道府県 | 紡織工業 | | | | 機械器具工業 | | | | 食料品工業 | | | |
|------|------|-----------|-----------|----------|--------|-----------|-----------|----------|-------|-----------|-----------|----------|
| | 小計 | 100人～499人 | 500人～999人 | 1,000人以上 | 小計 | 100人～499人 | 500人～999人 | 1,000人以上 | 小計 | 100人～499人 | 500人～999人 | 1,000人以上 |
| 計 | 30 | 10 | 10 | 10 | 30 | 10 | 10 | 10 | 30 | 10 | 10 | 10 |
| 北海道 | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | 1 | 1 | 1 |
| 北群 | 3 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 埼 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - |
| 東 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| 神奈川 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| 新潟 | 3 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 長野 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 静岡 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| 愛知 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| 京都 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| 大阪 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| 兵庫 | - | - | - | - | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| 広島 | - | - | - | - | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| 福岡 | - | - | - | - | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 |

規模別調査年少労働者数

| 金 属 工 業 | | | | 製材及び木製品工業 | | | | 印 刷 及 び 製 本 業 | | | | 計 | | | |
|---------|---------------|-----------------|-----------------|-----------|---------------|-----------------|-----------------|---------------|---------------|-----------------|-----------------|--------|---------------|-----------------|-----------------|
| 小 計 | 10人 未 満 | 10人 ～ 49人 | 50人 ～ 99人 | 小 計 | 10人 未 満 | 10人 ～ 49人 | 50人 ～ 99人 | 小 計 | 10人 未 満 | 10人 ～ 49人 | 50人 ～ 99人 | 小 計 | 10人 未 満 | 10人 ～ 49人 | 50人 ～ 99人 |
| 790 | 160 | 450 | 180 | 670 | 70 | 330 | 270 | 420 | 70 | 230 | 120 | 7,290 | 1,410 | 3,780 | 2,100 |
| - | - | - | - | 67 | 7 | 33 | 27 | 42 | 7 | 23 | 12 | 205 | 27 | 101 | 77 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 274 | 63 | 139 | 72 |
| 79 | 16 | 45 | 18 | - | - | - | - | - | - | - | - | 524 | 114 | 277 | 133 |
| 79 | 16 | 45 | 18 | 67 | 7 | 33 | 27 | 42 | 7 | 23 | 12 | 729 | 141 | 378 | 210 |
| 79 | 16 | 45 | 18 | 67 | 7 | 33 | 27 | 42 | 7 | 23 | 12 | 729 | 141 | 378 | 210 |
| 79 | 16 | 45 | 18 | - | - | - | - | 42 | 7 | 23 | 12 | 395 | 86 | 207 | 102 |
| - | - | - | - | 67 | 7 | 33 | 27 | - | - | - | - | 67 | 7 | 33 | 27 |
| 79 | 16 | 45 | 18 | 67 | 7 | 33 | 27 | 42 | 7 | 23 | 12 | 729 | 141 | 378 | 210 |
| 79 | 16 | 45 | 18 | 67 | 7 | 33 | 27 | 42 | 7 | 23 | 12 | 729 | 141 | 378 | 210 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | 42 | 7 | 23 | 12 | 583 | 118 | 300 | 165 |
| 79 | 16 | 45 | 18 | 67 | 7 | 33 | 27 | 42 | 7 | 23 | 12 | 729 | 141 | 378 | 210 |
| 79 | 16 | 45 | 18 | 67 | 7 | 33 | 27 | 42 | 7 | 23 | 12 | 729 | 141 | 378 | 210 |
| 79 | 16 | 45 | 18 | 67 | 7 | 33 | 27 | - | - | - | - | 413 | 71 | 216 | 126 |
| 79 | 16 | 45 | 18 | 67 | 7 | 33 | 27 | 42 | 7 | 23 | 12 | 455 | 78 | 239 | 138 |

規模別調査事業場数

| 金 属 工 業 | | | | 製材及び木製品工業 | | | | 印 刷 及 び 製 本 業 | | | | 計 | | | |
|---------|-------------------|-------------------|------------------|-----------|-------------------|-------------------|------------------|---------------|-------------------|-------------------|------------------|--------|-------------------|-------------------|------------------|
| 小 計 | 100人 ～ 499人 | 500人 ～ 999人 | 1,000 人 以上 | 小 計 | 100人 ～ 499人 | 500人 ～ 999人 | 1,000 人 以上 | 小 計 | 100人 ～ 499人 | 500人 ～ 999人 | 1,000 人 以上 | 小 計 | 100人 ～ 499人 | 500人 ～ 999人 | 1,000 人 以上 |
| 30 | 10 | 10 | 10 | 30 | 10 | 10 | 10 | 30 | 10 | 10 | 10 | 180 | 60 | 60 | 60 |
| - | - | - | - | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 9 | 3 | 3 | 3 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | 1 | 1 | 1 |
| 3 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | 9 | 3 | 3 | 3 |
| 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 18 | 6 | 6 | 6 |
| 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 18 | 6 | 6 | 6 |
| 3 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | 3 | 1 | 1 | 1 | 9 | 3 | 3 | 3 |
| - | - | - | - | 3 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | 3 | 1 | 1 | 1 |
| 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 18 | 6 | 6 | 6 |
| 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 18 | 6 | 6 | 6 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | 1 | 1 | 1 | 12 | 4 | 4 | 4 |
| 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 18 | 6 | 6 | 6 |
| 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 18 | 6 | 6 | 6 |
| 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | 12 | 4 | 4 | 4 |
| 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 15 | 5 | 5 | 5 |

3 調 査 票

事 業 場 調 査 票

| | | | | |
|---|-----|-----|---------|-------|
| 県 | 産 業 | 規 模 | 市 部・郡 部 | 調 査 者 |
|---|-----|-----|---------|-------|

1. 事 業 場 名 所 在 地
2. 産 業
3. 主要生産品名
4. 市 場 内 需 (%) 外 需 (%)
5. 仕事 of 忙しい時期 (年間)

〔雇 用〕

6. 労働者数 (31年4月現在)

| 計 | | | 18才以上 | | | 18才未満 | | |
|---|---|---|-------|---|---|-------|---|---|
| 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 |
| | | | | | | | | |

7. 家族従業者数 ()
8. 年少労働者の出身地
 自 県 (人) 他 県 (人) ……主な府県 ()
9. 年少労働者の定着状況 (30年1月～12月)

| 区 分 | 年少者数 | 3ヵ月未満 | 6ヵ月未満 | 6ヵ月以上 |
|-------|------|-------|-------|-------|
| 就 職 者 | | | | |
| 離 職 者 | | | | |

〔勞 働〕

10. 労働者名簿 有 無
11. 賃金台帳 有 無
12. 年令証明書 有 無
13. 就業規則 有 無
14. 労働時間 突働 (時間) 拘束 (時間) 休憩 (時間)
15. 休 日 有 月に (日) 週に (日) 無
16. 年次有給休暇 有 年に (日) 無

17. 賃 金

(31年4月)

| 区 分 | 総労働者 | | 18才以上 | | 18才未満 | | | |
|---------|------|---|-------|---|-------|---|-------|-------|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | | 通 勤 女 | 住 込 女 |
| | | | | | 男 | 女 | | |
| 現金給与総額 | | | | | | | | |
| 延出勤日数 | | | | | | | | |
| 延実労働時間数 | | | | | | | | |
| 支給労働者数 | | | | | | | | |
| 一人当り平均額 | | | | | | | | |

18. 初 任 給

| 区 分 | 賃 金 額 |
|-------|-------|
| 中 卒 | |
| 高 卒 | |
| 短 大 卒 | |
| 新 大 卒 | |

19. 技能者養成施設

- 有 { 基準法によるもの 単 独
 その他 共 同
 無

20. 災 害

(30年1月~12月)

| 区 分 | 総労働者 | | 18才以上 | | 18才未満 | |
|---------|------|---|-------|---|-------|---|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 休業 1~7日 | | | | | | |
| 休業 8日以上 | | | | | | |
| 死 亡 | | | | | | |
| 計 | | | | | | |

〔教育、福祉、厚生〕

21. 附属教育施設 有 { 各種学校()
 定時制高校
 その他()
 無
22. 夜間通学生に対する特典又は配慮
23. 教養娯楽施設 有 ()
 無
24. 体育施設 有 ()
 無
25. 医療施設 有 ()
 無

26. 健康診断 採用時 実施 実施しない
 定期的に 実施 実施しない
27. 厚生施設 食堂 有 無
 浴室 有 無
28. 住居施設 有 { 労働者の寄宿舎として独立の棟がある
 事業主の住居内に一定の部屋がきめてある
 事業場内に特定の部屋がきめてある
 その他
 無

29. 社会保険加入状況

| 区 分 | 加 入 | 非加入 | 申請の有無（5人未満） | 非 加 入 の 理 由 |
|--------|-----|-----|-------------|-------------|
| 健康保険 | | | 任意包括 | |
| 労災保険 | | | 任意適用 | |
| 失業保険 | | | 任意包括 | |
| 厚生年金保険 | | | 任意適用 | |

30. その他の施設

31. 地域的に公共の福祉教育施設をつくることについての雇主の意見

〔労働組合〕

32. 労働組合
-
- 有
-
- 無

〔その他〕

33. 年少労働者の不平不満等をどのようにして処理しているか

〔調査者の感想〕

34. 労働環境

35. 作業状況

36. その他

個人調査票

| | | | | | |
|---|----|----|-------|-------|-----|
| 県 | 産業 | 規模 | 市部、郡部 | 住込、通勤 | 調査者 |
|---|----|----|-------|-------|-----|

○ 男 ○ 女

- あなたの生れた年は 昭和 () 年
- あなたの出身県は () 県
- 両親はありますか ○ 尚親あり ○ 父だけ ○ 母だけ ○ 両親なし
- あなたの家の職業は ○ 農業 ○ 農業以外の職業
- 今のつとめ先にどの位つとめましたか () 年 () ヵ月
- ここにつとめる前はどのようにしていましたか
 学校へ行っていた 他のところへつとめていた
 家業を手つたつていた つとめ口がなくて
 よそへつとめる希望はなかつた
- だれのせいで今のつとめ先に入りましたか
 学校の紹介 職業安定所を通じて この雇主と親せきであるから
 知人のせいで 自分でみつけた
- あなたは通いですか住込ですか ○ 通い ○ 住込
- あなたの仕事の名前は何 ()
- それはどんなことをする仕事ですか、くわしく書いて下さい
()
- あなたの作業場には次のような点がありませんか
 危い機械や工具を使っている 作業場にほこり、じょうき、カス等がひどい
 きかいきぐその他のせつびがよくない 作業場が暑い
 材料又は取扱つてゐるものが不てきとうである (重すぎるなど) 作業場が悪い
 作業場が狭い 作業場がそうぞうしい
 作業場のせいとんがよくない その他 ()
 作業場が暗い
- いつも仕事にとりかかるのは何時ごろですか () 時
- いつも仕事が終わるのは何時ごろですか () 時
- いのこり (残業) はありますか
 なし あり……………1月に () 回位
- きまつた休み時間がありますか
 なし あり…………… () 分
- 休み時間は十分休めますか
 休める 休めない (どうして))
- 休日は月に何回、あるいは週に何回ありますか
1月に () 回 1週に () 回
- 年次有給休暇はありますか ○ しらない ○ あり ○ なし
- つとめはじめた時の賃金はいくらでしたか () 円
- 4月の賃金は手取りいくらでしたか () 円 ○ 1ヵ月の小遣 () 円
- 去年1年間に、仕事をして災害をうけたことがありましたか
 なし あり ある場合は仕事を休んだ災害について下の表にかき入れて下さい

| | 回数 | 費用はだれがはらいましたか | | |
|---------|----|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| 休業 1～7日 | | <input type="checkbox"/> 自分 | <input type="checkbox"/> 雇主 | <input type="checkbox"/> 労災保険 |
| 休業 8日以上 | | <input type="checkbox"/> 自分 | <input type="checkbox"/> 雇主 | <input type="checkbox"/> 労災保険 |

22. 去年1年間に病気をしたことがありましたか ある場合は休んだ日数の長いものからかいて下さい
 なし あり

| 病 気 の 名 前 | 休んだ日数 | 費用はだれがはらいましたか | | |
|-----------|-------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|
| | | <input type="radio"/> 自 分 | <input type="radio"/> 雇 主 | <input type="radio"/> 健康保険 |
| | | <input type="radio"/> 自 分 | <input type="radio"/> 雇 主 | <input type="radio"/> 健康保険 |
| | | <input type="radio"/> 自 分 | <input type="radio"/> 雇 主 | <input type="radio"/> 健康保険 |

23. あなたは自分のきめられた仕事以外の家事を云いつけられることがありますか あり なし

24. あなたは今学校に入っていますか

- 入っている { 技能者養成施設 定時制高校
 通信教育 その他 ()
 入っていない 学校にゆきたいと思いませんか
 ゆきたいがゆけない { 時間がない つかれる
 雇主がゆるさない 家計がくるしい
 近くに学校がない その他 ()
 ゆきたくない

25. あなたのつとめ先で、休み時間や仕事が終わってからどんなことが行われるとよいと思いませんか

- 図書の貸出 音楽(合唱、レコード) 運動会 映画会
 演 劇 演 げい 研究会 ダンス
 その他 () 希望なし

26. あなたの住んでいる近所で、スポーツや勉強、けいこ事等のためにどんなしせつ(施設)や建物がほしいですか

- 運動場 図書館 集会場(音楽、映画、演劇、けいこ等のできる場所)
 公民館 その他 ()

27. あなたがさい近よんだ本の名前と、その本を手に入れた方法を記して下さい

- 本をよんだ () 全ぜんよまない

手に入れた方法

- 自分でかった 友達にかりた 工場の図書をかりた
 図書館でかりた 貸本屋でかりた その他 ()

28. さい近どんな映画をみましたか ()

29. 1月に何回位、映画をみますか () 回

30. 今までみたうちの映画が面白かったですか ()

31. 最近のラジオや新聞のニュースで関心のあるのはどんなことですか

()

32. ここにつとめてから最もたのしかつたのはどんなことですか

()

33. ここにつとめてから最もつらかつたこと、くるしかつたことはどんなことですか

()

34. ここにつとめていて一番心配なことはどんなことですか

()

35. あなたは今のつとめ先に長くつとめるつもりですか

- すぐやめたい ほかによいところがあつたらかわりたい 長くつとめる
(どうして)

36. あなたは今の生活に希望がもてますか

- もてない もてる
(どうして)

37. 雇主や先ばいや労働組合などに対する希望や注文をかいして下さい

- 雇 主 ()
先 ば い ()
労働組合 ()

38. 職業安定所や労働基準監督署に対する希望や注文をかいして下さい

- 職 業 安 定 所 ()
労働基準監督署 ()

39. あなたが朝おきてから夜ねるまでどんな生活をしているのか下の〔例〕をよくみてかき入れて下さい

必ずかきこむこと………起きる時こく、ねる時こく、作業時間、休みの時間、食事時間、通勤時間
時間は例えば32分とゆうようにかかないで30分とし、15分を単位としてそれより少ない場合はいりません

(作業日)

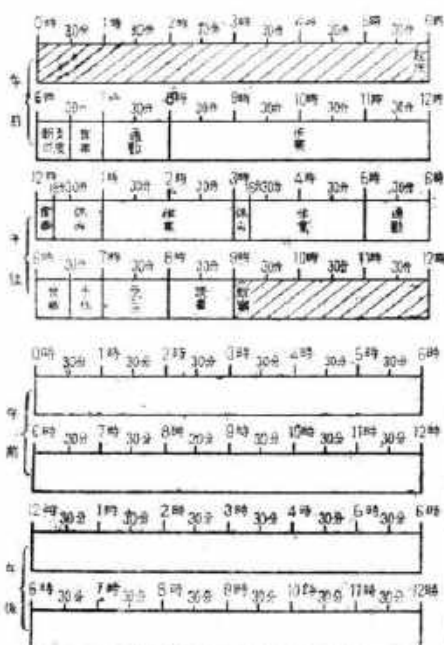
(休日)

昨日1日どうしてすごしましたか

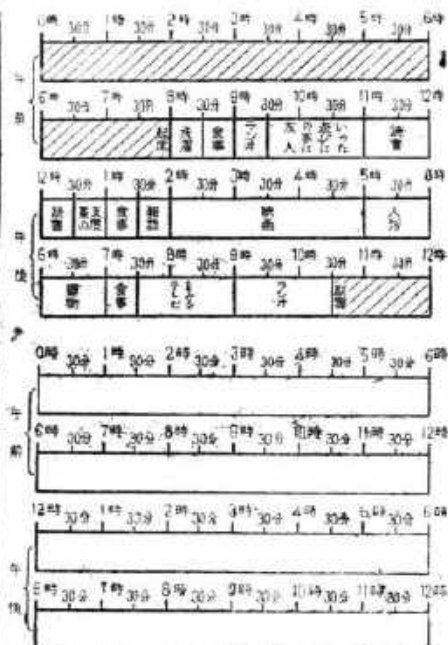
この前の休日は1日どうしてすごしましたか

(昨日が休日ならばその前の作業日)

〔例〕



〔例〕



調査項目の説明

番号は調査票の各項目別番号である。

I 事業場調査

1. 事業場の名称は正式の名称を記入する。
2. 産業は紡織工業、機械器具工業、食料品工業、金属工業、製材及び木製品工業、印刷及び製本業の6産業に分類して記す。
3. 主要生産品名は、主なものを挙げればよいが、加工修理のみの場合は主な加工、修理品名を挙げ、加工、修理の内容を簡単に記す。
4. 去年1年間の生産品の市場について、内需何%、外需何%とその概要を記す。
5. 年間を通じて多忙な時期と、その理由を簡単に記す。(季節的なものであるとか、発注の関係など)

〔雇用〕

6. ここで云う労働者とは、事業場における従業者全体を指し、重役や理事者であつても、事務職員を兼ねて一定の職種に従事し、一般職員と同じ給与規則によつて給与を受けとるもの、また家族従業者で賃金を受けているものはこれに含まれる。労働者数は31年4月末の賃金締切日における労働者数とし、18才未満の労働者とはこの時期に18才に満たない者をいう。
7. 事業主の家族で生産にたずさわつてゐる者があればその人員数を記す。
8. 年少労働者全員について、勤める前に住んでいたところが自県か、それとも他県かを記し、他県の者については、都道府県名を挙げる。
9. 30年1年間に新しく雇入れた年少者数と、その中で離職した年少者数を記し、後者の場合は更に勤めてから離職するまでの期間を3カ月未満、6カ月未満、6カ月以上の3段階に分け、夫々の年少者数を記す。

〔労働〕

10. 労働者名簿とは、労働者(日々雇入れられる者を除く)の氏名、生年月日、性別、本籍及び住所、従事する業務の種類、雇入れの年月日、解雇又は退職の年月日及びその事由、死亡の年月日及びその原因等を記した名簿で、その有無と存否を確かめる。名簿があつても不完全な場

合は無いものとする。

11. 賃金計算の基礎となる事項及び賃金の額、賃金支払状況等を記入した賃金台帳の有無と存否を確かめる。
12. 年令証明書とは満18才未満の労働者の年令を証明する戸籍証明書であつて、備付の有無とその存否を確かめる。
13. 常時10人以上の労働者を使用する事業場では労働時間、休日、賃金の決定及び支払、退職、食費等の負担の定、安全衛生の定、災害補償等々の事項について就業規則を作成しなければならないのでその有無と存否を確かめる。
14. 実働時間～所定の通常の労働時間数を記入する。季節、職場によつて異なる時はラン外に記載する。
拘束時間～所定の始業から終業までの時間数で季節、職場によつて異なる時はラン外に記載する。
休憩時間～休憩時間数を記入する。一斉に与えていない場合はその旨をラン外に記す。
15. 所定の休日について有無および回数を1月、或は、1週に何回と記入する。
16. 年次有給休暇——労働基準法で決められている休暇であり、第39条による。この休暇の有無及び日数を記す。

17. 賃金

この項目は賃金台帳、支給原簿等によつて記入する。31年4月の最終賃金締切日からさかのぼつて前月の最終賃金締切日の翌日までの1カ月間を対象とする。したがつて、この期間中に賃金の支払が何度行われても、調査対象期間は1カ月とする。

現金給与総額とは1カ月間の「きまつて支給する給与」で、労働者の行つた労働に対し、或は労働者の状態に従つて、労働契約、団体協約、事業場の給与規則等によつてあらかじめ定められている支給条件、算定方法によつて支給される給与のことである。

〔例〕基本給、勤続給、能率給、超過勤務手

当、深夜作業手当等々（実物給与は除く）

賃金遅配の場合は計算上の賃金額を記す。

この金額は、所得税、保険料、貯金、組合費、購買代金等を差引く以前の額で、労働者が納付すべき所得税、社会保険料等を事業場が負担して支払う時はそれも加算されることになる。

延出勤日数とは、調査期間中における全労働者の実際の出勤日数の合計である。1時間でも就業した場合は出勤とみなす。延実労働時間数とは、調査期間中における全労働者の実際の労働時間数の合計である。

1人当り平均額＝ $\frac{\text{現金給与総額}}{\text{支給労働者数}}$

18. 初任給規定がある場合に、学歴別の初任給額を記す。

19. 技能者養成施設の有無と、有る場合はそれが技能者養成規程によるものかどうか、又単独養成か共同養成かを記す。

20. 30年1年間の休業災害について、休業1～7日、休業8日以上、死亡の3段階別に、性別、年齢階級別件数を記す。

〔参考〕労働基準監督署に提出した労働基準法施行規則様式26号（一、二）の書類の写し参照。

21. 事業場附属の教育施設があるときは、その種類を記す。各種学校（学校教育法にもとづくもので知事が認可する）のときはその内容を記す。

22. 夜間通学生の為に作業時間を早く切上げる等の配慮が払われているときは具体的に記す。

23. 教養娯楽施設については、講堂、図書室、談話室等の固定施設、蓄音機、ミシン、碁盤、茶道の道具等の器具の例を挙げその有無をたずねるが、事業場の実状に応じたきき方を望ましい。

24. 体育施設として総合運動場、テニスコート、卓球室等の固定施設、ラケット、ボール等の器具の例を挙げて有無をたずねる。

25. 医療施設は、診療所、休養室、医師、保健婦、看護婦の有無等から救急箱ぐらいしかない場合までいろいろの場合が考えられるが、やはり事業場に適した質問の仕方をする。

26. 常時50人以上の労働者を使用する事業場においては雇入れの際と毎年1回以上健康診断を実施することが労基法により義務づけられている

が、法規に関係なく、実際に健康診断が雇入れの際或は定期に行われているかどうかみるものである。

28. 住込の労働者がいるとき、どのような住居の状態にあるかみるものである。

29. 健康保険、労災保険、失業保険、厚生年金保険の加入状況および非加入の理由をフン内に記す。なお、強制適用以外の場合の申請の有無も調べる。

30. その他の施設とは、乳児室等の母子保護の施設、その他前項に入らないものをさす。

32. ここで云う労働組合とは、事業場における単一の組合の事である。

〔調査者の感想〕

調査者の感想は、特に年少労働者の問題にかぎらず事業場を視察した後の総合的な意見として書く。

34. 労働環境～建物、設備、採光、通風、ガス、塵芥の有無、その他

35. 作業状況～どんな状態で労働しているか、精神的、物質的両面からみる。

36. その他～自由な感想をかく

Ⅱ 年少労働者個人調査

2. 出身県とは、採用直前の在住県をさす。

3. 該当の項目を（ ）で囲む。

4. 家の職業とは、年少労働者の家族が、主として、それにより生計をたてている仕事のことをさす（大部分は、父母又は兄が従事している職業）。

5. 現在の事業場につとめてからの勤務年数を記す。

6. 該当の項目に（ ）をする。家業を手伝っていた者は必ず、就職できないためか、家業を希望したのか、どちらかの項目に（ ）をする。前者の場合は失業或は潜在失業を意味する。

7. 該当する項目を（ ）で囲む。

この項の目的は、主として縁故関係の有無をみることにある。

9. 仕事の名は、その地方や事業場の通称でよい。また時により仕事が変わるという者もあるが、その場合は臨時的なものを除き、主として従事している仕事を記入する。その産業の職種名を例示して説明する。

10. なるべく具体的に、機械、材料、製品名をあ

- けて説明する。
11. 該当する項目全部を()で囲む、数は限らない。その他は具体的に記入するよう説明する。
 12. 早出とか、残業など、特別の時でなく、四季
 13. を通じて最も多く、仕事にかかり、仕事を終る時刻をかく。
 14. この場合の残業は、特別に忙しい時や、暇な時のことでなく四季を通算した一般的なものをいう。
 15. 休憩時間のある者については、一日の休憩時間を合計して記入する。
 16. きめられた休憩時間は年少労働者にとって自由な時間でなければならない。この項は、その点についての質問である。
 17. 各事業場で決められている休日である。
1月に何回或は週休のときは1週に何回と何れかに記入する。
 18. 年次有給休暇——事業場調査参照
 19. 見習、技能者養成等に関係なく、つとめてから一番はじめに受取った賃金(手取り)
 20. 手取り賃金とは、税金、保険、食費、その他をひいて実際に本人の手に入った賃金をいう。
月平均の小遣額を記入する。
 21. 業務上の災害にかきる——業務上とは業務に原因してという意味であつて、その負傷は、業務と因果関係がなければならぬ。即ち、(1)就業場所であること、(使用者の依命で出張の場合は、出発地から目的地に至る順路も含む)。(2)就業時間であること、(使用者の依命で出張の場合は出発地から目的地に至る順路も含む)。(3)就業中であること(使用者の依命で出張の場合は出発地から目的地に至る順路を含む)従つて、出勤途中の事故は、使用者が福利施設等の特定交通機関によつて通勤させている場合は業務上とする。又、休憩時間中の災害も、事業場の設備の不完全ないし労務管理上の不注意による災害については業務上とする。
 22. 病氣——業務上とかぎらず、すべての病氣について記入する。
 23. この項は本来の業務の外に家事等の私用につかわれることがあるかどうかみるものである。従つて家事について説明し、()で項目を囲む。
 24. 学校に入っていない者については、行きたいか、行きたくないのかを記し、行きたい者は更に行けない理由の該当項目を()で囲むように説明する。いくつ()をつけても構わない。
 25. 日頃年少労働者がしたいと思つていることで実現の可能性のないようなことであつても、思つたまま欄に()印をつける。数は幾つあつてもよい、その他の場合は具体的に()の中にかく。
 26. 自分の住んでいる近所に設置を希望する公共施設や建物についての質問で(この場合も25と同じに実現の可能性を考える必要はない)これも希望するだけ()で囲み、例にないものは「その他」に記入する。
 27. 「最近」という言葉にこだわることなく、少し位前に読んだものでもよく、読んだ人は、手に入れた方法を()で囲む。
 28. この「最近」も27.と同じ。映画の題名を書く。どんなものでも恥かしがらずに書くように指導する。
 29. 1カ月を通算した程度のだいたいの回数
 30. 憶えているかぎりで面白かつたと思つた映画の名を書く。一つにかぎらず面白かつた映画がたくさんあれば幾つ書いてもよい。
 31. 年少労働者の社会的関心の程度をみるもので、例を挙げて年少者の回答をひきだすよう努力する。
 32. 33. 34. 例をおけて説明する。
 35. 該当項目を()で囲み、どの場合もその理由を具体的に記入する。
 36. 希望がもてない者、もてる者何れもその理由を書く。
 37. どんな細かい事でもよい。こうであつて欲しい、こうして欲しいと思つている事を、具体的に書くように説明する。労組がない場合は記入しなくてよい。
 38. 職業安定所、労働基準監督署の役目を説明し、できるだけ書いてもらう。
 39. 調査票に書いてあつても、もう一度〔例〕をよく説明し、黒板等のある場合には、図を書きながら説明する。表左側は作業日の生活であり、右側は、休日の生活である。又〔例〕に影響されないように注意する。

Ⅱ 年少労働疲労調査

労働省産業安全研究所

白 井 一 寿

後 藤 千 秋

(一) 調査の目的

今度の年少労働実態調査は年少労働者の保護福祉対策の基礎資料を得るために行われたものであるが、この種調査には調査者による調査、事業場における観察、質問等による調査及び被調査者に対する質問紙による調査等の他に、いわゆる労働科学的調査が行われることによつて、調査が科学的裏づけを得て一層信頼度の高いものとなる。

そこでこれら被調査者に対する労働負荷の一面を表わすと見られる疲労の調査を行うことになつた。調査は勿論実態調査に並行して多数行われることが望ましいが、調査者、調査日数、時期、調査事業場等の諸条件による制約のため、東京都内の紡織工業、機械器具工業における大規模事業場、中小規模事業場（いずれも年少労働実態調査対象事業場）各々1事業場を選んで行つた。

表の1 調査の対象

| 事業場名 | 総労働者数 | (性別)被検者数 | 職 種 |
|-------|-------|----------|------------------------------|
| H 製作所 | 2,177 | (M) 37 | 鋳物、製缶、旋盤、仕上組立 |
| K 紡績 | 617 | (F) 28 | 精紡リング、精紡ミニール、経通、緯巻、織機台持、機布準備 |
| S 工業 | 74 | (M) 16 | 組立、板金 |
| 〃 | | (F) 10 | 組立 |
| T 糸業 | 28 | (F) 10 | はぐし、練湯、カセ仕上、コード巻、ガス焼 |

注) M……男子 F……女子

(二) 調査の方法

1. 調査種目

労働疲労の調査測定には種々のものが考えられ行われているが、本調査には

(1) 他覚的測定として生理心理学的検査である
ちらつき値の測定

(2) 内観による調査として心理学的調査である
疲労の自覚症状調査

を採用した。

2. 被検者

被検者は大規模事業場については

H製作所、K紡績会社

中小規模事業場については

S工業会社、T糸業会社

における年少労働者（18才未満の男女）を対象とした。その職種、人員は表の1の通りである。

3. 調査日時

S工業 31年7月2日～7日（6日間）

K紡績 7月9日～14日（6日間）

H製作所 7月17日～21日（5日間）

T糸業 7月23日～28日（6日間）

上記期間中毎日午前作業前、午前作業後、午後作業後に調査測定をした。以下解説或は図において前、中、後の記号を付けているのはこの測定時を示している。なおK紡績においては、いわゆる遅番勤務者をつつたために夫々の測定時は午後1時45分の前、午後6時30分直後、同10時30分直後に測定した。

4. 被検者の作業環境条件

温湿度、照度、騒音、じん埃等の環境条件が個々に測定されることは望ましいが、調査側の人員、器材等の関係で一切割愛した。参考までに測定期間中の温湿度を表の5にのせる。

観察によれば大規模事業場は概して明るく、これに反し中小規模事業場は暗い。作業音はK紡績においては稍大きい。

一般労働条件として大規模事業場においては、厚生、休養施設が整備されているが、小規模事業場では名目ばかりか或は殆んど無いといつてよい位である。

K紡績を除く外すべて通勤者であつて始業、終業時刻は大概午前8時、午後5時、実働8時間、拘束9時間であつて、その内H製作所は実働7時間30分である。又同事業場の被検者は養成工であるため労働時間中一部座学による教習時間を合んでいる。

なおK紡績では遅番早番の一週間交替制勤務であることは前記3.のとおりである。

5. 調査の実施

3.に述べた時刻において被検者毎に労研式フリッカー値測定器によりちらつき値Flickering Frequencyを測定し、同時刻に自覚的症狀調査表(附表一日本産業衛生協会産業疲労委員会)によつて応答させた。

調査場所は工場の休息室、教室、会議室等を当てたが小規模事業場においては施設の不備から完全に被検者を隔離できない向きもあつた。

(三) 調査の結果と考察

1. ちらつき値の測定

人間の精神及び肉体的活動を統御している大脳中枢神経系の状態を視覚におけるそれと平行的变化からみられることは、発生学的に又は脳波変化などから裏づけられる。

そこでちらつき値を測定して、その閾値の作業経過による変化をみることによつて、大脳機能の状態から、疲労状態を判断するわけである。

なお本測定に用いたちらつき値は下降法、即ち頻度減少によりちらつきを感じたときの頻度を採用した。

説明或は図表中のH, K, S, Tは(付)の2に述べた調査事業場の略号であつて、Mは男子Fは女子をさす。例えばT, FはT糸業の女子を意味し、HK, MFはH製作所とK紡績の男女全員つまりこの場合大規模事業場被検者全員である。

(1) 事業場別男女別ちらつき値の逐日変化

イ、図Iの1.は中小規模事業場における被検者の作業前後週間経過である。

一般にちらつき値の逐日的変化は週末に向つて低下してゆくものであるが、この場合は逆に上昇している。但し測定第1日つまり休日明けの日は検査に対する不馴れと休日因子が入るため何れの場合も信頼がで

きない。

この図から判断できる特徴はT, Fは他に比較し一番疲労性が少ないといえる。T, Fの作業は立作業であるが観察ではさ程労働強度が大であるともみられず(この事業場以外は全て繁忙期)且、午前、午後各10分間休憩が与えられていることが相当因子として働いていると考える。

S, Mに比較してS, Fの方が高いのはS, Fは座位作業(組立)のみでありS, Mには5名の立作業(板金)が交つているためと考えられる。

■ 図Iの2は大規模事業場における結果である。図中K, Fの第3日の作業前値が欠けているのは測定器故障のため測定できなかったものであり、また第2日作業後値も測定器不調のため信頼できない。なおH, Mは5日間測定のため第6日はない。

この両群では中小規模事業場と同様、測定第1日は切り捨てるとして週日経過を見るとK, Fでは週末に向い低下してゆくがH, Mでは上昇型をとつている。これは思ふにH, Mでは実働時間の短いことと作業内容(付)の4参照)によるものであろう。

ハ、図Iの3は大規模事業場と中小規模事業場夫々の平均ちらつき値を比較したものである。HK, MFでは大体下降型を示しT, S, MFでは上昇型を示している。HK, M, Fの方が測定日を通して全体のちらつき値が高い。即ち中小企業の方が大企業に比較して疲労が大きいとみられるものである。

なお両群のこの値について差の検定をした。図中C, R.がその数値である。その結果は

C, R. > 3 危険率 1%以下 10個

C, R. > 2 危険率 5%以下 4個

であつて測定値18個中14個について有意の差が見られた。週日経過が上昇型をとる理由は勤務条件、生活条件等から来ると考えられるが決定的なことは今回の調査だけでは不明である。

比較的定型経過をとつたK, Fについては勤務条件、生活条件その他集団の体格体質等にわたつてかなり規制と等質性があつ

たためと思われる。

2. 自覚的症狀調査

産業疲労は精神的であると同時に肉体的であり且中枢性のものであるから、その状態の変化を内観により、つまり疲労感としての表われ方を質問紙法によつて数量的判定をしたのがこの調査である。

(1) 各大項目頻度の相関

この調査でいう大項目頻度とは自覚的症狀調査表におけるA, B, C夫々の欄に対し被検者が訴えた度数割合をさし、次式によつて求める。

$$\begin{aligned} & \text{A項目, B項目, C項目夫々の頻度(\%)} \\ & = \frac{\sum (\text{訴えた項目})}{10 \times \text{被検者数}} \times 100 \end{aligned}$$

イ、図Ⅰの1,2,3はA, B, C各項目間の頻度の相関を表わしたものであつて図中Ⅰ, Ⅱ, Ⅲの数字は測定日をさす。又測定日の数値は(前+中+後)÷3である。

図ⅠのⅠ(S.MとH.Mの比較)についてみると

S.Mに比しH.Mでは身体的症狀は訴えが多いことを示している。しかしH.Mでは神経感覺的症狀の変動の幅についてみるとS.Mに比較し小さいことが特徴である。S.Mの第1日を除けば総体に症狀は変動していないがH.Mの方が稍身体的症狀について変化があることを示している。

従つてH.Mつまりこの場合の大規模事業場の方が筋肉的の疲労感は中小規模事業場に比較し大きい。しかし精神的神経感覺的疲労感は両者同程度であつて且ちらつき値(図Ⅰの1.2)はH.Mが却つて高いことは職種からくる差であろう。

ロ、図Ⅰの2(T.FとK.Fの比較)についてみると

T.Fの方がK.Fに比較し身体的症狀については特に変動が大きく又訴えの頻度が高い。又精神的症狀、神経感覺的症狀についても変動の幅がかなりあり、その頻度もK.Fに比較し高い。ちらつき値(図Ⅰの1,2)と対応している。

従つて中小規模事業場の方が大規模事業場に比較して身体的疲労感は勿論のこと精

神的、神経感覺的疲労感が大きいことが示されているわけである。

又図Ⅰの1,2を通じてみると男子より女子の方が身体的症狀について格段に、精神的神経感覺的症狀については、特に精神的の方が頻度が高い。同年令層の年少労働者について男子と女子の精神的特性を表わしているといえよう。

ハ、図Ⅰの3は大規模事業場と中小規模事業場の比較である。頻度差の大きい男女被検者群が一緒にされたためと職場差があるため、夫々の性格をあまり表わしていないが、両群を通じて、第1日目の頻度が相対的に高いことは、休日明け労働がかなりこたえることを示している。ちらつき値はそれ程低くない、つまり他覚的には休日による疲労が恢復した程度までに自覚的には恢復していないで寧ろ訴えが大きいというわけである。

(2) 自覚的症狀の評点

イ、各大項目の評点

2の(1)に述べた大項目間、つまり身体的症狀と精神的症狀、身体的症狀と神経感覺的症狀の比較について、その度を評点化したものが表2である。同表中頻度段階とは自覚症狀の程度、いかえれば肩がこる、気がちる、めまいがする等々全体の疲労の訴えが多いか少ないかを示すものであつて、数値の5は平均位であり、5より10に向い頻度が高く、5より1に向い頻度が低くなるように10段階にしたものである。

表の2のA:B, A:Cは夫々身体的症狀に対する精神的症狀の、身体的症狀に対する神経感覺的症狀の頻度を評点化したもので、0を中心とし、+5に向つては身体的症狀或は神経感覺的症狀が多い場合の程度を、-5に向つてはこの逆の場合を意味している。

従つて同表と図Ⅰの1,2,3とを照合すれば各被検者群の特徴がわかる。

ロ、各症狀群内の各項目頻度の評点

調査表のA, B, C各欄の10項目のうちどれが訴えが多いか少ないかを知るために下記の式を使つて頻度を出す。

表の2 身体的、精神的、神経感覚的症狀
頻度評点

| 被検者種別 | 頻度段階 | A : B | A : C |
|--------|------|-------|-------|
| T. F | 7 | - 1 | - 3 |
| S. M | 2 | + 2 | + 2 |
| S. F | 3 | + 2 | - 2 |
| T.S. F | 5 | - 3 | - 2 |
| TS. MF | 4 | + 1 | - 2 |
| H. M | 3.5 | - 2 | - 3 |
| K. F | 5 | - 1 | - 2 |
| HK. MF | 4 | - 1 | - 3 |

表の3 小項目頻度評点

| 被検者種別 | 同人員 | | | | | | | | | |
|------------------|------|------|------|---------|----------|------|------|--------|---|--|
| | T. F | S. M | S. F | T. S. F | T. S. MF | H. M | K. F | HK. MF | | |
| 症状項目 | 10 | 16 | 10 | 20 | 36 | 37 | 28 | 65 | | |
| A 身体的 症状 | 1 | 6 | 1 | 5 | 6 | 4 | 3 | 4 | 3 | |
| | 2 | 10 | 2 | 10 | 10 | 7 | 2 | 4 | 3 | |
| | 3 | 10 | 2 | 3 | 7 | 4 | 6 | 7 | 7 | |
| | 4 | 4 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | |
| | 5 | 4 | 1 | 1 | 3 | 2 | 1 | 2 | 2 | |
| | 6 | 6 | 2 | 2 | 4 | 4 | 1 | 1 | 1 | |
| | 7 | 8 | 1 | 1 | 5 | 3 | 4 | 6 | 5 | |
| | 8 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | 9 | 3 | 2 | 3 | 3 | 2 | 3 | 3 | 3 | |
| | 10 | 5 | 10 | 0 | 3 | 6 | 1 | 10 | 9 | |
| 平均 | 5.8 | 2.3 | 2.8 | 4.5 | 3.5 | 2.5 | 4.1 | 4.4 | | |
| B 精神的 症状 | 1 | 5 | 1 | 7 | 6 | 4 | 2 | 3 | 2 | |
| | 2 | 3 | 1 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 3 | |
| | 3 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 3 | 2 | |
| | 4 | 7 | 2 | 2 | 4 | 3 | 1 | 3 | 2 | |
| | 5 | 10 | 3 | 6 | 8 | 6 | 5 | 6 | 5 | |
| | 6 | 6 | 3 | 4 | 5 | 4 | 2 | 1 | 1 | |
| | 7 | 4 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | |
| | 8 | 5 | 2 | 1 | 3 | 3 | 5 | 1 | 3 | |
| | 9 | 0 | 3 | 0 | 0 | 2 | 1 | 4 | 2 | |
| | 10 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 8 | 5 | |
| 平均 | 4.2 | 2.0 | 2.7 | 3.5 | 2.8 | 2.1 | 3.3 | 2.6 | | |
| C 神経感覚的 症状 | 1 | 6 | 2 | 2 | 4 | 3 | 2 | 6 | 5 | |
| | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | |
| | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | 4 | 7 | 1 | 1 | 4 | 3 | 1 | 3 | 2 | |
| | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | |
| | 6 | 1 | 5 | 10 | 6 | 6 | 2 | 2 | 2 | |
| | 7 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | |
| | 8 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | |
| | 9 | 7 | 1 | 0 | 4 | 2 | 1 | 3 | 2 | |
| | 10 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | |
| 平均 | 2.6 | 1.9 | 1.7 | 2.3 | 2.0 | 1.0 | 2.1 | 1.8 | | |

A項目の1の頻度 (%)

$$= \frac{\text{訴えた数}}{\text{被検者数}} \times 100$$

これで各被検者群について測定日、時刻小項目別の頻度が算出できる。

各項目頻度を各被検者群別に平均値を評点化したものが表の3である。各項目の改値がその平均と比較して差の甚しいものは特にその項目の訴えが多い。つまりその項目の症状を呈し或は感じたものである。

被検者群を通じて身体的症状においては、2,3の項目の訴えが多く、又ある被検者群では10の項目の訴えが多い。精神的症状では1の項目が比較的多い。

その他被検者群毎に特徴が見出されるが事業場規模別による目立つた特徴はあまり見受けられない。寧ろ個々の事業職種による特徴を表わしているといつた方がよい。

3. ちらつき値と自覚的症狀の比較

疲労の自覚的症狀と他覚的症狀との相関については種々の調査例があるが、何れも高相関は認められていない。これは自覚的症狀が精神的特性によつて個人差が大きく、特に産業疲労においては労働の場による影響の受け方も個人的に大きく相異し、又疲労を自覚することと、外部から測定して見られた変化とは、その発現の時期において必ずしも一致しないことはわれわれの経験に照して既知のことである。

図1の1,2,3,4は本調査によるちらつき値と自覚的症狀頻度とを対照したものである。眼で見ても比較的相関しているように見えるのは図1の2の精神的症狀とちらつき値である。表の4は両者の相関値である。この値からは相関は見られない。

但し両者の逐日的方向は大体一致しているといえる。

(四) ちらつき

紡織工業、機械器具工業の夫々大規模事業場、中小規模事業場における年少労働者に対してちらつき値測定、自覚的症狀調査による疲労の調査を行った。そして以下の結果を得た。

1. ちらつき値測定によつて中小規模事業場におけるものの方が大規模事業場におけるものに比較して疲労度が高い、又その間に有意の差を

認めた。

2. 自覚的症狀調査によれば中小規模事業場におけるものの方が大規模事業場におけるものに比較して日によつて自覚的症狀の変化が大きい。
3. 女子は男子に比較して自覚的症狀頻度高く、特に中小規模事業場に於いて高い。

以上今回の調査によつて大規模事業場と中小規模事業場における年少労働者に対する労働負荷からの疲労性の差異とみられるものを見出し得たと

考える。

しかし調査範囲の極めて小さいこと及び特定業種に偏位していること並びに測定手段が限られていること等のため、当初の目的に全面的に添うためには大規模且長期的な調査を行う必要がある。

なお主題以外のこの事業場毎の特性の詳細については省略したことを附け加える。

表の4 ちらつき値、自覚的症狀頻度相関図

| 事業場規模 | 測定日 | | I | | II | | III | | IV | | V | | VI | | | | | | | |
|----------------------|-----|--|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 測定時 | | 前 | | 中 | | 后 | | 前 | | 中 | | 后 | | | | | | | |
| | | | 前 | 中 | 后 | 前 | 中 | 后 | 前 | 中 | 后 | 前 | 中 | 后 | | | | | | |
| T S . M F 中 小 規 模 | | | 0.12 | 0 | -0.61 | -0.26 | -0.20 | -0.01 | -0.08 | -0.25 | -0.20 | -0.20 | -0.07 | -0.18 | -0.34 | -0.35 | -0.35 | -0.30 | -0.41 | -0.59 |
| H K . M F 大 規 模 | | | -0.02 | 0.08 | 0.40 | 0.14 | -0.02 | -0.04 | 0.23 | -0.05 | 0.05 | 0.02 | 0.05 | 0.38 | 0.15 | -0.04 | 0.19 | -0.22 | -0.01 | -0.02 |

表の5 調査期間中の温湿度

| 期 間 | 事業場名 | 正 午 | | 18 時 | |
|-----------------|------|------|------|------|------|
| | | 温 度 | 湿 度 | 温 度 | 湿 度 |
| 31. 7. 2 ~ 7. 7 | S | 23.3 | 77.6 | - | - |
| " 7. 9 ~ 7.14 | K | 26.4 | 74.8 | 25.5 | 79.0 |
| " 7.17 ~ 7.21 | H | 26.7 | 70.2 | - | - |
| " 7.23 ~ 7.28 | T | 28.6 | 63.5 | - | - |
| | 平 均 | 26.2 | 71.5 | - | - |

図 I / 1 中小規模事業場ちらつき値

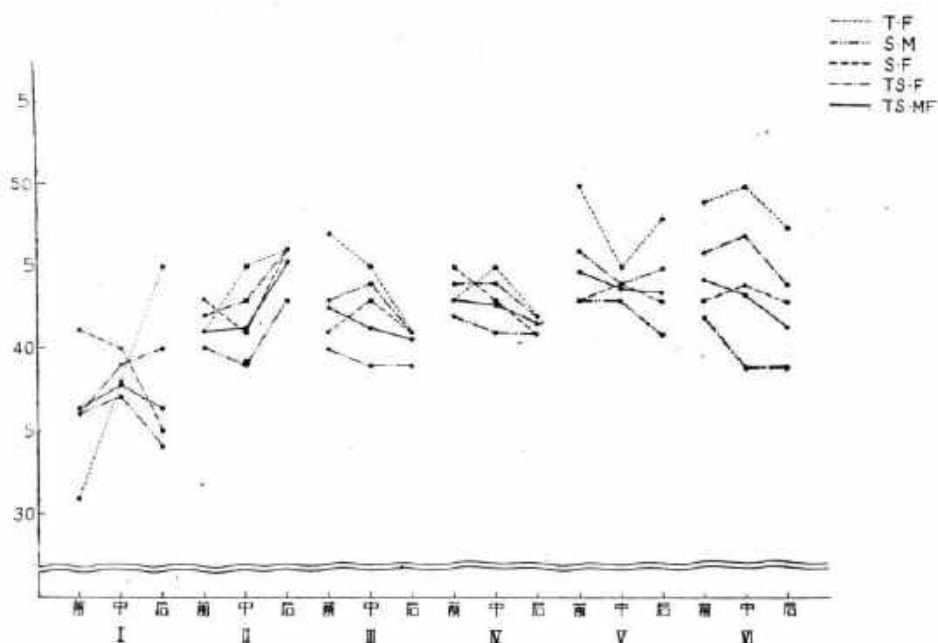


図 I / 2 大規模事業場ちらつき値

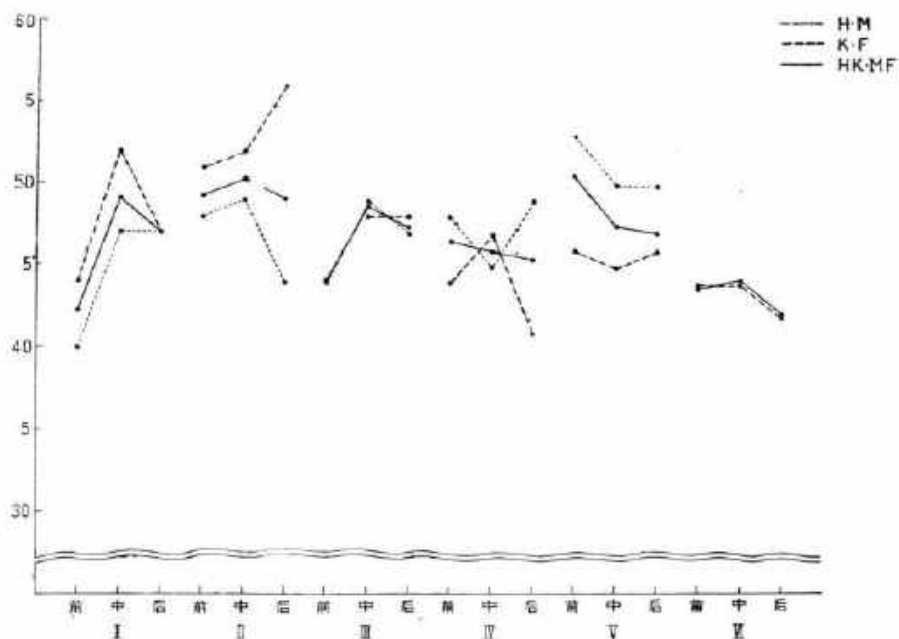
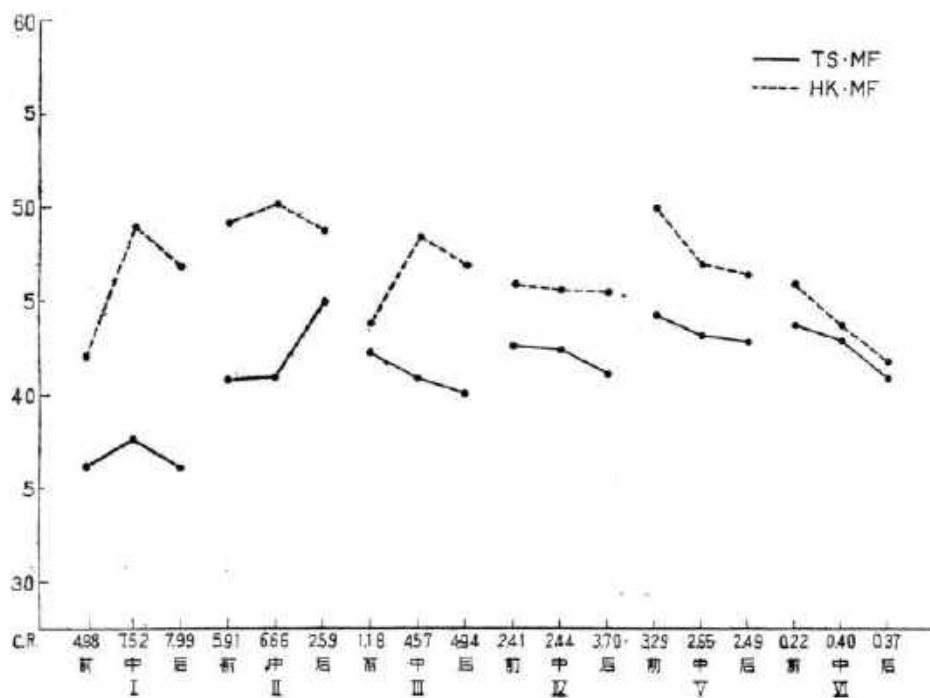
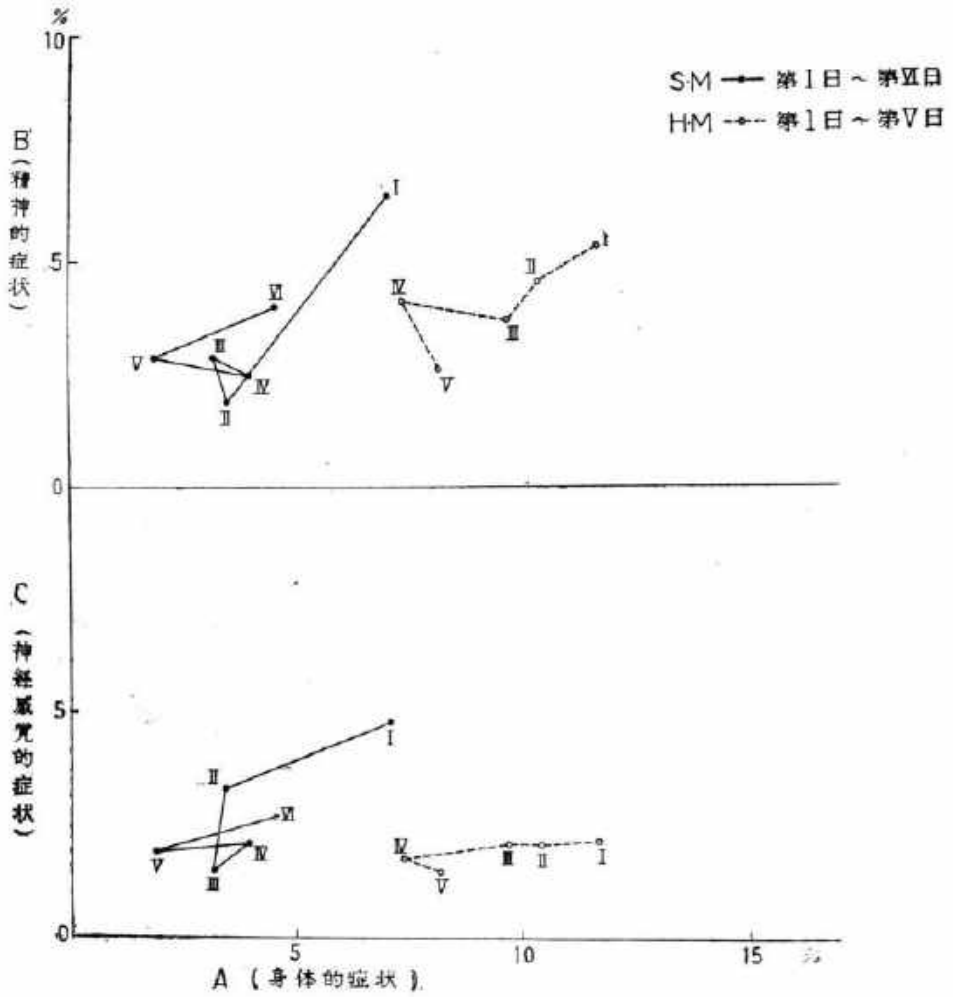


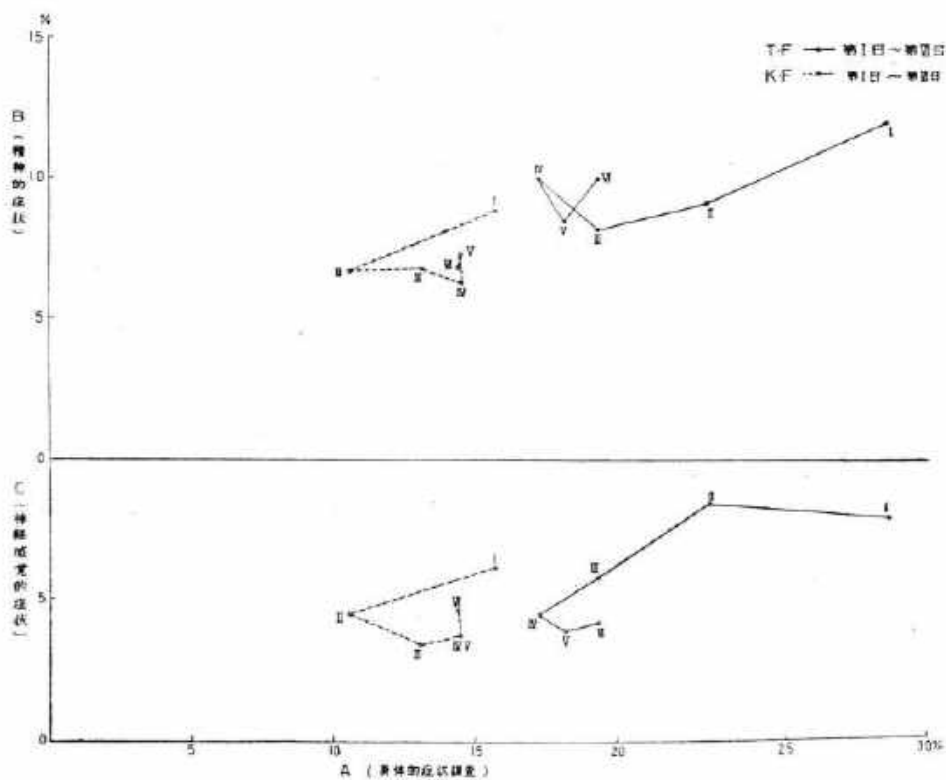
図 Iノ3 中小規模、大規模事業場ちらつき値



図Ⅰノ1 自覚症状調査の頻度 相関図の1



図Ⅱノ2 自覚症状調査の頻度 相関図の2



図Ⅱノ3 自覚症状調査の頻度 相関図の3

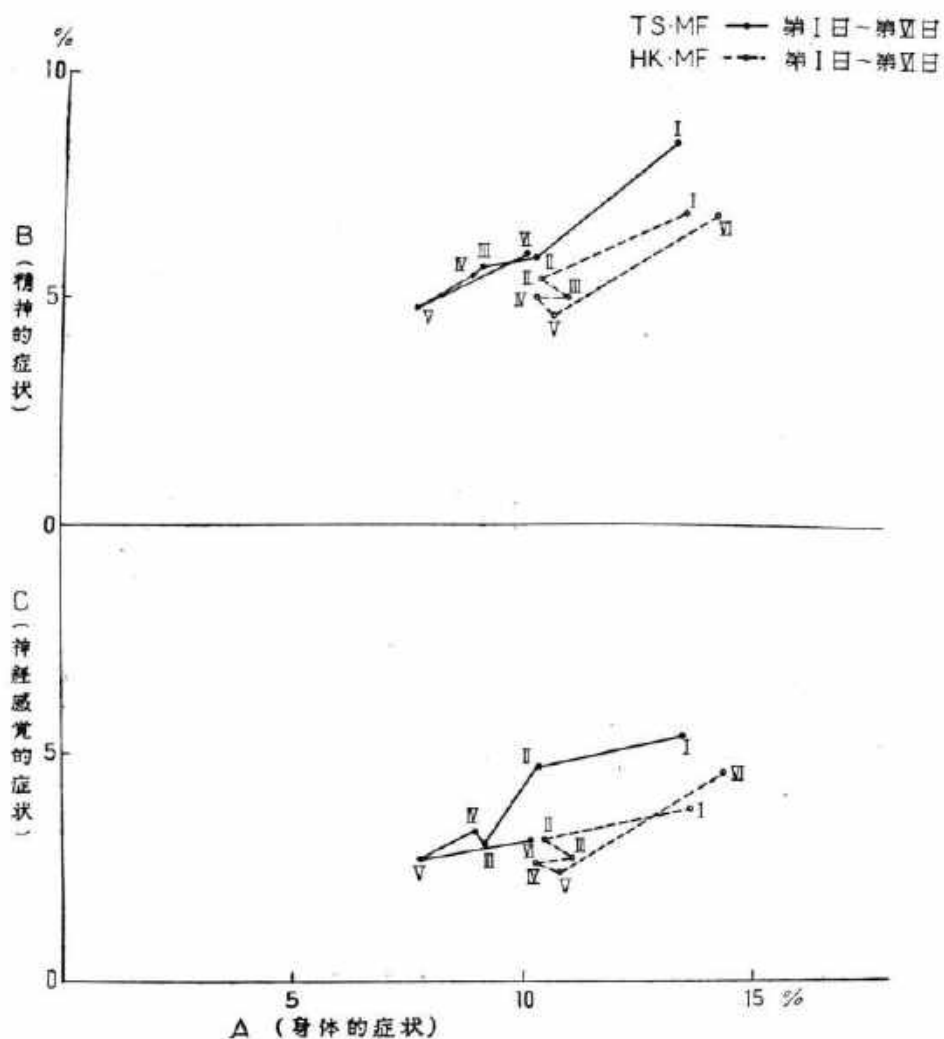


図 1 ノ 1 身体的症状の頻度とちらつき値の変動の比較

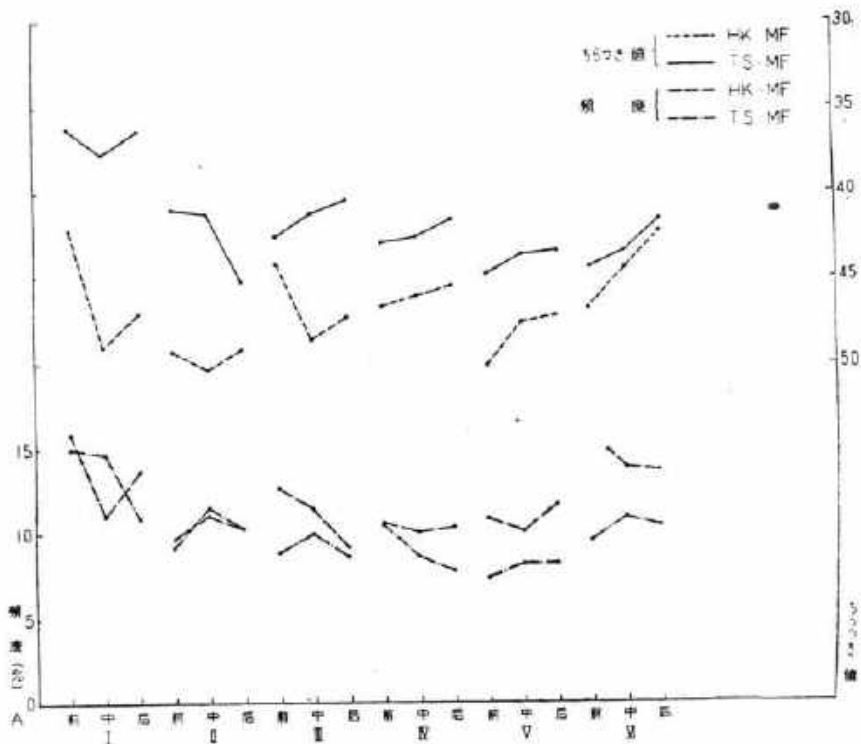


図 1 ノ 2 精神的症状の頻度とちらつき値の変動の比較

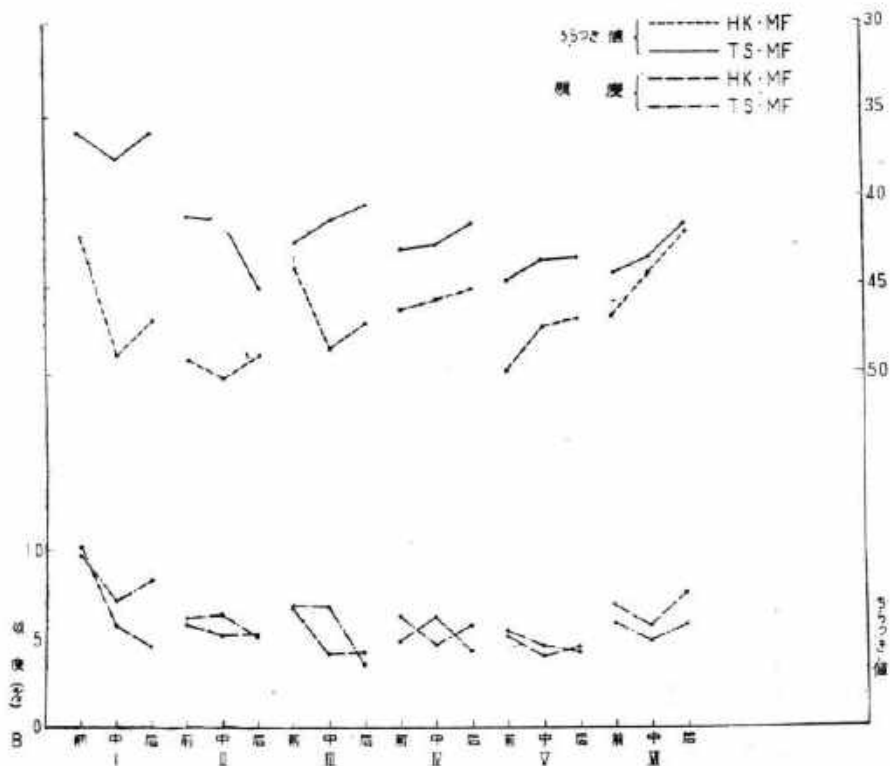


図 3 神経感覚的症狀の頻度とちらつき値の変動の比較

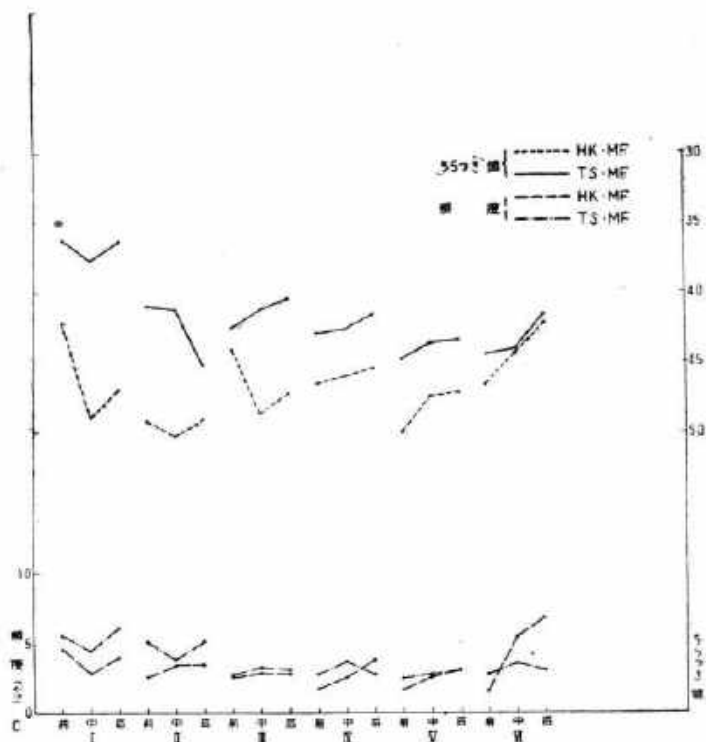
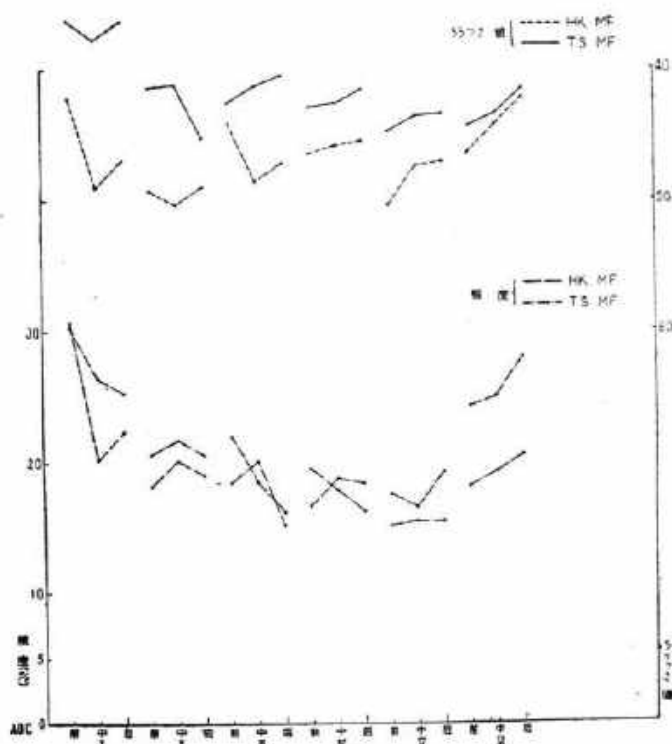


図 4 自覚症狀の頻度とちらつき値の変動の比較



(五) 附表

自覚的 症状 調査表

労働省 婦人少年局

年 月 日

作業 前後

氏 名:

職 種:

男 女 年 令 才

職 場:

勤 続 年

学 歴:

通 勤 時 間:

前夜の睡眠時間:

主なる作業:

- ▼ 今のあなたの身体の状態で下の欄にかいてある言葉のうち、あてはまるものがあつたら、その言葉のある欄の番号を○で囲んで下さい。

| A | | B | | C | |
|----|---|----|-----------------------------|----|--------------------------------|
| 1 | 頭が重い | 1 | 頭がぼんやりする 頭がのぼせる | 1 | 目がつかれる 目がちらちらする 目がぼんやりする |
| 2 | 頭がいたい | 2 | 考えがまとまらない 考えるのがいやになる | 2 | 目がしぶい 目がかわく |
| 3 | 全身がだるい | 3 | 一人でいたい 話をするのがいやになる | 3 | 動作がぎこちなくなる 動作がまちがつたりする |
| 4 | からだのどこかがだるい からだのどこかがいたい からだのどこかのすじがつる | 4 | いらいらする | 4 | 足もとがたよりない ふらつく |
| 5 | 肩がこる | 5 | ねむくなる | 5 | あじがかわる においが鼻につく |
| 6 | いき苦しい むな苦しい | 6 | 気がちる | 6 | めまいがする |
| 7 | 足がだるい | 7 | 物事に熱心になれない | 7 | まぶたやその他の筋がびくびくする |
| 8 | つばが出ない 口がねばる 口がかわく | 8 | 一寸したことが悪い出せない どわすれをする | 8 | 耳がとおくなる 耳なりがする |
| 9 | あくびがでる | 9 | することに自信がない することに間違いが多くなる | 9 | 手足がふるえる |
| 10 | ひや汗が出る | 10 | 物事が気にかかる 物事が心配になる | 10 | きちんとしていられない |

注) A欄は身体的症状

B欄は精神的症状

C欄は神経感覚的症状を示す

昭和32年3月5日印刷
昭和32年3月10日発行

年少労働実態調査

東京都千代田区大手町1の7

編集兼
発行人

労働省婦人少年局

東京都中央区入舟町2の3

印刷人

中和印刷株式会社

GAa1

労働省婦人少年局



女性と仕事の未来誌



00763608